

SONY®

COMPACT PLAYER

J-10

J-10SDI

J-30

J-30SDI

ご注意

付属のCD-ROMには、J-10/10SDI/30/30SDIのオペレーションマニュアル(日本語、英語、フランス語、ドイツ語)が記録されています。詳しくは1-6 (JP)ページの「1-4 CD-ROMマニュアルの使いかた」をご覧ください。

Note

The supplied CD-ROM includes operation manuals for J-10/10SDI/30/30SDI Compact Player (English, Japanese, French and German versions).
For more details, see section 1-4 "Using the CD-ROM Manual" on page 1-6 (GB).



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このオペレーションマニュアルには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。このオペレーションマニュアルをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Digital BETACAM™ (J-30/30SDI)

MPEG IMX (J-30/30SDI)

BETACAM SX **BETACAM SP** **BETACAM**

OPERATION MANUAL Japanese/English

1st Edition (Revised 2)

ソニー製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3 (JP) ~ 6 (JP) ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検を実施する

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

故障したら使用を中止する

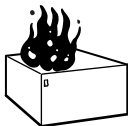
ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

異常な音、
におい、煙
が出たら

- ➡
- ① 電源を切る。
 - ② 電源コードや接続コードを抜く。
 - ③ ソニーのサービス担当者または営業担当者に修理を依頼する。

炎が出たら



- ➡ すぐに電源を切り、消火する。

警告表示の意味

このオペレーションマニュアルおよび製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意



破裂



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ

	⚠ 警告	3 (JP)
	⚠ 注意	4 (JP)
	電池についての安全上のご注意	5 (JP)
	その他の安全上のご注意	6 (JP)
第1章		
概要	1-1 お使いになる前に	1-1 (JP)
	1-2 特長	1-2 (JP)
	1-3 システム構成例	1-4 (JP)
	1-4 CD-ROMマニュアルの使いかた	1-6 (JP)
	1-4-1 CD-ROMの動作環境	1-6 (JP)
	1-4-2 準備	1-6 (JP)
	1-4-3 オペレーションマニュアルを読むには	1-6 (JP)
第2章		
各部の名称と働き	2-1 コントロールパネル	2-1 (JP)
	2-1-1 ディスプレイ表示部	2-2 (JP)
	2-1-2 サーチ操作部	2-6 (JP)
	2-1-3 テープ走行制御部	2-7 (JP)
	2-2 コネクターパネル	2-8 (JP)
	2-2-1 J-10/30のコネクターパネル	2-8 (JP)
	2-2-2 J-10SDI/30SDIのコネクターパネル	2-9 (JP)
第3章		
準備	3-1 設置	3-1 (JP)
	3-2 カセットの取り扱い	3-2 (JP)
第4章		
再生	4-1 再生操作	4-1 (JP)
	4-1-1 通常再生	4-1 (JP)
	4-1-2 ジョグモードの再生	4-2 (JP)
	4-1-3 シャトルモードの再生	4-2 (JP)
	4-1-4 ノイズレス再生機能とコマ送り機能	4-3 (JP)
	4-1-5 繰り返し再生(リピート再生)機能	4-4 (JP)
	4-2 スーパーインポーズされる文字情報	4-6 (JP)
	4-3 リモートコマンダーを使った再生操作	4-8 (JP)
	4-3-1 電池を交換するには	4-8 (JP)
	4-3-2 メニュー設定	4-8 (JP)
	4-3-3 リモートコマンダーの操作	4-9 (JP)
第5章		
UMID機能	5-1 UMID機能の概要	5-1 (JP)
	5-2 UMIDの出力と表示	5-2 (JP)
	5-2-1 UMIDの出力に関する設定	5-2 (JP)
	5-2-2 UMIDの表示	5-2 (JP)
第6章		
エッセンスマーク	6-1 エッセンスマーク機能の概要	6-1 (JP)
	6-2 エッセンスマークの出力	6-2 (JP)

第7章
セットアップメニュー

7-1	メニューシステムの構成	7-1 (JP)
7-2	メニューの操作	7-2 (JP)
7-3	基本メニュー	7-7 (JP)
7-4	拡張メニュー	7-10 (JP)

第8章
保守・点検

8-1	テープスラック時のカセットの取り出しかた	8-1 (JP)
8-2	ヘッドクリーニング	8-1 (JP)
8-3	結露	8-2 (JP)
8-4	エラーメッセージ	8-3 (JP)
8-5	デジタル時計	8-4 (JP)

付録

	仕様	A-1 (JP)
--	----------	----------



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。



分解禁止

外装を外さない、改造しない

外装を外したり、改造したりすると、感電の原因となります。
内部の調整や設定および点検を行う必要がある場合は、必ずサービストレーニングを受けた技術者にご依頼ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーのサービス担当者に交換をご依頼ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない
上記のような場所で設置・使用すると、火災や感電の原因となります。



指示

表示された電源電圧で使用する

機器に表示されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてケガの原因となることがあります。また、設置・取付け場所の強度を充分にお確かめください。



注意

指定された電源コード、接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コード、接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



指示

電源コードのプラグ及びコネクタは突き当たるまで差し込む。
まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



禁止

カセット挿入口に手や指を入れない

カセット挿入口に手や指を入れると、けがの原因となることがあります。



禁止

通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・ 風通しの悪い、狭いところに押し込まない。
- ・ 毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かない。
- ・ 布をかけない。



禁止

異常なおい、煙が出ている状態で使用しない

異常なおい、煙が出ている状態で使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。電源を切って、電源コードや接続を抜き、ソニーサービス担当者にご連絡ください。

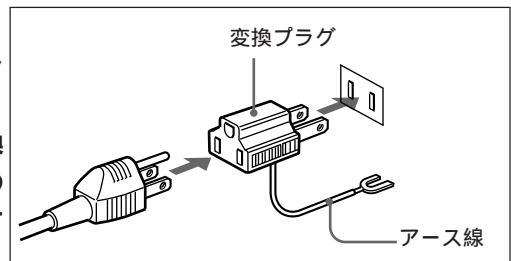


アース線を
接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。次の方法でアースを接続してください。

- ・ 電源コンセントが3極の場合
別売りの電源コードセット DK-2401 (J) を使用することで安全アースが接続されます。
- ・ 電源コンセントが2極の場合
別売りの電源コードセット DK-2401 (J) に付属の3極2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。



安全アースを取り付けることができない場合は、ソニーのサービス担当者にご連絡ください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製リチウム電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

- 電池の液が目に入ったら
すぐきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。
- 煙が出たら
お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。
- 電池の液が皮膚や衣服に付いたら
すぐにきれいな水で洗い流す。
- バッテリー収納部内で液が漏れたら
よくふき取ってから、新しい電池を入れる。



破裂



高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

- リチウム電池は充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



破裂

下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の商品に損害を与えたりすることがあります。

- 投げつけない。
- 使用推奨期限内のリチウム電池を使用する。
- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 水や海水につけたり濡らしたりしない。

その他の安全上のご注意

アース接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。

機器を水滴のかかる場所に置かないこと。および水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないこと。

注意

電池を誤って交換すると爆発する危険があります。
同一または同等の型のもののみ交換してください。

注意

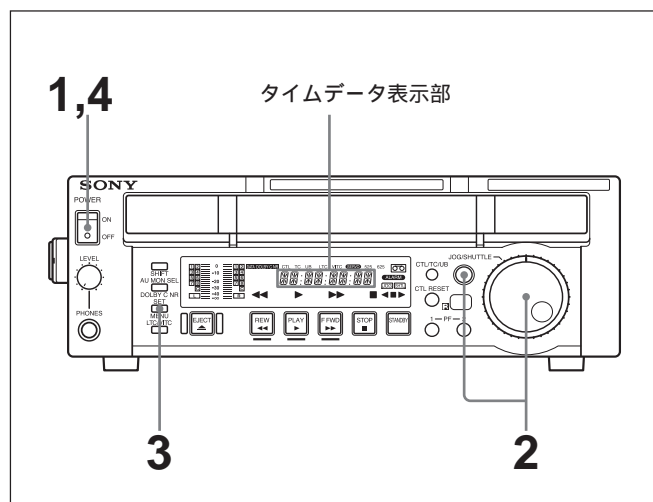
日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。
ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

概要

1-1 お使いになる前に

本機を初めてご使用になる場合は、使用環境に応じて、本機をNTSC(走査線数525/フィールド周波数60Hz)またはPAL(走査線数625/フィールド周波数50Hz)のいずれかに設定してください。この設定を行わないと、本機を使用することができません。

本機をNTSC(525/60)またはPAL(625/50)に設定するには



1 POWERスイッチをONにする。

初めて本機の電源を入れると、タイムデータ表示部に「SEL………」が表示されます。

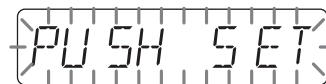


2 JOG/SHUTTLE ボタンを押したままJOG/SHUTTLEダイヤルを回し、「SEL」の後ろに「525」または「625」を表示する。



3 SET/MENU ボタンを押す。

タイムデータ表示部に「PUSH SET」が表示されます。



4 POWERスイッチをいったんOFFにしてからONにする。

タイムデータ表示部の表示が下図のように変わります。



スクロールすると「POWER OFF/ON」と表示されています。

本機はNTSC(525/60)またはPAL(625/50)に設定され、タイムデータ表示部の上に、現在の設定を示すインジケータ(525または625)が点灯します。

1-2 特長

J-10/10SDI/30/30SDI(以下「本機」と呼びます)は各種¹/₂インチテープフォーマットに基づいたコンパクトプレーヤーです。本機は、従来のベータカム/ベータカムSPフォーマットで記録したテープもそのまま再生することができます。

ご注意

- 本機はダイナミックトラック機能を搭載していないため、テープ上の記録パターンが著しく乱れている場合などには正常に再生されない場合があります。
- 出力5W以上の移動無線機を本機に50cm以上近づけて使用すると、再生画が乱れることがありますのでご注意ください。

本機には以下のような特長があります。

再生フォーマット

本機では以下のフォーマットについて再生が可能です。

- デジタルベータカムフォーマット(J-30/30SDIのみ)
- MPEG IMXフォーマット(J-30/30SDIのみ)
- ベータカムSXフォーマット
- ベータカム/ベータカムSPフォーマット

ヘッド構成

デジタルベータカム(J-30/30SDIのみ)、MPEG IMX(J-30/30SDIのみ)、ベータカムSXのデジタル再生ヘッドに加え、アナログベータカムSP用再生ヘッドを全機種に備えています。

デジタル信号処理

本機は4:2:2コンポーネントデジタルD-1フォーマットに準拠してデジタル信号を処理します。

MPEG2 4:2:2 P@ML インターフレーム方式のベータカムSX、MPEG2 4:2:2 P@ML イントラフレーム方式のMPEG IMX(J-30/30SDIのみ)に加えてデジタルベータカム(J-30/30SDIのみ)にも対応しています。

高画質、高音質、高信頼性

デジタルベータカム(J-30/30SDIのみ)、MPEG IMX(J-30/30SDIのみ)、ベータカムSXの各データレートに対応し、高画質、高音質の再生が可能です。また、強力なエラー訂正システムを採用しています。

ベータカム/ベータカムSPとの再生互換性

ベータカム/ベータカムSPフォーマットで記録したテープをそのまま再生することができます。したがって、過去に収録したベータカム/ベータカムSPフォーマットのテープも有効に利用することができます。

フィーダーとしての拡張性

本機を再生機としてだけでなく、フィーダーとしても使用できます。PCと接続し、コントロールパネルのリモート端子(RS-422A)を介して映像素材をコントロールしながらPC側へ転送可能です。

コンパクトな設計

標準的なデスクトップ型のパーソナルコンピュータと同等なサイズを実現し、事務机上でのパーソナルな使用が可能です。しかもフロントローディングでSカセット、Lカセットが使用できます。

メニュー方式によるセットアップ

本機の動作条件、接続機器とのインターフェースなどの初期設定は、本機前面からのメニュー操作により行うことができます。

広範な情報表示

大型ディスプレイ表示部により本機の操作状態、設定状態に加え、オーディオレベル、タイムコード、ユーザービット、エラーメッセージ、セットアップメニュー情報などをデジタル表示します。

メンテナンスコストの削減


保守の必要性を最小限に抑える設計により、日常保守点検作業を不要にするとともに、ドラムや他の部品のメンテナンスコストの削減を可能にしました。

縦置き使用が可能

付属のスタンドを使用することにより、縦置きでの操作もできます。机の上に置いても場所をとらず、使用環境に応じてフレキシブルな設置が可能です。


多彩な出力信号

標準で以下のインターフェースを装備しているため、広範囲の外部機器と接続することができます。

- アナログコンポジットビデオ出力
- アナログコンポーネントビデオ出力 (J-10/30のみ)
- Sビデオ出力
- ¹⁾ (DV)出力
- SDI SMPTE 259M (コンポーネントデジタルビデオ / オーディオ 8チャンネル)出力 (J-10SDI/30SDIのみ)
- アナログオーディオ出力
- タイムコード出力 (J-10SDI/30SDIのみ)

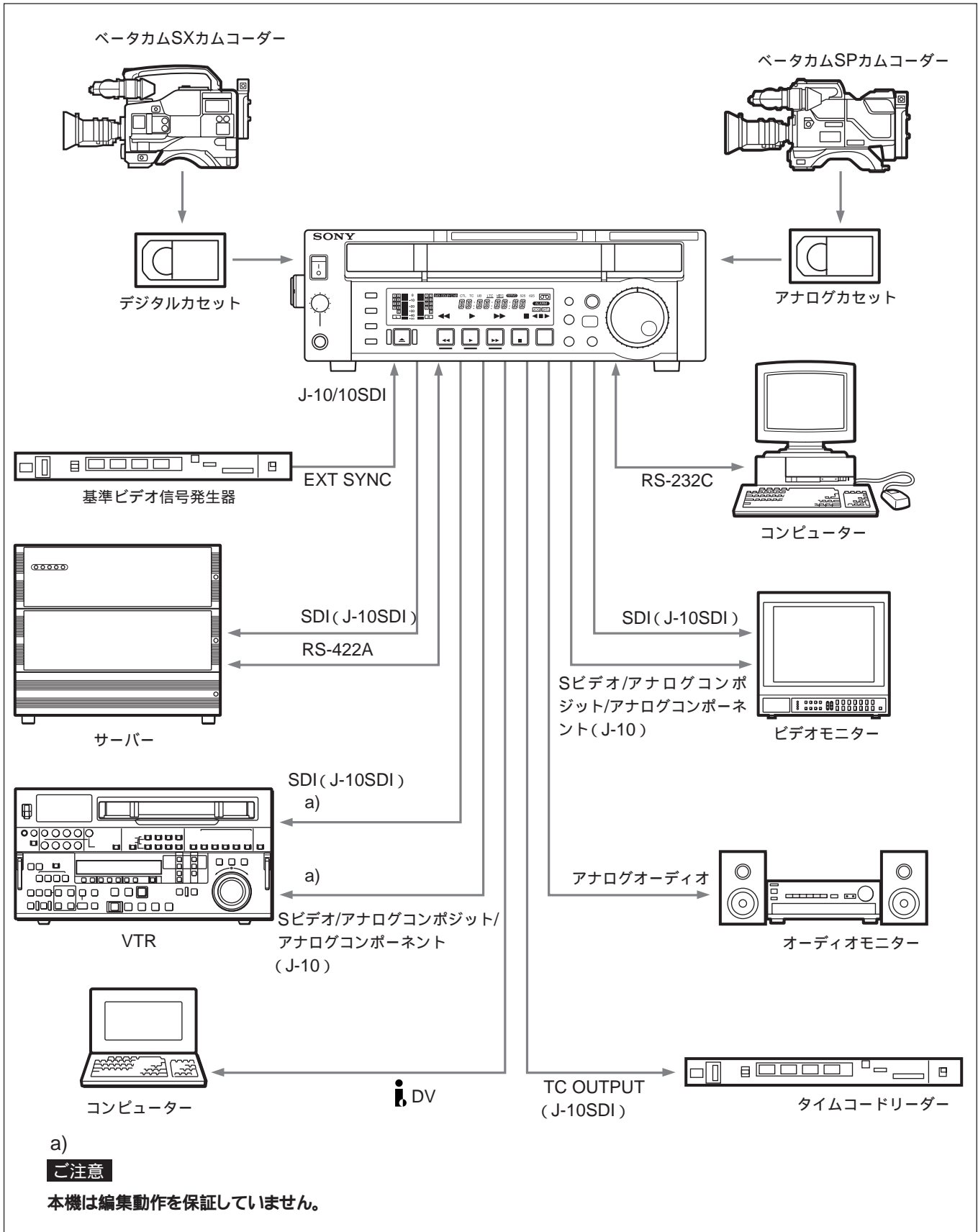
(DV)出力が可能

i.LINK¹⁾準拠のDV出力専用端子から、DVフォーマットのデジタルビデオ / オーディオ信号を出力することができます。

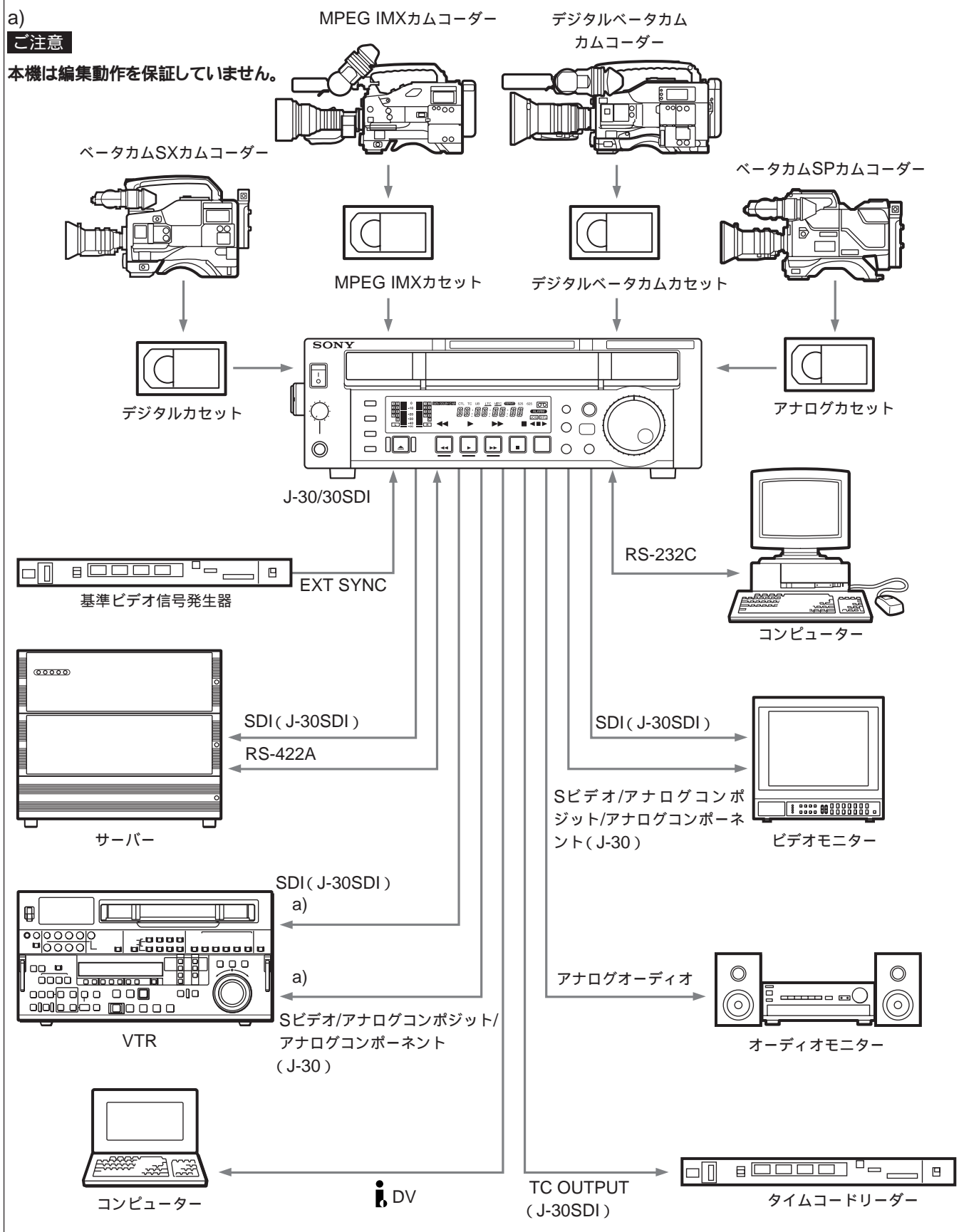
1) i.LINKとはIEEE 1394-1995仕様およびその拡張仕様技術を意味し、ソニーの商標です。はi.LINKのマークです。

1-3 システム構成例

J-10/10SDIのシステム例



J-30/30SDIのシステム例



1-4 CD-ROMマニュアルの使いかた

付属のCD-ROMには、Jシリーズコンパクトプレーヤーのオペレーションマニュアル(日本語、英語、フランス語、ドイツ語)が記録されています。

1-4-1 CD-ROMの動作環境

付属のCD-ROMを動作させるには、次の環境が必要です。

- コンピューター: Intel Pentium プロセッサ搭載のコンピューター
 - 搭載メモリー: 64MB 以上
 - CD-ROMドライブ: 8 倍速以上
- ディスプレイモニター: 解像度 800 × 600 ドット以上
- OS: Microsoft Windows Millennium Edition、Windows 2000 Service Pack 2、Windows XP Professional または Windows XP Home Edition

上記の条件を満たさない環境では、CD-ROMの動作が遅くなったり、まったく動作しないことがあります。

1-4-2 準備

付属のCD-ROMに収納されているオペレーションマニュアルを使用するためには、以下のいずれかのソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。

- Adobe Acrobat Reader 4.0 以上
- Adobe Reader 6.0 以上

メモ

Adobe Reader がインストールされていない場合は、下記URLよりダウンロードできます。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

1-4-3 オペレーションマニュアルを読むには

CD-ROMに入っているオペレーションマニュアルを読むには、次のようにします。

1 CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

表紙ページが自動的にブラウザで表示されます。

ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROMに入っているindex.htm ファイルをダブルクリックしてください。

2 読みたいオペレーションマニュアルを選択してクリックする。

オペレーションマニュアルのPDFファイルが開きます。

ご注意

ハードウェアの故障またはCD-ROMの誤使用により、CD-ROM内の情報が読めなくなったり消失したりした場合は、次のようにしてください。

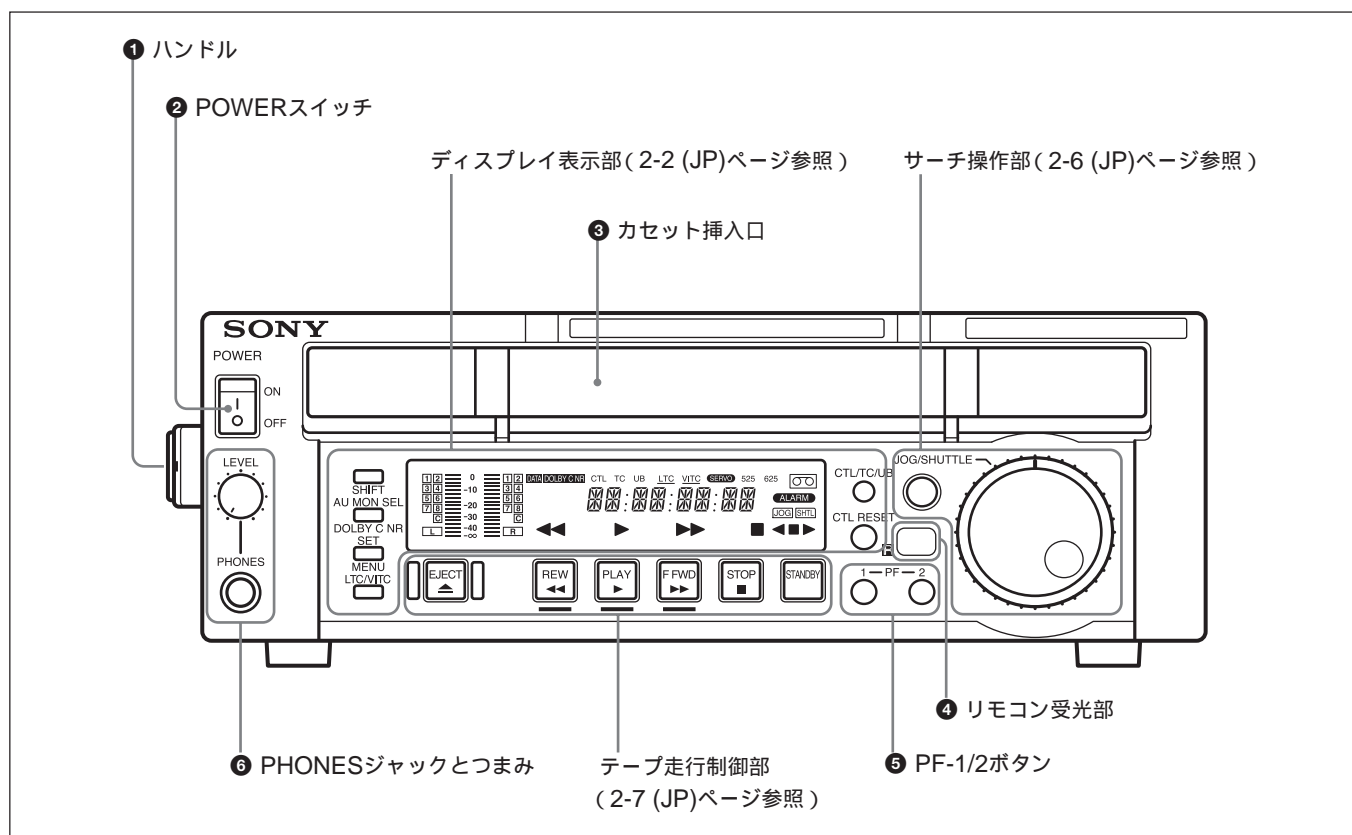
CD-ROMが破損または紛失したため、新しいCD-ROMをご希望の場合は、ソニーのサービス担当者にご依頼ください。(有料)

- Intel および Pentium は、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションの登録商標です。
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

- Adobe、Acrobat および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

各部の名称と働き

2-1 コントロールパネル



① ハンドル

本機を持ち運ぶとき、または本機を縦置きに設置するときなどに使用します。

② POWER (電源) スイッチ

ON側を押すと電源が入り、ディスプレイ表示部のFL管表示とインジケータが点灯します。

電源を切るときはOFF側を押します。

2-1 コントロールパネル

③ カセット挿入口

Sカセット、Lカセットを入れます。

④ リモコン受光部

付属のリモートコンマダーからの赤外線を受光します。

リモートコンマダーについて詳しくは、「4-3 リモートコンマダーを使った再生操作」(4-8 (JP)ページ)をご覧ください。

⑤ PF (プログラマブルファンクション) -1/2ボタン

ベータカムSXまたはMPEG IMXフォーマットの使用時に本機をノイズレスモードにすると、このボタンを使ってコマ送りを実行することができます。(4-3 (JP)ページ参照)

PE-2ボタンには、セットアップメニューの基本メニュー項目022のPF2 KEYSELECTで設定した機能を割り付けることができます。

工場出荷時には、「テープリメインタイム」が割り付けられていて、PF-2ボタンを押している間、ディスプレイ表示部にテープ残量が表示されます。

機能の割り付けかたについて詳しくは、「メニューバンクの操作(基本メニュー項目B01 ~ B12)」(7-5 (JP)ページ)をご覧ください。

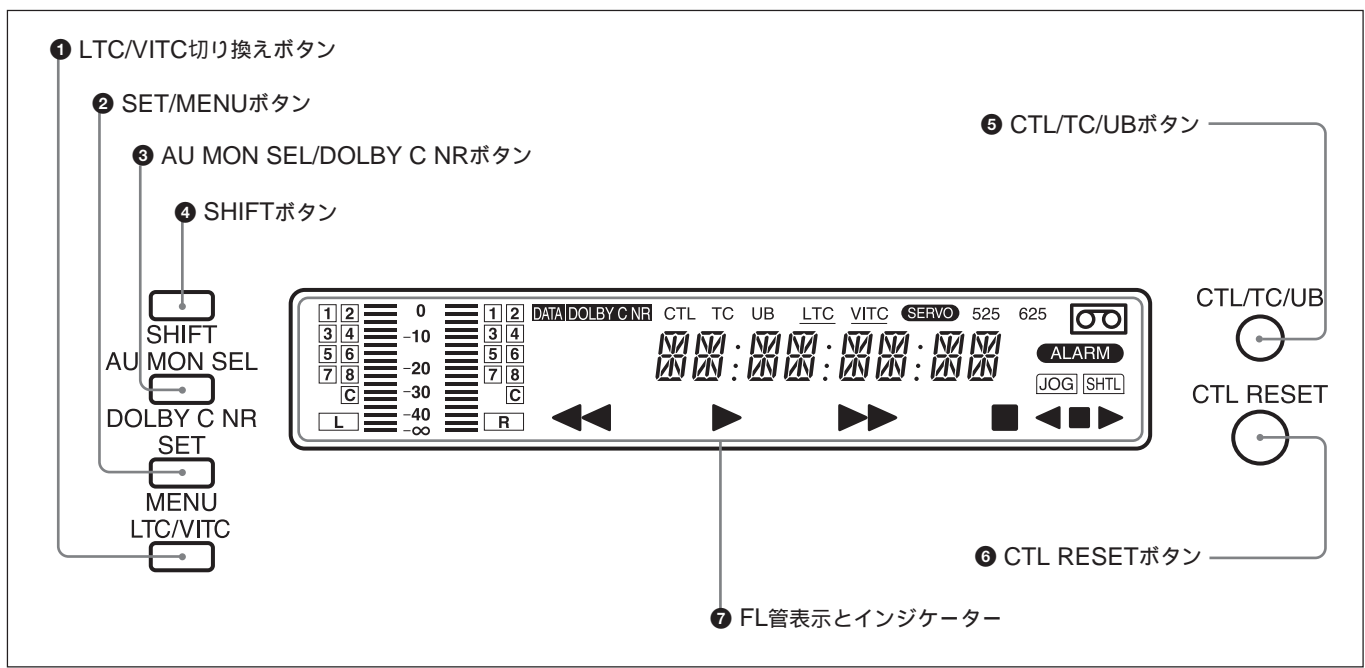
⑥ PHONES (ヘッドホン) ジャックとつまみ

ジャックにインピーダンス8 のステレオヘッドホンを接続し、再生中の音声をモニターできます。

つまみで音量を調整します。

AUDIO MONITOR 端子からの出力音量も同時に調整できるようにすることもできます。この場合、セットアップメニューの拡張メニュー項目114のAUDIO MONITOR OUTPUT LEVELをVARに設定してください。

2-1-1 ディスプレイ表示部



① LTC/VITC切り換えボタン

ディスプレイ表示部に表示するタイムコードとしてLTC¹⁾、VITC²⁾を順次選択します。選択に応じて、ディスプレイ表示部のタイムコード設定インジケーターLTC、VITCの下線部が点灯します。

【注意】

本機では、VITCは通常再生時以外は正常に表示されません。

1) LTC: Longitudinal Time Codeの略。テープの長手方向に記録するタイムコード。低速再生時は読み取りが不正確になり、静止画再生時は読み取れない。

2) VITC: Vertical Interval Time Codeの略。ビデオ信号の垂直ブランク期間内に挿入し、ビデオトラックに記録するタイムコード。

② SET/MENU (セット/メニュー) ボタン

セットアップメニューの操作と設定に使用します。

SHIFT ボタンを押したままSET/MENU ボタンを押すと、セットアップメニューの内容がディスプレイ表示部に表示されます。設定が終わったらSET/MENU ボタンだけを押します。設定した内容が確定され元の状態に戻ります。

セットアップメニューの設定と操作については、第7章をご覧ください。

③ AU MON SEL (オーディオモニター出力選択) /

DOLBY C NR¹⁾ (ドルビーCノイズリダクション) ボタン

AU MON SEL ボタンとして使用するには、そのままこのボタンを押します。

1回押しごとに下記のように切り換わります。選択されたオーディオチャンネルはディスプレイ表示部で確認できます。

ベータカム/ベータカムSPフォーマット使用時

出力モード ^{a)}	STEREO		MONO	
	L	R	L	R
1回押し	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
2回押し	CH-1,2	CH-1,2	CH-2	CH-2
3回押し	以降、押すたびに上記の順序で切り換わります。		CH-1,2	CH-1,2
4回押し			以降、押すたびに上記の順序で切り換わります。	

a) セットアップメニューの基本メニュー項目 026 で設定

ベータカムSXフォーマット使用時

出力モード ^{a)}	STEREO		MONO	
	L	R	L	R
1回押し	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
2回押し	CH-3	CH-4	CH-2	CH-2
3回押し	CH-1,2	CH-1,2	CH-3	CH-3
4回押し	CH-3,4	CH-3,4	CH-4	CH-4
5回押し	以降、押すたびに上記の順序で切り換わります。		CH-1,2	CH-1,2
6回押し			CH-3,4	CH-3,4
7回押し			以降、押すたびに上記の順序で切り換わります。	

a) セットアップメニューの基本メニュー項目 026 で設定

MPEG IMXフォーマット使用時 (J-30/30SDI)

出力モード ^{a)}	STEREO		MONO	
	L	R	L	R
1回押し	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
2回押し	CH-3	CH-4	CH-2	CH-2
3回押し	CH-5	CH-6	CH-3	CH-3
4回押し	CH-7	CH-8	CH-4	CH-4
5回押し	CH-1,2	CH-1,2	CH-5	CH-5
6回押し	CH-3,4	CH-3,4	CH-6	CH-6
7回押し	CH-5,6	CH-5,6	CH-7	CH-7
8回押し	CH-7,8	CH-7,8	CH-8	CH-8
9回押し	以降、押すたびに上記の順序で切り換わります。		CH-1,2	CH-1,2
10回押し			CH-3,4	CH-3,4
11回押し			CH-5,6	CH-5,6
12回押し			CH-7,8	CH-7,8
13回押し	以降、押すたびに上記の順序で切り換わります。			

a) セットアップメニューの基本メニュー項目 026 で設定

デジタルベータカムフォーマット使用時 (J-30/30SDI)

出力モード ^{a)}	STEREO		MONO	
	L	R	L	R
1回押し	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
2回押し	CH-3	CH-4	CH-2	CH-2
3回押し	CH-1,2	CH-1,2	CH-3	CH-3
4回押し	CH-3,4	CH-3,4	CH-4	CH-4
5回押し	CUE	CUE	CUE	CUE
6回押し	以降、押すたびに上記の順序で切り換わります。		CH-1,2	CH-1,2
7回押し			CH-3,4	CH-3,4
8回押し			以降、押すたびに上記の順序で切り換わります。	

a) セットアップメニューの基本メニュー項目 026 で設定

各フォーマットの最終設定状態が電源のオン/オフに関係なくメモリされているため、次回どのフォーマットのカセットを再生してもそのフォーマットの最終設定状態が再現されます。またカセットが入っていない場合でも、最後にイジェクトしたフォーマットのオーディオチャンネルを切り換えることができます。

1) DOLBY C NR: ドルビーCノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

2-1 コントロールパネル

DOLBY C NR ボタンとして使用するには、SHIFT ボタンを押したままこのボタンを押します。ディスプレイ表示部にDOLBY C NR インジケータが点灯します。

オキサイドテープ使用時、アナログオーディオに対するドルビーNR (ノイズリダクション)Cタイプの雑音低減システムをオン/オフします。メタルテープ使用時は、このスイッチの設定にかかわらずドルビーC NR システムは自動的にオンになります。

ON : アナログベータカムのオキサイドテープを再生するとき、ドルビーC NR システムを働かせる。

OFF : アナログベータカムのオキサイドテープを再生するとき、ドルビーC NR システムを働かせない。

出荷時はOFFに設定されています。

④ SHIFT (シフト) ボタン

このSHIFT ボタンを押したまま AU MON SEL/DOLBY C NR ボタンを押すと、DOLBY C NR が働きます。同様にSHIFT ボタンを押したままSET/MENU ボタンを押すと、メニューが働きます。

また、SHIFT ボタンを押したままF FWDまたはREW ボタンを押すと、フォワード方向またはリバース方向で現在のテープ位置の前後のショットマーク¹⁾位置にキューアップします。さらにSHIFT ボタンを押したままPLAY ボタンを押すと、ショットデータ²⁾(ベータカム/ベータカムSP/ベータカムSXフォーマット使用時)またはUMID (デジタルベータカム/MPEG IMXフォーマット使用時)をスーパーインポーズして表示することができます。ショットデータまたはUMIDの表示を消すには、再度SHIFT ボタンを押したままPLAY ボタンを押します。

UMIDについて詳しくは、第5章をご覧ください。

⑤ CTL/TC/UB (表示切り換え) ボタン

ディスプレイ表示部のタイムデータをCTL、TC、UBの順に切り換えます。表示を切り換えると、ディスプレイ表示部の上のインジケータも対応して点灯/消灯します。

タイムデータ表示の選択と表示の内容

表示の選択	表示の内容	インジケータの点灯/消灯
CTL	再生中のテープに記録されているCTL (コントロール) 信号をカウントして算出したテープの走行時間 (時、分、秒、フレーム)	CTL インジケータ点灯。
TC	内蔵のタイムコードリーダーで読み取った再生タイムコード。 ^{a)}	TC インジケータ点灯。
UB	再生タイムコードに挿入されているユーザービット。 ^{a)}	UB インジケータ点灯。

a) LTCかVITCかの選択は、LTC/VITC切り換えボタンで行います。

⑥ CTL RESET (リセット) ボタン

ディスプレイ表示部のCTLをリセットしたいとき押します。

⑦ FL管表示とインジケータ

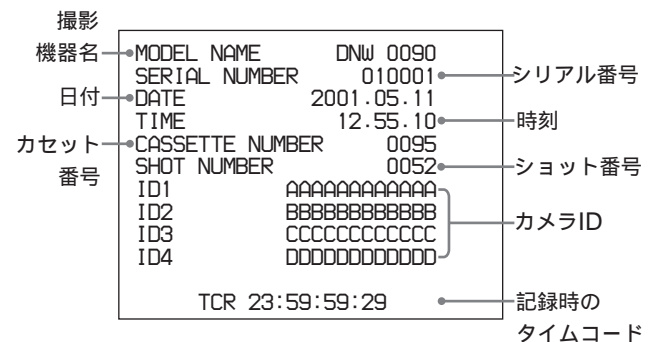
タイムデータ表示部、オーディオモニター表示部とインジケータ部で構成されています (次ページの図参照)

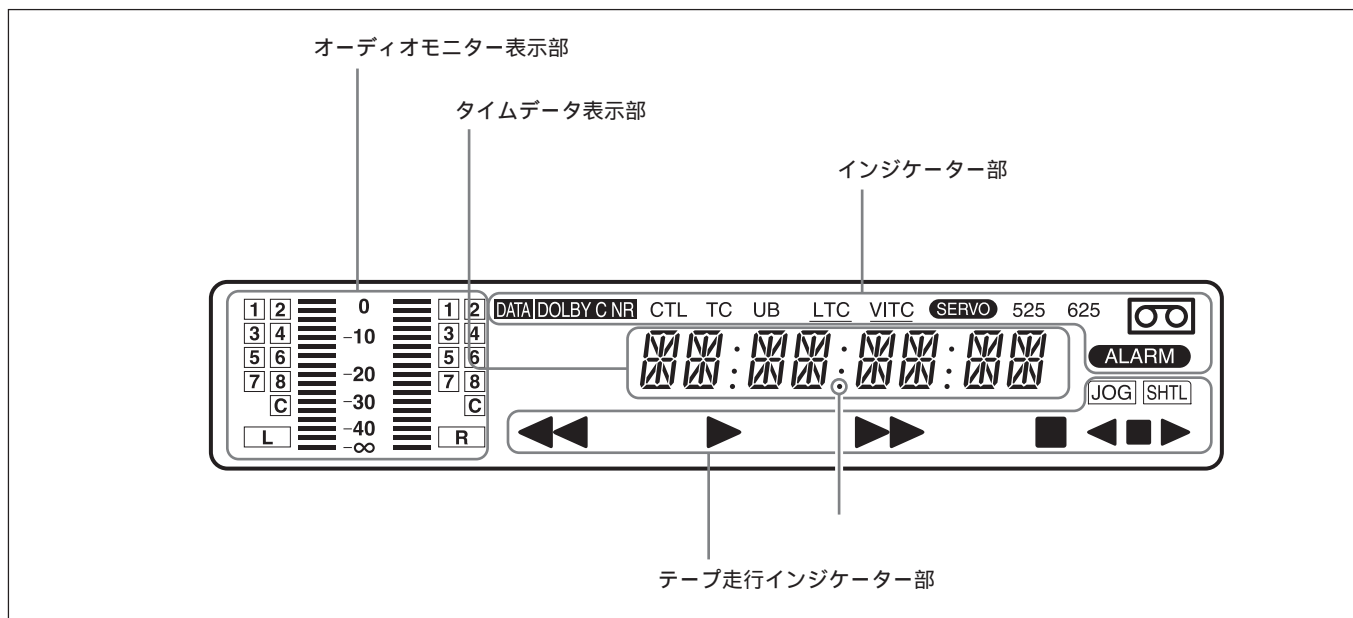
1) ショットマーク

ショットマーク対応カムコーダーを使用する場合、後で編集がしやすいようにユーザーズビットエリアにレックススタートマーカー、ショットマーカーを書き込むことができます。これをショットマークと言います。

2) ショットデータ

ショットデータは、撮影時の情報を逐次テープに記録したデータです。表示内容は、撮影条件の変化 (撮影機器や日時の変更など) に応じて変化していきます。また、撮影機器の変更により、ショットデータが記録されていない部分があれば空白表示となります。





オーディオモニター表示部

- L/R オーディオレベルメーター：任意のL/R(左/右)2チャンネルのオーディオレベルを表示します。
- L/R オーディオチャンネル表示：任意の選択したチャンネル番号を表示します。

タイムデータ表示部

通常は、CTL/TC/UB ボタンおよびLTC/VITC 切り換えボタンによる選択に応じてCTLカウント、タイムコードまたはユーザービット情報を表示します。DFモードで記録されたテープの再生時には上記イラスト中の 部のドットが点灯します。その上の2つのドット()は消灯します。


また、エラーメッセージ、セットアップメニューなどの表示にも使用されます。

CTLカウント、タイムコード、ユーザービット表示について詳しくは、「**⑥ CTL/TC/UB ボタン**」(2-4 (JP) ページ)をご覧ください。

インジケータ部

インジケータ部には以下のインジケータがあります。

- DOLBY C NR(ドルビーCノイズリダクション)インジケータ：ドルビーCノイズリダクション回路が機能している時に点灯します。
- CTL(コントロール)インジケータ：タイムデータ表示部にCTL信号をカウントして算出したテープの走行時間(時、分、秒、フレーム)が表示されると点灯します。

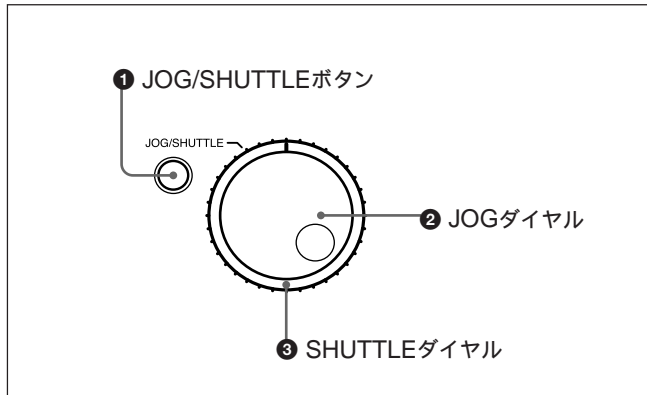
- TC(タイムコード表示)インジケータ：タイムデータ表示部にタイムコードが表示されると点灯します。
- UB(ユーザービット表示)インジケータ：タイムデータ表示部にユーザービットが表示されると点灯します。
- LTC、VITCインジケータ：タイムデータ表示部の表示とかわりなく、それぞれのタイムコードが読み取れている時に点灯します。またLTC/VITC切り換えボタンがLTCの時はLTCに下線が表示され、VITCの時にはVITCに下線が表示されます。
- SERVOインジケータ：サーボロックしたときに点灯します。
- ALARM(アラーム)インジケータ：本機のハードウェアエラーが検出されると点灯し、エラー状態が解除されると消灯します。このインジケータが点灯すると、タイムデータ表示部にエラーメッセージが表示されます。
- カセットインマーク ：カセットが入っているときに点灯します。
- DATAインジケータ：DIGITAL AUDIOトラックにDolby-E、AC-3などのオーディオデータが記録されているテープを再生した時に点灯します。
- 525、625(TV方式走査線数)インジケータ：基本メニュー項目013で選択されたTV方式(NTSC:走査線数525/フィールド周波数60Hz、PAL:走査線数625/フィールド周波数50Hz)の走査線数に対応するインジケータが点灯します。

2-1 コントロールパネル

テープ走行インジケータ部

- テープ走行インジケータ
テープ走行制御部のボタンを押すと、そのボタンに対応するインジケータが点灯します。
◀◀ : REW インジケータ
▶ : PLAY インジケータ
AUTO TRACKING 引き込み動作中には点滅します。
▶▶ : F FWD インジケータ
■ : STOP インジケータ
- JOG/SHTL (ジョグ / シャトル) インジケータ
ジョグモード時には「JOG」が、シャトルモード時には「SHTL」が点灯します。
- JOG/SHTL (ジョグ / シャトル) 走行インジケータ
◀ : ジョグ / シャトルのリバースインジケータ (緑)
▶ : ジョグ / シャトルのフォワードインジケータ (緑)
■ : ジョグ / シャトルのスチルインジケータ (赤)

2-1-2 サーチ操作部



① JOG/SHUTTLE (ジョグ/シャトル) ボタン
JOGダイヤル、SHUTTLEダイヤルを使用するときに、ジョグ、シャトルを切り換えます。再生時およびF FWD/REW時にこのボタンを押すとジョグモードに、再度押すとシャトルモードに切り換わります。選択したモードに応じて、ディスプレイ表示部のJOGインジケータまたはSHTLインジケータが点灯します。

② JOG (ジョグ) ダイヤル
右の表に示すモードの再生を行うとき回します。右に回すと正方向再生、左に回すと逆方向再生を行います。

③ SHUTTLE (シャトル) ダイヤル

下表に示すモードの再生を行うとき回します。右に回すと正方向再生、左に回すと逆方向再生を行います。

JOG/SHUTTLE ボタンを押してJOGダイヤルを回すとジョグモードに、SHUTTLEダイヤルを回すとシャトルモードに切り換わります。

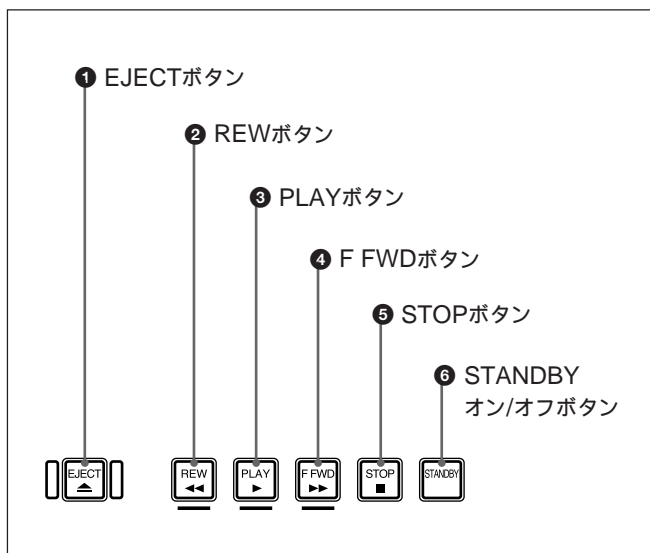
JOG/SHUTTLEダイヤルによる再生のモード

再生モード	操作・機能
ジョグ	JOG/SHUTTLE ボタンを1回押して「JOG」を点灯させてからJOGダイヤルを回すか、あるいはJOGダイヤルを直接回します。JOGダイヤルの回転速度に応じた速度で再生が行われます。再生速度範囲は±1倍速です。 JOGダイヤルはクリックしません。
シャトル	JOG/SHUTTLE ボタンを2回押して「SHTL」を点灯させてからSHUTTLEダイヤルを回すか、あるいはSHUTTLEダイヤルを直接回します。SHUTTLEダイヤルの回転角度に応じた速度で再生が行われます。再生速度範囲は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • デジタルベータカムテープ使用時 (J-30/30SDI) : - 21 ~ + 21 倍速 • MPEG IMX テープ使用時 (J-30/30SDI) : - 32 / - 38 ~ + 32 / + 38 倍速 (NTSC/PAL) • ベータカム SX テープ使用時 : - 35 ~ + 35 倍速 • アナログベータカムテープ使用時 : - 18 / - 20 ~ + 18 / + 20 倍速 (NTSC/PAL) SHUTTLEダイヤルはセンター位置でクリックし静止画となります。

ご注意

- 通常はJOG/SHUTTLE ボタンを押してジョグ / シャトルモードにしてからSHUTTLEダイヤルを回しますが、直接ダイヤルを回すだけでもジョグ/シャトルモードにすることもできます (セットアップメニューの拡張メニュー項目 101 のSELECTION FOR JOG/SHUTTLE DIAL ENABLEをDIALに設定したとき)。この場合、SHUTTLEダイヤルを操作後センター位置に戻しておかないと、再生中など、振動によりダイヤルが動き、まれにテープがシャトルモードで走り出す場合があります。
- - 0.5倍速以下のシャトルリバースを連続して20分続けると自動的にリールモーターの温度保護回路が働き、スチル状態になります。

2-1-3 テープ走行制御部



① EJECT (イジェクト) ボタン
カセットを排出させたいとき押します。

② REW (巻き戻し) ボタン
テープを巻き戻したいとき押し、ディスプレイ表示部のREWインジケータを点灯させます。また、ショットマークが記録されているテープを使用しているときは、SHIFTボタンを押したままこのボタンを押すことにより、現在のテープ位置よりリバース方向にあるショットマーク位置にキューアップします。

③ PLAY (再生) ボタン
再生を開始したいとき押し、ディスプレイ表示部のPLAYインジケータを点灯させます。
ショットデータが記録されているベータカム / ベータカムSP / ベータカムSXフォーマットのテープを使用しているときは、SHIFTボタンを押したままこのボタンを押すことにより、モニターにショットデータを表示させることができます(2-4 (JP) ページ参照)。また、UMIDの記録されているデジタルベータカム / MPEG IMXフォーマットのテープを使用しているときは、SHIFTボタンを押したままこのボタンを押すことにより、モニターにUMIDを表示することができます(5-2 (JP) ページ参照)。ショットデータまたはUMIDの表示を消すには、再度SHIFTボタンを押したままこのボタンを押します。

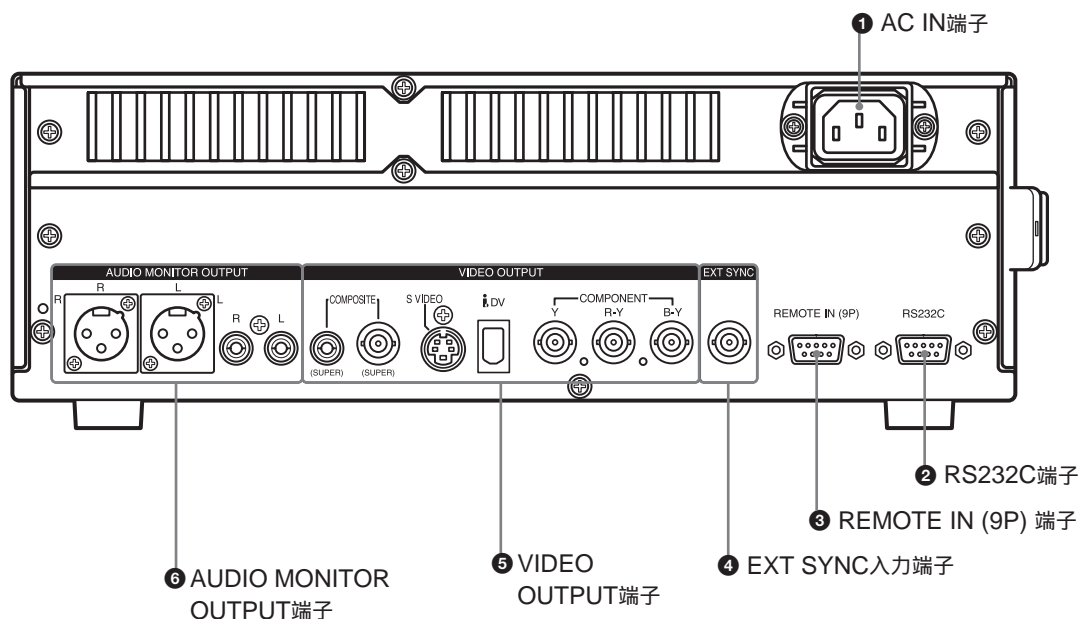
④ F FWD (早送り) ボタン
テープを早送りしたいとき押し、ディスプレイ表示部のF FWDインジケータを点灯させます。また、ショットマークが記録されているテープを使用しているときは、SHIFTボタンを押したままこのボタンを押すことにより、現在のテープ位置よりフォワード方向にあるショットマーク位置にキューアップします。

⑤ STOP (停止) ボタン
再生を停止したいとき押し、ディスプレイ表示部のSTOPインジケータを点灯させます。
また、セットアップメニューの拡張メニュー項目 105のREFERENCE SYSTEM ALARMをONに設定すると、外部基準ビデオ信号が入力されていない場合に点滅します。

⑥ STANDBY (スタンバイ) オン/オフ ボタン
カセットが挿入されている状態のストップモード時には、このボタンを押すたびにVTRのスタンバイモードのオン/オフを切り換えることができます。
スタンバイモードではドラムが回転し、テープがドラムに密着しているため、再生を即座に開始することができます。
また、スタンバイモードのまま8分(セットアップメニューの拡張メニュー項目501のSTILL TIMERで変更可能)経過すると、テープ保護のためスタンバイモードは自動的に解除されます。

2-2 コネクターパネル

2-2-1 J-10/30のコネクターパネル



① AC IN (AC電源入力) 端子

電源コード(別売り)を使って電源コンセントに接続します。

② RS232C (RS-232Cシリアルインターフェース) 端子 (D-SUB 9ピン)

ソニー9ピンリモート機能を備えた外部機器から本機を遠隔操作する場合に使用します。

③ REMOTE IN (リモート入力) (9P) 端子 (9ピン、RS-422Aシリアルインターフェース)

ソニー9ピンリモート機能を備えた外部機器から本機を遠隔操作する場合に使用します。

④ EXT SYNC (外部同期) 入力端子

基準ビデオ信号を入力します。ただし、本機の場合フレームロックのみで、カラーサブキャリアにはロックしません。

⑤ VIDEO OUTPUT (ビデオ出力) 端子

COMPOSITE (アナログコンポジットビデオ) (SUPER) 出力端子 (ピンジャック型) : アナログコンポジットビデオ信号を出力します。セットアップメニューの基本メニュー項目 005 の DISPLAY INFORMATION SELECT が OFF 以外の設定のとき、タイムコード、メニュー設定、アラームメッセージなどの文字情報がスーパーインポーズされて出力されます。

COMPOSITE (アナログコンポジットビデオ) (SUPER) 出力端子 (BNC型) : アナログコンポジットビデオ信号を出力します。セットアップメニューの基本メニュー項目 005 の DISPLAY INFORMATION SELECT が OFF 以外の設定のとき、タイムコード、メニュー設定、アラームメッセージなどの文字情報がスーパーインポーズされて出力されます。

S VIDEO (Sビデオ) 出力端子 (Mini DIN 4ピン) : Sビデオ信号を出力します。

i.LINK DV (i.LINK DV) 出力端子 (IEEE1394型、6ピン) : DVフォーマットのデジタルビデオ/オーディオ信号を出力します。セットアップメニューの基本メニュー項目 030 の i.LINK CHARACTER が ON の状態で、基本メニュー項目 005 の DISPLAY INFORMATION SELECT が OFF 以外の設定のとき、タイムコード、メニュー設定、アラームメッセージなどの文字情報がスーパーインポーズされて出力されます。

ご注意

- 本機のDV端子に接続できる機器は、通常1台だけです。複数台を接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機のi.LINK(DV)出力は、ノンリニア編集用ソフトをインストールしたコンピューターへのフィード用です。ソニー製i.LINK(DV)対応VTR(DVCAMシリーズ)などと接続しても使用できませんが、オートダビング機能、編集機能には対応していません。
- 6ピン型のDV端子を持つ機器と本機をDVケーブルで接続する場合、DVケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。機器の電源プラグを差したままDVケーブルを抜き差しすると、機器のDV端子から出力している高電圧(8~40V)による電流が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。

- 6ピン型のDV端子を持つ機器と本機を接続する場合は、相手側機器の6ピン型のDV端子から先に接続してください。

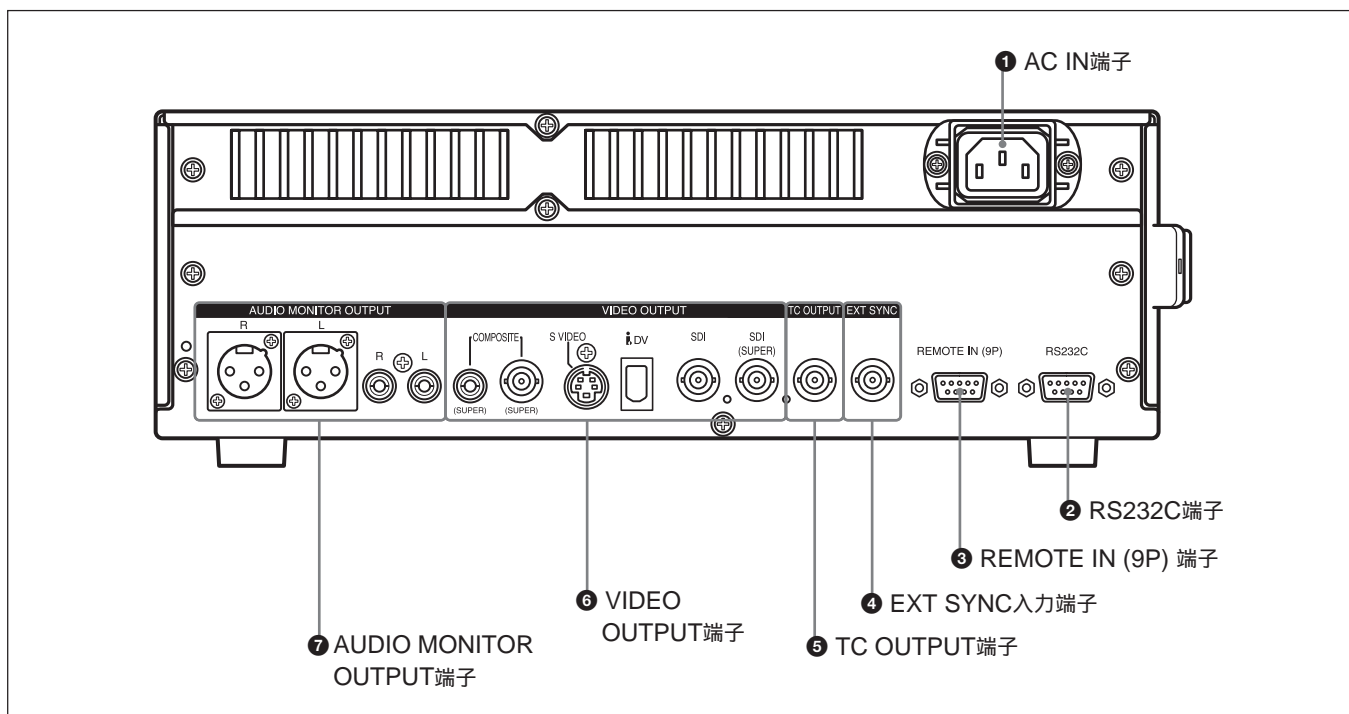
COMPONENT(コンポーネント) Y/R - Y/B - Y出力端子(BNC型): アナログコンポーネントビデオ信号(Y/R - Y/B - Y)を出力します。

6 AUDIO MONITOR OUTPUT(オーディオモニター出力)端子

オーディオモニターL/R出力端子(XLR 3ピン、オス):
コントロールパネルのAU MON SEL/DOLBY C NRボタンの設定に応じて、LおよびRの2系統のオーディオモニター信号を出力します。

オーディオモニターL/R出力端子(ピンジャック型): コントロールパネルのAU MON SEL/DOLBY C NRボタンの設定に応じて、LおよびRの2系統のオーディオモニター信号を出力します。

2-2-2 J-10SDI/30SDIのコネクターパネル



1 AC IN(AC電源入力)端子
電源コード(別売り)を使って電源コンセントに接続します。

2 RS232C(RS232Cシリアルインターフェース)端子
(D-SUB 9ピン)
ソニー9ピンリモート機能を備えた外部機器から本機を遠隔操作する場合に使用します。

③ REMOTE IN(リモート入力)(9P)端子(9ピン、RS-422Aシリアルインターフェース)

ソニー9ピンリモート機能を備えた外部機器から本機を遠隔操作する場合に使用します。

④ EXT SYNC(外部同期)入力端子

基準ビデオ信号を入力します。ただし、本機の場合フレームロックのみで、カラーサブキャリアにはロックしません。

⑤ TC OUTPUT(タイムコード出力)端子(BNC型)

再生タイムコードを出力します。

⑥ VIDEO OUTPUT(ビデオ出力)端子

COMPOSITE(アナログコンポジットビデオ)(SUPER)出力端子(ピンジャック型):アナログコンポジットビデオ信号を出力します。セットアップメニューの基本メニュー項目005のDISPLAY INFORMATION SELECTがOFF以外の設定のとき、タイムコード、メニュー設定、アラームメッセージなどの文字情報がスーパーインポーズされて出力されます。

COMPOSITE(アナログコンポジットビデオ)(SUPER)出力端子(BNC型):アナログコンポジットビデオ信号を出力します。セットアップメニューの基本メニュー項目005のDISPLAY INFORMATION SELECTがOFF以外の設定のとき、タイムコード、メニュー設定、アラームメッセージなどの文字情報がスーパーインポーズされて出力されます。

S VIDEO(Sビデオ)出力端子(Mini DIN 4ピン):Sビデオ信号を出力します。

⑧ DV(i.LINK DV)出力端子(IEEE1394型、6ピン):DVフォーマットのデジタルビデオ/オーディオ信号を出力します。セットアップメニューの基本メニュー項目030のi.LINK CHARACTERがONの状態、基本メニュー項目005のDISPLAY INFORMATION SELECTがOFF以外の設定のとき、タイムコード、メニュー設定、アラームメッセージなどの文字情報がスーパーインポーズされて出力されます。

ご注意

- 本機の⑧DV端子に接続できる機器は、通常1台だけです。複数台を接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機のi.LINK(DV)出力は、ノンリニア編集用ソフトをインストールしたコンピューターへのフィード用です。ソニー製i.LINK(DV)対応VTR(DVCAMシリーズ)などと接続しても使用できますが、オートダビング機能、編集機能には対応していません。

• 6ピン型のDV端子を持つ機器と本機をDVケーブルで接続する場合、DVケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。機器の電源プラグを差したままDVケーブルを抜き差しすると、機器のDV端子から出力している高電圧(8~40V)による電流が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。

• 6ピン型のDV端子を持つ機器と本機を接続する場合は、相手側機器の6ピン型のDV端子から先に接続してください。

SDI(シリアルデジタルインターフェース)出力端子:D1フォーマットのビデオ/オーディオ信号を出力します。文字情報はスーパーインポーズされません。

SDI(シリアルデジタルインターフェース)(SUPER)

出力端子:D1フォーマットのビデオ/オーディオ信号を出力します。セットアップメニューの基本メニュー項目027のSDI OUT CHARACTERがONの状態、基本メニュー項目005のDISPLAY INFORMATION SELECTがOFF以外の設定のとき、タイムコード、メニュー設定、アラームメッセージなどの文字情報がスーパーインポーズされて出力されます。

⑦ AUDIO MONITOR OUTPUT(オーディオモニター出力)端子

オーディオモニターL/R端子(XLR 3ピン、オス):コントロールパネルのAU MON SEL/DOLBY C NRボタンの設定に応じて、LおよびRの2系統のオーディオモニター信号を出力します。

オーディオモニターL/R端子(ピンジャック型):コントロールパネルのAU MON SEL/DOLBY C NRボタンの設定に応じて、LおよびRの2系統のオーディオモニター信号を出力します。

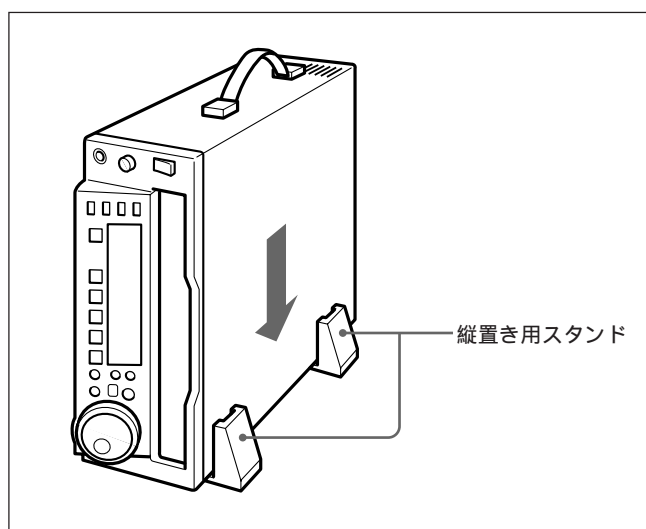
準備

3-1 設置

本機は、横置きでも縦置きでも使用することができます。ただし、縦置きに設置する場合は、必ず付属の縦置き用スタンドを使用し、図のように固定してください。

ご注意

- 本機を縦置きでご使用になる場合は、必ずハンドルが上になるように設置してください。
- 横置き、縦置きのいずれの場合でも、本機の周囲は5 cm以上あけてください。



3-2 カセットの取り扱い

再生可能なカセット

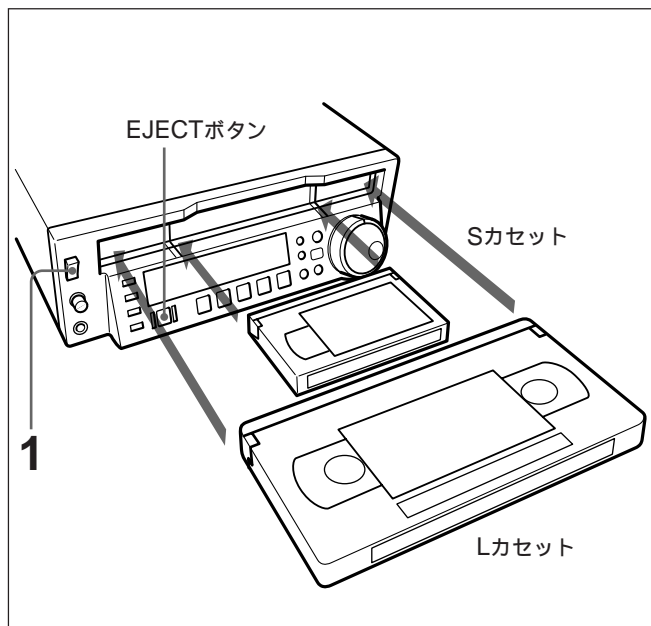
本機では、以下のテープ幅 $1/2$ インチのカセットの再生が可能です。

- デジタルベータカムカセット(J-30/30SDIのみ)
- MPEG IMXカセット(J-30/30SDIのみ)
- ベータカムSXカセット
- ベータカムSPカセット
- ベータカムカセット
- UVW用カセット

カセットを出し入れするには

カセットの出し入れは、電源が入った状態で行ってください。

カセットを入れるには



1 POWERスイッチをONにする。

2 次の点を確認してから、カセットを図の向きにして挿入する。

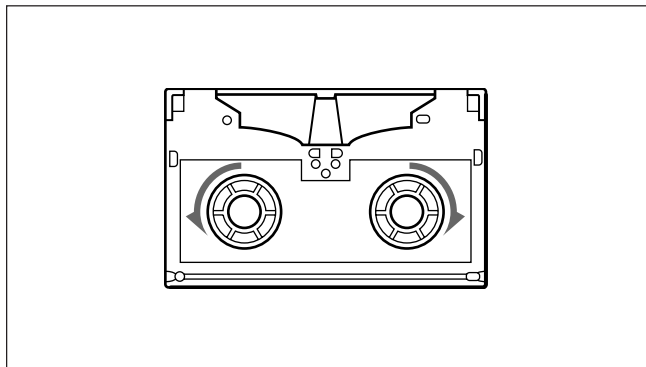
- テープにたるみがない。
- タイムデータ表示部に「E10-0000」と表示されていない。

カセットが引き込まれます。

タイムデータ表示部に「E10-0000」と表示されている場合は、本機内部に結露が発生しています。結露発生時の処置については、「8-3 結露」(8-2 (JP)ページ)をご覧ください。

テープのたるみを取るには

指で一方のリールを押し込みながら、リールが回らなくなるまで矢印の方向へ軽く回します。



カセットを取り出すには

EJECTボタンを押します。

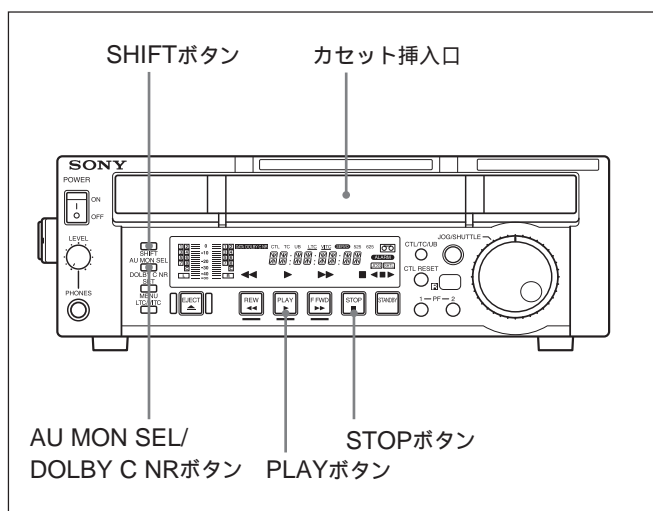
カセットが排出されます。

本機内部でのテープのたるみのため、EJECTボタンを押してもカセットが排出されなかった場合のカセットの取り出しかたについては、メンテナンスマニュアルを参照してください。

再生

4-1 再生操作

4-1-1 通常再生



あらかじめカセットを挿入します。

カセットの挿入について詳しくは、「カセットを出し入れするには」(3-2 (JP)ページ)をご覧ください。

再生を始めるには
PLAY ボタンを押します。

再生を止めるには
STOP ボタンを押します。

テープが終わりまで再生されると自動的にテープの初めまで巻き戻されて止まります。
(拡張メニュー項目125のAUTO REWINDがENAの場合)

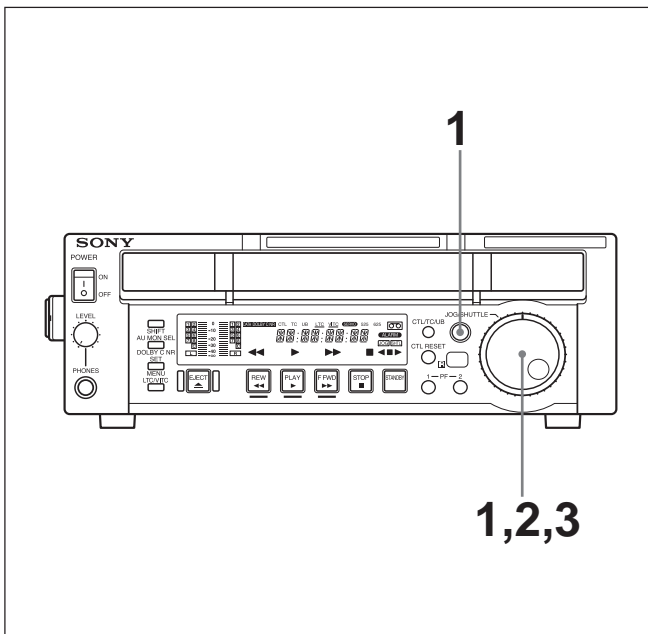
ご注意

- ・ベータカムSXテープまたはデジタルベータカムテープを再生した直後にベータカムテープまたはベータカムSPテープを再生すると、再生の開始に時間がかかることがあります。
- ・本機はオートトラックを採用しています(デジタルベータカム、MPEG IMX使用時)。工場出荷時の設定はAUTO TRACKING ONに設定されていますが、OFFに設定を変えることもできます。設定変更のしかたについては詳しくは、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。なお、引き込み動作中は、PLAY ボタンのインジケータ ▶ が点滅します。

ドルビーC NRシステムを使うときは
アナログベータカムカセット使用時、音声の再生にはドルビーC NRシステムを用いることができます。

ドルビーC NRシステムを働かせるには、コントロールパネルのSHIFT ボタンを押したままAU MON SEL/DOLBY C NR ボタンを押します。

4-1-2 ジョグモードの再生



ジョグモードの再生では、JOGダイヤルの回転速度により再生速度を変化させることができます。再生速度の可変範囲は ± 1 倍速です。

ジョグモードで再生を行うには、以下のように操作します。

- 1 JOGダイヤルを直接回すか、JOG/SHUTTLEボタンを押してJOGインジケータを点灯させる。

JOG/SHUTTLEボタンを押してジョグ/シャトルモードを切り換える場合は、押すたびにジョグモードとシャトルモードが交互に選択されます。

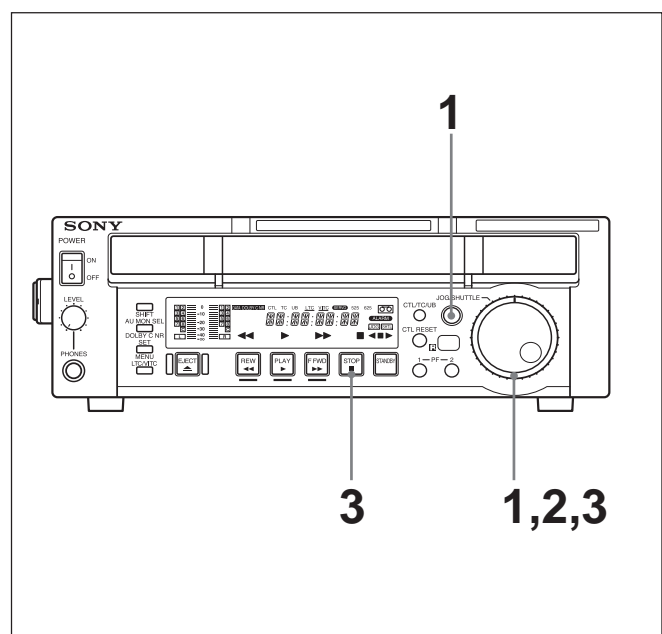
- 2 JOGダイヤルを、希望の再生速度になる速さで希望の方向に回す。

ジョグモード再生が始まります。

- 3 ジョグ再生を止めるには、JOGダイヤルを止める。

なお、拡張メニュー項目101のSELECTION FOR JOG/SHUTTLE DIAL ENABLEの設定により、JOG/SHUTTLEボタンを押さないとジョグ/シャトルモードに切り換わらないようにすることができます。(初期設定はこの設定になっていません。)

4-1-3 シャトルモードの再生



シャトルモードの再生では、SHUTTLEダイヤルの回転角度により再生速度を段階的に変化させることができます。

- デジタルベータカムテープ使用時： ± 21 倍速
- MPEG IMXテープ使用時： ± 32 倍速/ ± 38 倍速(NTSC/PAL)
- ベータカムSXテープ使用時： ± 35 倍速
- アナログベータカムテープ使用時： ± 18 / ± 20 倍速(NTSC/PAL)

+の符号は正方向の、-の符号は逆方向の再生速度になります。

SHUTTLEダイヤルはセンター位置でクリックし静止画となります。シャトルモードで再生を行うには、以下のように操作します。

- 1 SHUTTLEダイヤルを直接回すか、JOG/SHUTTLEボタンを2回押してSHUTTLEインジケータを点灯させる。

この時シャトルダイヤルがセンター位置にない場合は、その回転角度に応じた速度でシャトルモード再生が始まります。

JOG/SHUTTLEボタンを押してジョグ/シャトルモードを切り換える場合は、押すたびにジョグモードとシャトルモードが交互に選択されます。

2 SHUTTLEダイヤルを、希望の再生速度になる角度だけ希望の方向に回す。

シャトルモード再生が始まります。

3 シャトルモード再生を止めるには、SHUTTLEダイヤルをセンターのクリックする位置に戻すか、STOPボタンを押す。

なお、拡張メニュー項目 101 の SELECTION FOR JOG / SHUTTLE DIAL ENABLE の設定により、JOG / SHUTTLE ボタンを押さないとジョグ / シャトルモードに切り換わらないようにすることができます。(初期設定はこの設定になっています。)

標準速再生に戻すには
PLAY ボタンを押します。

標準速再生とシャトルモード再生を交互に行うには
SHUTTLEダイヤルをシャトルモードで再生したい速度に応じた位置に設定し、PLAY ボタンを押した後、JOG / SHUTTLE ボタンを2回押し、これを交互に繰り返します。

また、シャトルモード再生を断続的に行いたいときは、STOP ボタンを押した後、JOG / SHUTTLE ボタンを2回押し、これを交互に繰り返します。

通常はJOG / SHUTTLE ボタンを押してジョグ / シャトルモードにしてからSHUTTLEダイヤルを回しますが、直接ダイヤルをまわすだけでもジョグ / シャトルモードにすることもできます(拡張メニュー項目 101 の SELECTION FOR JOG / SHUTTLE DIAL ENABLE の設定を DIAL にしたとき)。この場合、SHUTTLEダイヤルを操作後センター位置に戻しておかないと、再生中など、振動によりダイヤルが動き、まれにテープがシャトルモードで走り出す場合があります。

4-1-4 ノイズレス再生機能とコマ送り機能

ベータカムSXまたはMPEG IMXフォーマットを使用している場合、本機をノイズレスモードに設定すると、 ± 0.5 倍速以内のジョグ / シャトル再生がノイズレス再生となります。このときMPEG IMXフォーマットでは音がミュートイングされ、ベータカムSXフォーマットではフレーム完結の断続音となります。また、ノイズレスモード時にはPF-1/2ボタンを使ってコマ送りをすることができます。MPEG IMXフォーマットでは1フレームステップ、ベータカムSXフォーマットでは2フレームステップのコマ送りになります。

ノイズレスモードを設定するには

セットアップメニューの基本メニュー項目 025 の NOISELESS で Enable を選択します。(出荷時は Disable に設定されています。) ディスプレイ表示部の JOG または SHTL 表示が点滅します。

ノイズレス再生を実行するには

本機をノイズレスモードに設定し、JOG / SHUTTLE ボタンを押してから JOG / SHUTTLEダイヤルを回すと、 ± 0.5 倍速以下でノイズレススロー再生を実行できます。

ノイズレスモード時は低速重視のため、SHUTTLEダイヤルのスピード設定が、Normal の 0、 ± 0.03 、 ± 0.12 、 ± 0.5 、 ± 1 、 ± 2 、 ± 10 、 ± 35 (ベータカムSXフォーマット時)(15ステップ)から 0、 ± 0.03 、 ± 0.06 、 ± 0.12 、 ± 0.25 、 ± 0.5 、 ± 1 、 ± 10 (15ステップ)に切り換わります。

なお、MPEG IMXフォーマットの使用時は、セットアップメニューの拡張メニュー項目 922 の IMX NOISELESS PB SELECT で、再生画を FRAME / FIELD 1 / FIELD 2 の3通り(出荷時は FRAME)から選択することができます。

コマ送りを実行するには

本機をノイズレスモードに設定し、PF-1/2 ボタンを押します。ベータカムSXフォーマットの場合、PF-1 ボタンを押すたびに巻き戻し方向に2フレームずつ、PF-2 ボタンを押すと早送り方向に2フレームずつ画像が進みます。MPEG IMXフォーマットの場合、同じ方法で各方向に1フレームずつのコマ送りができます。

【注意】

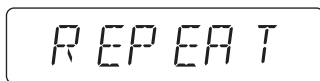
- コマ送りを実行するときは、PF-1/2 ボタンを押す前に必ず、一度 PLAY ボタンを押してください。また、FWD / REV 切り換え時には PF-1/2 ボタンを2回押さないと、画像が更新されないことがあります。
- コマ送り時は、画像と LTC が最大5フレームずれる場合がありますので、VITC を使うことをおすすめします。
- コマ送り時にブロックノイズが消えないことがありますが、この場合は一度逆方向にコマ送りするか再度 PLAY ボタンを押してください。

4-1-5 繰り返し再生(リピート再生)機能

繰り返し再生(リピート再生)機能を使用すると、指定した区間を繰り返し再生させることができます。

リピート再生モードを設定するには

セットアップメニューの拡張メニュー項目142のREPEAT MODEでPLAYを選択します。(出荷時はOFFに設定されています。)カセットが挿入されているときは、タイムデータ表示部に、4秒ごとに1回、「REPEAT」が1秒間表示されます。カセットが挿入されていないときは、常時表示されます。



ご注意

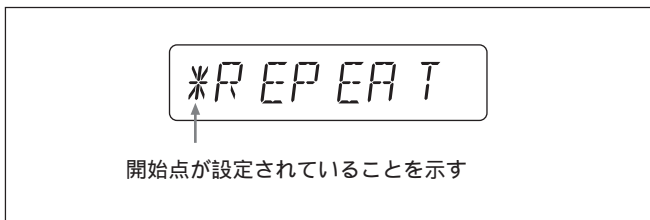
ジョグおよびシャトルモードのときは、タイムデータ表示部に「REPEAT」表示は出ません。

開始点・終了点を設定するには

カセットを挿入した状態で現在のテープ位置を、リピート再生の開始点または終了点に設定することができます。

開始点を設定するには

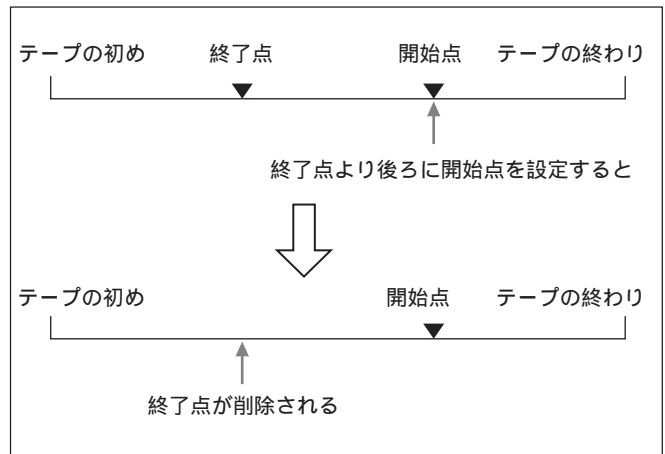
STOPボタンを押したままREWボタンを押します。押したときのテープ位置のタイムコード(LTCデータ)が開始点として記憶されます。開始点が設定されると、タイムデータ表示部の「REPEAT」表示の左側に「*」が追加表示されます。



なお、開始点が設定されない場合は、テープの初めからのリピート再生になります。

ご注意

- ・開始点として記憶されるタイムコードはLTCのみです。VITCやCTLを使用して開始点を設定することはできません。
- ・すでに終了点が設定されている場合に、終了点より後ろに開始点を設定する(終了点より大きいタイムコード値を開始点にする)と、設定済み終了点が削除されます。



終了点を設定するには

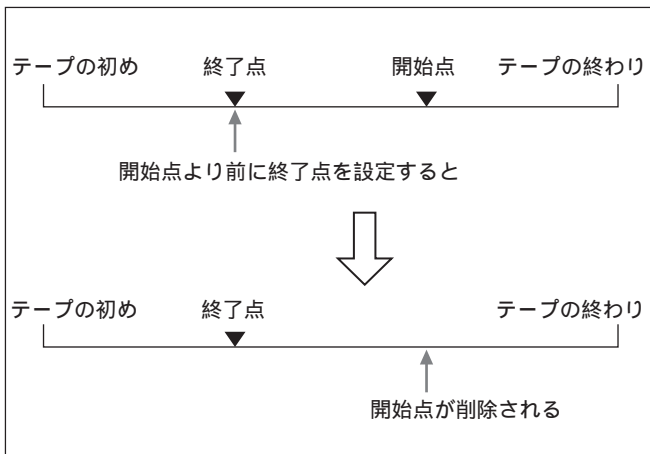
STOPボタンを押したままF FWDボタンを押します。押したときのテープ位置のタイムコード(LTCデータ)が終了点として記憶されます。終了点が設定されると、タイムデータ表示部の「REPEAT」表示の右側に「*」が追加表示されます。



なお、終了点が設定されない場合は、テープの終わりまでのリピート再生になります。

ご注意

- ・終了点として記憶されるタイムコードはLTCのみです。VITCやCTLを使用して終了点を設定することはできません。
- ・すでに開始点が設定されている場合に、開始点より前に終了点を設定する(開始点より小さいタイムコード値を終了点にする)と、設定済み開始点が削除されます。



リピート再生を実行するには

PLAY ボタンを押します。

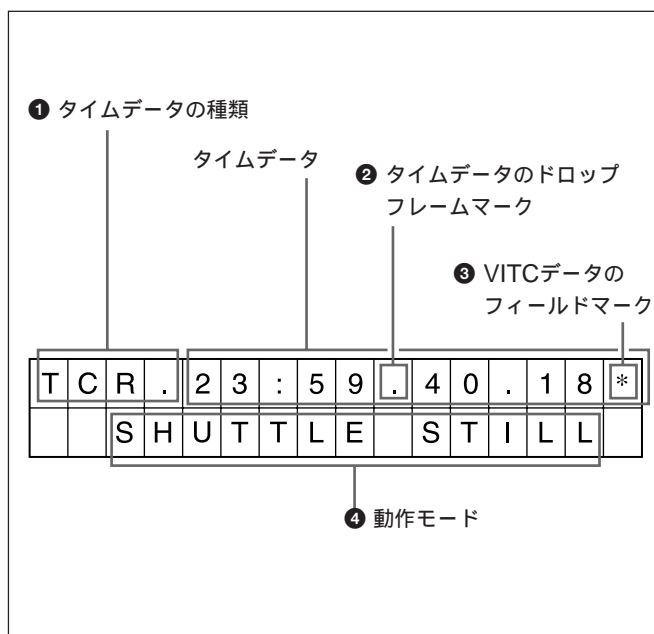
設定済み開始点・終了点のタイムコードを確認するには

STOP ボタンとPLAY ボタンを同時に押したままにします。押している間、タイムデータ表示部に「START」「開始点タイムコード」「END」「終了点タイムコード」「STRAT」の順に繰り返し表示されます。

設定済み開始点・終了点を削除するには

EJECT ボタンを押してカセットを排出します。開始点および終了点の両方が削除されます。

4-2 スーパーインポーズされる文字情報



セットアップメニューの基本メニュー項目005のDISPLAY INFORMATION SELECTがOFF以外の設定のとき、COMPOSITE(SUPER)出力端子、SDI(SUPER)出力端子(J-10SDI/30SDIのみ)、iDV端子から出力されるビデオ信号にタイムコード、メニュー設定、アラームメッセージなどの文字情報をスーパーインポーズ(重ねて表示)することができます。

スーパーインポーズ表示のための設定については、基本メニュー項目005のDISPLAY INFORMATION SELECT(7-7(JP)ページ)、基本メニュー項目027のSDI OUT CHARACTER(7-9(JP)ページ)、基本メニュー項目030のi.LINK CHARACTER(7-9(JP)ページ)をご覧ください。

文字の調節

スーパーインポーズされる文字の位置、大きさ、種類は、基本メニューで設定します。

基本メニューについては詳しくは、「7-3 基本メニュー」(7-7(JP)ページ)をご覧ください。

ご注意

工場出荷時は、基本メニュー項目005のDISPLAY INFORMATION SELECTがOFFに設定されています。なお、基本メニュー項目005のDISPLAY INFORMATION SELECTを変更することにより、2行目にも異なる種類のタイムデータを表示させることができます。

詳しくは、「7-3 基本メニュー」(7-7(JP)ページ)をご覧ください。

表示内容

① タイムデータの種類

表示	意味
CTL	CTLカウンターのデータ
TCR	LTCリーダーのタイムコードデータ
UBR	LTCリーダーのユーザービットデータ
TCR.	VITCリーダーのタイムコードデータ
UBR.	VITCリーダーのユーザービットデータ

ご注意

タイムデータやユーザービットを正しく読みとれなかったときは、“T*R”、“U*R”、“T*R.”、“U*R.”のように、このブロックに“*”マークが表示されます。

② タイムデータのドロップフレームマーク

“.”: ドロップフレームモードのとき

“:”: ハンドロップフレームモードのとき

③ VITCデータのフィールドマーク

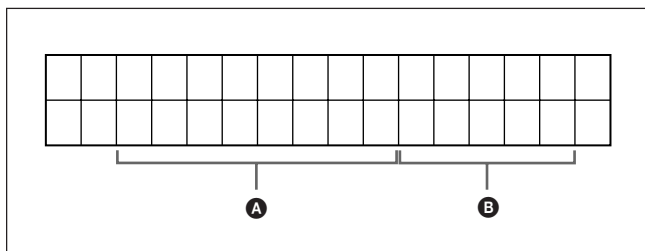
“ ”: ブランク(空白): フィールド1、3を表示するとき

“*”: フィールド2、4を表示するとき

④ 動作モード

表示内容は、下図のようにAとBの2ブロックに分かれています。

- Aブロック: 本機の動作モード
- Bブロック: サーボロック状態またはテープ速度



表示		動作モード
Aブロック	Bブロック	
TAPE UNTHREAD		カセットが装着されていない
STANDBY OFF		スタンバイオフモード
STOP		ストップモード
F.FWD		早送りモード
REW		巻き戻しモード
PLAY		再生モード(サーボアンロック)
PLAY	LOCK	再生モード(サーボロック)
JOG	STILL	ジョグモードの静止画
JOG	FWD	正方向のジョグ
JOG	REV	逆方向のジョグ
SHUTTLE	STILL	シャトルモードの静止画
SHUTTLE	(速度)	シャトルモード

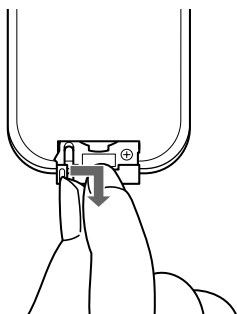
4-3 リモートコマンダーを使った再生操作

リモートコマンダーを使用する前に、電池部の透明フィルムを引き抜いてください。

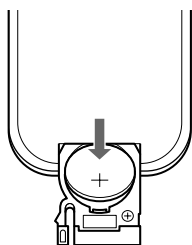
4-3-1 電池を交換するには

1 リチウム電池入れを引き出す。

つまんでロックをはずしながら手前に引いてください。



2 ⊕面を上にしてリチウム電池をはめ込む。



3 リチウム電池入れを差し込む。

リチウム電池についてのご注意

- ・ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、リモートコマンダーおよび電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
- ・万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

電池についての安全上のご注意



5 (JP) ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

リモートコマンダーが正常に動かなくなったら、電池を交換してください。

リモートコマンダーのご注意

- ・リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがありますので、本体の前面にあるリモコン受光部に向けてリモートコマンダーを操作してください。
- ・リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近く、リモコン受光部に対して直角なほど操作が可能になります。

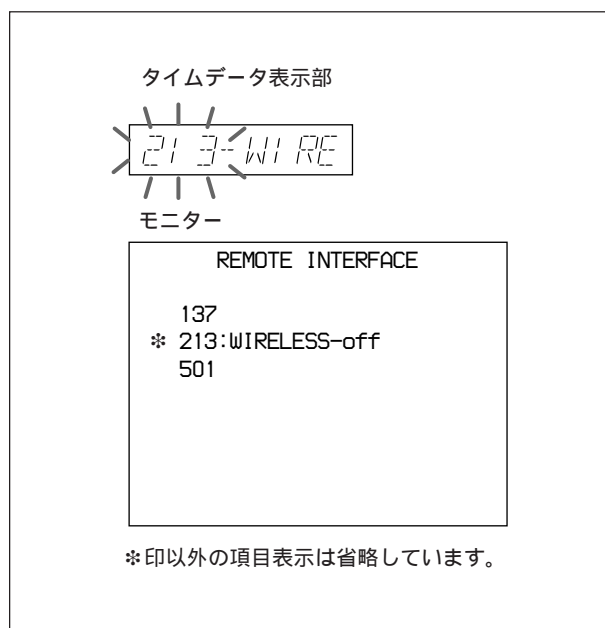
4-3-2 メニュー設定

リモートコマンダーをご使用になる場合は拡張メニュー項目213の WIRELESS REMOTE CONTROL をONに設定する必要があります。(工場出荷時はOFF)

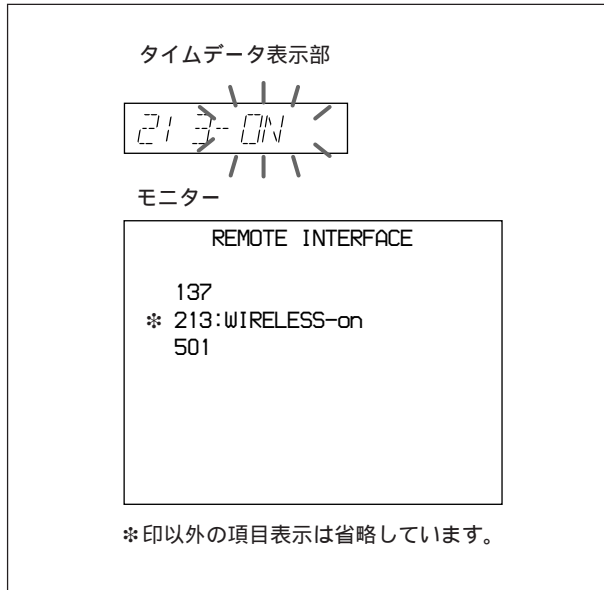
(以下の操作はWIRELESS REMOTE CONTROL をOFFからONに切り換える場合の例です。)

- 1 拡張メニュー項目213の WIRELESS REMOTE CONTROL を選択して表示させる。

タイムデータ表示部およびCOMPOSITE (SUPER) 出力端子、SDI (SUPER) 出力端子 (J-10SDI/30SDIのみ) または DV出力端子に接続したモニターに、以下のような表示が現れます。



- 2 JOG/SHUTTLE ボタンを押したまま、JOG/SHUTTLEダイヤルを回して設定をOFFからONに切り換え、JOG/SHUTTLE ボタンを離す。



(JOG/SHUTTLE ボタンを押している間はON が点滅して表示されます。)

- 3 SET/MENU ボタンを押す。

タイムデータ表示部はメニュー設定表示から抜け、通常の表示に戻ります。

モニターもメニュー設定表示から抜け、通常の表示に戻ります。

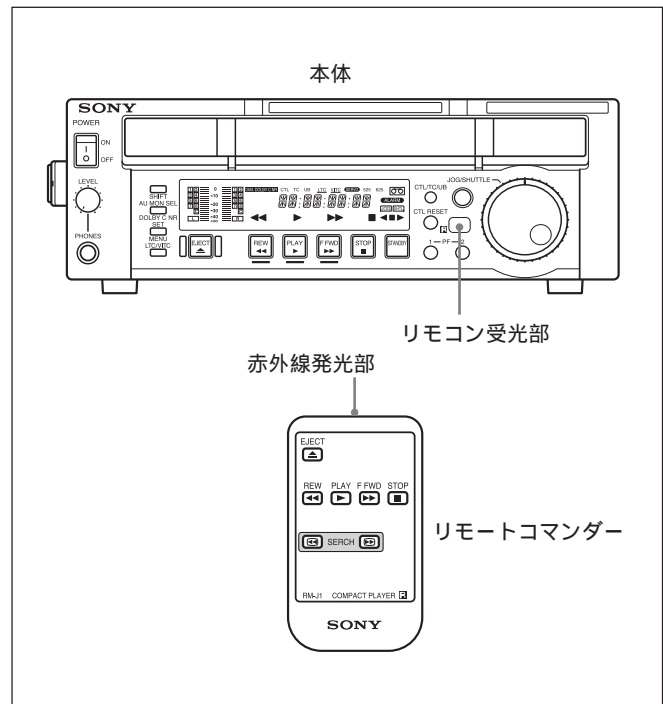
4-3-3 リモートコマンドの操作

リモートコマンドの赤外線発光部を本体のリモコン受光部に向けて操作キーを押します。

各操作キーは本体のコントロールパネルと同じ働きをします。

ご注意

SEARCH キーは、正方向の10倍速、SEARCH キーは、逆方向の10倍速になります。



ご注意

複数台のJ-10/10SDI/30/30SDIまたはJ-H1/H3(J-Hシリーズ)を並べてリモートコマンドを操作すると、複数台同時に動作することがあります。

その場合は、動作させたくないセットの拡張メニュー項目213のWIRELESS REMOTE CONTROLをOFFに設定してください。

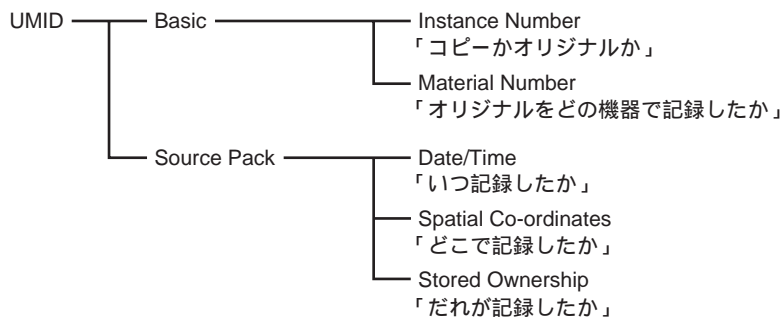
UMID機能

5-1 UMID機能の概要

UMID (Unique Material Identifier) とは、SMPTE 330M に規定されている映像・音声素材のメタデータです。本機では、デジタルベータカムおよび MPEG IMX フォーマットで記録された UMID を再生することができます。

UMID は「Basic」と呼ばれる情報と、「Source Pack」と呼ばれる情報があります。Basic には、素材を記録した機器を特定する情報、およびその記録がオリジナルかコピーかを示す情報などが含まれます。Source Pack には、「いつ」、「どこで」、「だれが」記録したかという情報が含まれます。

Basic のみの UMID を「Basic UMID」、Basic に Source Pack を加えた UMID を「Extended UMID」と呼びます。下図は、UMID に含まれる情報を表す概念図です。



5-2 UMIDの出力と表示

ここでは、UMIDの出力と表示について説明します。

5-2-1 UMIDの出力に関する設定

UMIDをSDI信号に出力するか否か、出力する場合はBasic UMID、Extended UMIDのどちらを出力するかを設定することができます。この設定は、拡張メニュー項目651のUMID OUTPUTを使用して行います。

拡張メニュー項目651については、7-11 (JP)ページをご覧ください。

5-2-2 UMIDの表示

再生中のUMIDのデータは、スーパーインポーズによりビデオモニターに表示させることができます。

UMIDを表示させるには

SHIFT ボタンを押したままPLAY ボタンを押します。

UMID表示を終了するには

再度SHIFT ボタンを押したままPLAY ボタンを押します。

モニター画面でのUMID表示

デジタルベータカムフォーマット(J-30SDI)およびMPEG IMXフォーマット(J-30/30SDI)での再生時には、コネクターパネルのCOMPOSITE (SUPER) 出力端子、SDI (SUPER) 出力端子(J-30SDIのみ)およびiDV端子に接続されたビデオモニターには、下図に示すようなUMIDの項目が一括して表示されます。

UMID	INFORMATION	
INSTANCE	①	②
MATERIAL	③	
	④	
	⑤	
DATE/TIME		⑥
⑦		⑧
ALTITUDE	⑨	⑩⑪⑫
LONGITUDE		⑬
LATITUDE		⑭
ORGANIZATION		⑮
USER	⑯	COUNTRY ⑰

- ① Instance Number Generation Method
- ② Instance Number
- ③ Material Number Generation Method
- ④、⑤ Material Number
- ⑥ Year / Month / Date
- ⑦ Hour:Minute:Second
- ⑧ Time Zone
- ⑨ GPS 高度
- ⑩ 衛星数
- ⑪ 補助装置(“ ”:なし、“+”:あり)
- ⑫ PDOP 値(Position Dilution Of Precision value)
- ⑬ 経度(E:東経/W:西経)
- ⑭ 緯度(S:南緯/N:北緯)
- ⑮ Organization Code
- ⑯ User Code
- ⑰ Country Code

エッセンスマーク

6-1 エッセンスマーク機能の概要

エッセンスマーク (Essence Mark) とは、SMPTE RP210A Metadata Dictionary で規定されているディクショナリーアイテムの Term Value を使い、記録開始点や編集点の候補となるポイントを最大32バイトのデータで表現 / 伝送する機能です。

SMPTE RP210A Metadata Dictionary の基本記述形式は、SMPTE 336M Data Encoding Protocol using Key-Length-Value (KLVコーディング規定) で規定されます。

6-2 エッセンスマークの出力

テープ再生時、テープに記録されているエッセンスマークをSDI信号に出力することができます。また、テープに記録されているショットマークなどの情報をエッセンスマークに変換して出力することができます。

エッセンスマークを出力するか否かの選択

再生時にテープに記録されているエッセンスマークを出力するか否かを選択することができます。この選択は、**拡張メニュー項目 657** の ESSENCE MARK TAPE OUTPUT を使用して行います。

拡張メニュー項目 657 については、7-11 (JP) ページをご覧ください。

ショットマークをエッセンスマークに変換して出力する

再生時にテープに記録されているショットマークをエッセンスマークに変換して出力するか否かを選択することができます。この選択は、**拡張メニュー項目 658** の SHOT MARK ESSENCE MARK CONVERT を使用して行います。

拡張メニュー項目 658 を ON に設定した場合、**拡張メニュー項目 660** の ESSENCE MARK VANC LINE の設定によって、ショットマークから変換したエッセンスマークをSDI信号のどのVANC¹⁾ラインに挿入するかを選択することができます。

拡張メニュー項目 658 および 660 については、7-11 (JP) ページをご覧ください。

1) VANC=Vertical ancillary (data)

セットアップメニュー

7-1 メニューシステムの構成

本機では、操作前の主要なセットアップはメニューを操作して行えるようになっています。

本機では以下のセットアップメニューを使用します。

- 基本メニュー

デジタル時計に関する表示、文字情報の内容や表示、525 (NTSC) / 625 (PAL) システムの切り換えなどに関する設定、さらにメニューの設定を保存するメニューバンクに関する設定などを行います。

- 拡張メニュー

操作パネル、テープ保護、ビデオ・オーディオコントロール、デジタルプロセスなど、本機の機能に関し、幅広い設定を行います。

本機では、2種類までのメニュー設定をメニューバンク1、2に保存しておくことができます。保存したメニュー設定は、必要時に呼び出して使用することができます。

詳しくは、「メニューバンクの操作(基本メニュー項目B01～B12)」(7-5 (JP)ページ)をご覧ください。

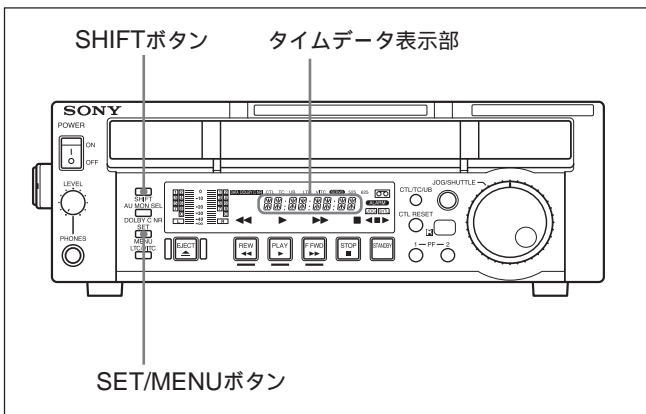
7-2 メニューの操作

ここでは基本メニューの設定表示と設定変更について説明します。

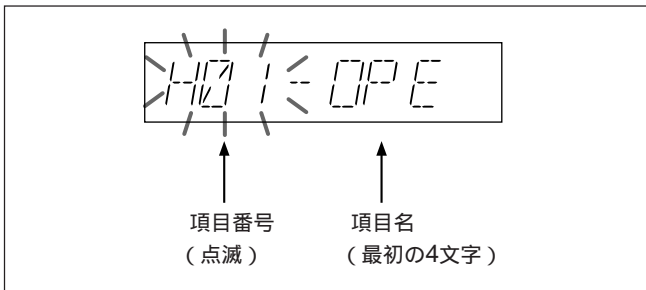
基本メニュー項目013とB01～B12の操作については、「525/625システムの切り換え(基本メニュー項目013)」(7-4 (JP) ページ)と「メニューバンクの操作(基本メニュー項目B01～B12)」(7-5 (JP) ページ)をそれぞれご覧ください。

拡張メニューの操作については、「拡張メニューの操作」(7-6 (JP) ページ)をご覧ください。

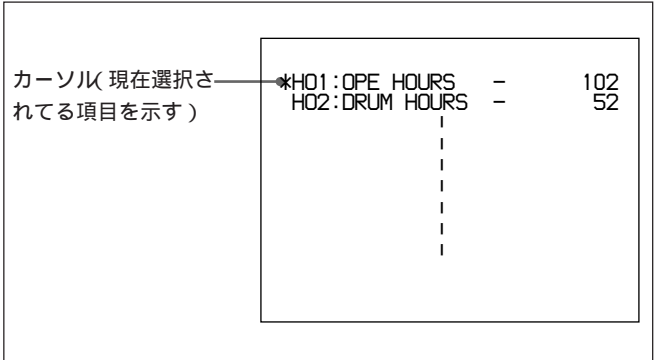
メニューの設定を表示させるには



SHIFT ボタンを押したままSET/MENU ボタンを押します。
現在選択されているメニュー項目の設定がタイムデータ表示部に表示されます。

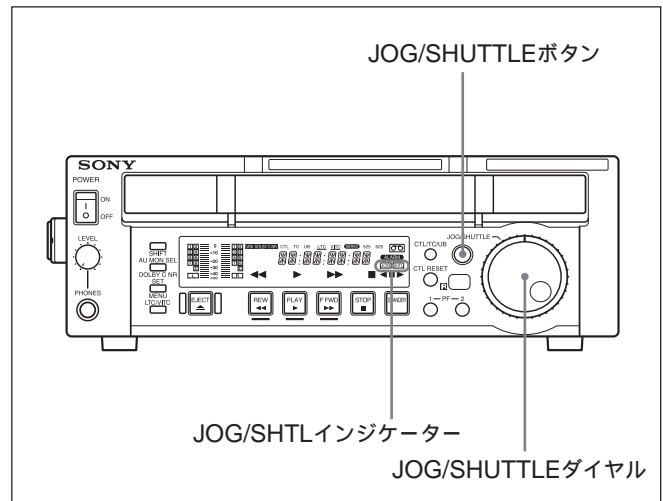


モニターへのメニュー情報の出力
モニターへの文字情報をスーパーインポーズする設定にしておくと、モニター上でメニュー設定が行えます。



SHIFT ボタンを押したままSET/MENU ボタンを押してタイムデータ表示部にメニュー設定を表示させると、COMPOSITE (SUPER) 出力端子、SDI (SUPER) 出力端子(J-10SDI/30SDIのみ)およびDV端子に接続したモニターで、上図のようなメニュー設定表示を見ることができます。

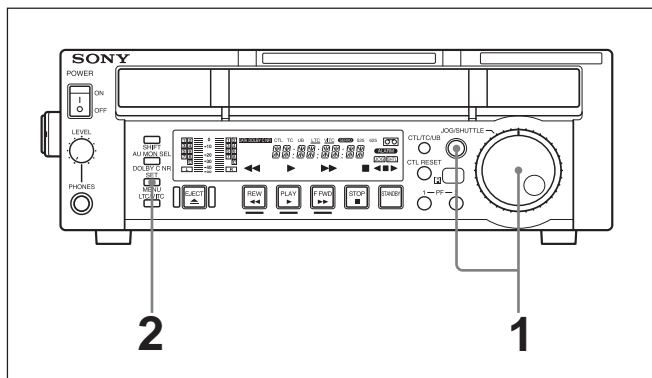
表示中のメニュー項目を変更するには



JOG/SHUTTLE ダイヤルを回します。
JOG/SHUTTLE ダイヤルを右に回すと項目番号が1つずつ増加し、左に回すと項目番号が1つずつ減少します。
JOG/SHUTTLE ダイヤルの回転角度(SHTL インジケーター点灯時)または回転速度(JOG インジケーター点灯時)に応じた速さで項目番号が変わります。

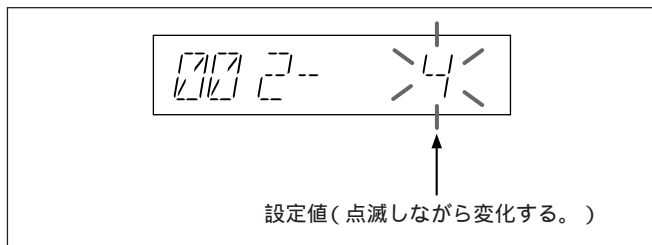
メニュー項目の設定値を変更するには

表示中のメニュー項目の設定値を変更するには、以下のように操作します。



- 1 JOG/SHUTTLE ボタンを押したまま、JOG/SHUTTLEダイヤルを回す。

SHUTTLEダイヤルの回転角度またはJOGダイヤルの回転速度に応じた速さで設定値が変わります。



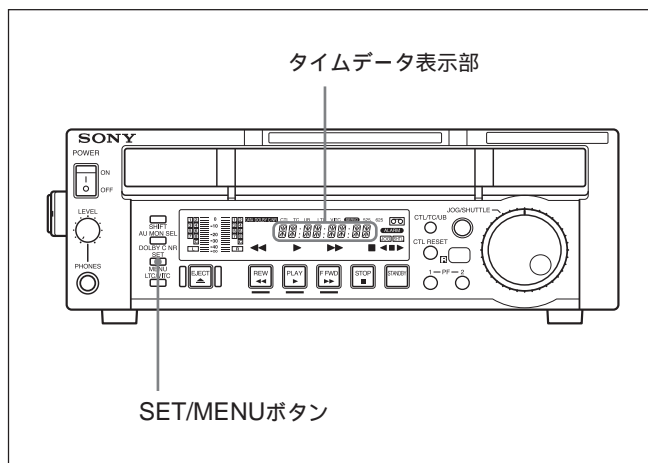
- 2 希望の設定値を表示させたら、SET/MENU ボタンを押す。

新しい設定値が保存され、タイムデータ表示部のメニュー表示が消えます。

設定値の変更を取り止めるには
SET/MENU ボタンを押す前に、SHIFT ボタンを押したまま
SET/MENU ボタンを押します。

変更した設定値は保存されずに、タイムデータ表示部のメニュー表示が消えます。

メニューを工場出荷値の設定に戻すには
(基本メニュー項目B20)



- 1 基本メニュー項目B20 のRESET SETUPをONに設定する。

タイムデータ表示部に「PUSH SET」、モニター画面には「Push SET button」と表示されます。

- 2 SET/MENU ボタンを押す。

カレントメニュー(「メニューバンクの操作(基本メニュー項目B01 ~ B12)」参照)の設定が工場出荷時の設定に戻ります。

- 3 再びSET/MENU ボタンを押す。

設定値が保存され、タイムデータ表示部のメニュー表示が消えます。

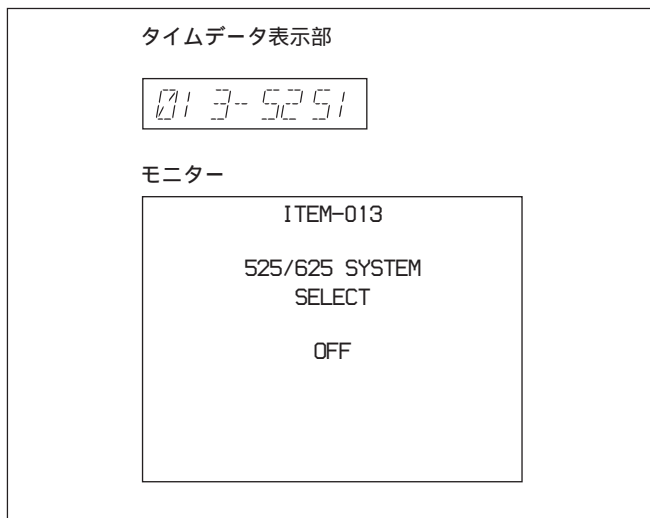
525/625システムの切り換え(基本メニュー項目013)

以下の手順により、基本メニュー項目013の525/625 SYSTEM SELECTをONにして525 (NTSC)システムと625 (PAL)システムの切り換えを行うことができます。

(以下の操作手順は、525 (NTSC)システムから625 (PAL)システムに切り換える場合の例です。)

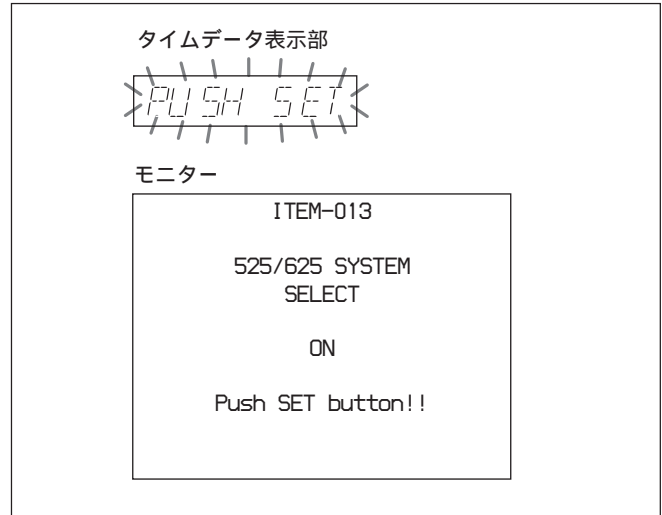
1 基本メニュー項目013を選択して表示させる。

タイムデータ表示部およびCOMPOSITE (SUPER) 出力端子、SDI (SUPER)出力端子 (J-10SDI/30SDIのみ) または DV出力端子に接続したモニターに、それぞれ以下のような表示が現れます。



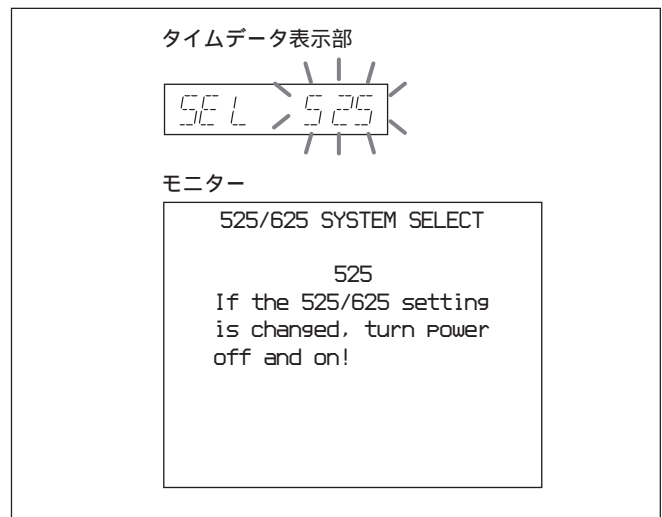
2 JOG/SHUTTLE ボタンを押したまま、JOG/SHUTTLEダイヤルを回して設定をOFFからONに切り換える。

表示が以下のように変わります。



3 SET/MENU ボタンを押す。

表示が以下のように変わります。



4 JOG/SHUTTLE ボタンを押したまま、JOG/SHUTTLEダイヤルを回して設定を525から625に切り換える。

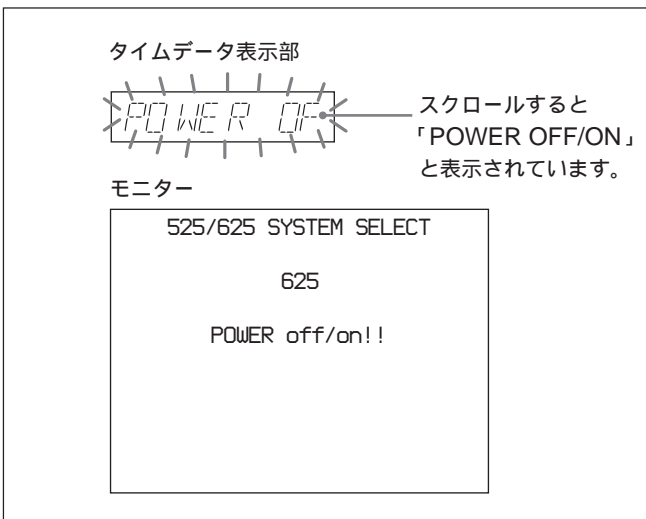
表示が以下のように変わります。



525/625システムの切り換えを取りやめるにはSHIFT ボタンを押したままSET/MENU ボタンを何回か押してメニューから抜けます。

5 SET/MENU ボタンを押す。

表示が以下のように変わります。



6 POWER スイッチを、いったんOFFにしてからONに戻す。

525 (NTSC)システムから625 (PAL)システムの切り換えが実行され、525インジケータが消灯し、625インジケータが点灯します。
タイムデータ表示部はメニュー設定表示から抜け、通常の表示に戻ります。

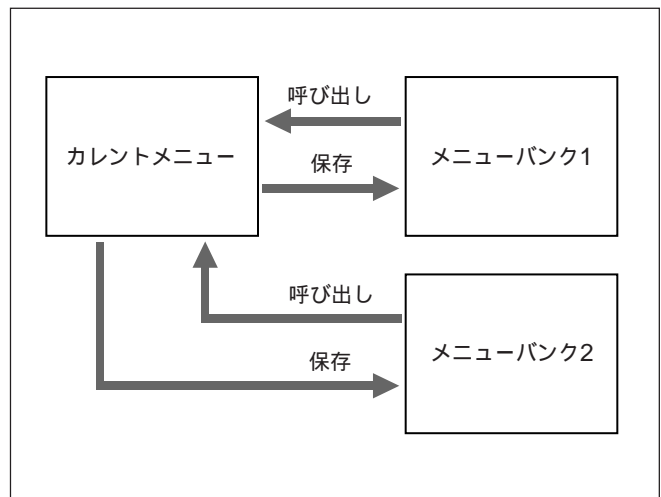
メニューバンクの操作 (基本メニュー項目B01 ~ B12)

本機では、2種類までのメニュー設定をメニューバンク1、2に保存しておくことができます。保存したメニュー設定は、必要時に呼び出して使用することができます。

メニューバンク操作項目にジャンプするにはSHIFT ボタンを押したままSET/MENU ボタンを押してからJOG/SHUTTLEダイヤルを回して必要な項目を選択することができます。SHIFT ボタンを押したままSET/MENU ボタンを押してからCTL/TC/UB ボタンを押すと、押すたびに項目B01とH01に交互にジャンプすることができます。

現在のメニュー (カレントメニュー) の設定を保存するにはメニューバンク1、2のいずれに保存するかに応じて、基本メニュー項目B11のSAVE BANK 1、B12のSAVE BANK 2のいずれかをONにしてから、SET/MENU ボタンを押します。

メニューバンクに保存した設定を呼び出すにはメニューバンク1、2のいずれを呼び出すかに応じて、基本メニュー項目B01のRECALL BANK 1、B02のRECALL BANK 2のいずれかをONにしてから、SET/MENU ボタンを押します。



拡張メニューの操作

拡張メニューも、基本メニューと同じ手順で操作できます。

基本メニューの操作については、7-2 (JP)ページをご覧ください。

ご注意

拡張メニューを開くには、基本メニュー項目099のMENU GRADEをENHANに設定する必要があります。

7-3 基本メニュー

基本メニューには以下の項目があります。

表の設定の欄で、工場出荷時の設定は **で囲んで** 示してあります。

項目番号	項目名	設定
002 ^{a)}	CHARACTER H-POSITION	COMPOSITE (SUPER) 出力端子、SDI (SUPER) 出力端子 (J-10SDI / 30SDI)、 DV 端子から出力されるタイムコードなどの文字情報の水平位置を設定する。 00 ~ 04 ~ 08 : 00 にすると画面左端から表示され、数字が増えると1文字分ずつ右へ移動する。
003 ^{a),b)}	CHARACTER V-POSITION	COMPOSITE (SUPER) 出力端子、SDI (SUPER) 出力端子 (J-10SDI / 30SDI)、 DV 端子から出力されるタイムコードなどの文字情報の垂直位置を設定する。 00 ~ 11 ~ 14 (525 モード) / 00 ~ 14 ~ 17 (625 モード) : 00 にすると画面上端から表示され、数字が増えると1行分ずつ下へ移動する。
005	DISPLAY INFORMATION SELECT	COMPOSITE (SUPER) 出力端子、SDI (SUPER) 出力端子 (J-10SDI / 30SDI)、 DV 端子から出力される文字情報の内容を設定する。 OFF : 文字情報を表示しない。 T&STA : タイムデータ表示情報と動作状態 T&UB : タイムデータ表示情報とユーザービット T&CTL : タイムデータ表示情報とCTL T&T : タイムデータ表示情報とタイムコード (LTC または VITC) TIME : タイムデータ表示情報のみ この項目の設定とコントロールパネルの設定により選択された文字情報が重複する場合は、自動的に重複を避ける。たとえば、コントロールパネルでCTLが選択されていて、このメニュー項目の設定がT&CTLの場合はCTLとLTCが出力される。
007	TAPE TIMER DISPLAY	CTL カウンターを12時間表示にするか24時間表示にするかを設定する。 + - 12H : 12時間表示 24H : 24時間表示
009 ^{a)}	CHARACTER TYPE	COMPOSITE (SUPER) 出力端子、SDI (SUPER) 出力端子 (J-10SDI / 30SDI)、 DV 端子から出力されるタイムコードなどの文字情報の文字タイプを設定する。 WHITE : 白文字で、背景は黒 BLACK : 黒文字で、背景は白 W/OUT : 白文字で、黒のふちどり B/OUT : 黒文字で、白のふちどり
011 ^{a)}	CHARACTER V-SIZE	COMPOSITE (SUPER) 出力端子、SDI (SUPER) 出力端子 (J-10SDI / 30SDI)、 DV 端子から出力されるタイムコードなどの文字情報の縦方向の大きさを設定する。 × 1 : 標準 × 2 : 2倍

a) 002、003、009、011 の設定をするときは、モニター画面を見ながら希望の状態に合わせてください。

b) タイムコードデータの表示には、多少時間の遅れがあります。そのため、オフライン編集用テープを作成する場合に、画面の上半分に挿入したデータが1フレーム遅れていることがあります。

7-3 基本メニュー

項目番号	項目名	設定
012	CONDITION DISPLAY ON VIDEO MONITOR (CHARACTER V-SIZE が × 1 の設定時のみ表示可能)	<p>スーパーインポーズ中の文字に、チャンネル状態を追加表示するかどうかを設定する。</p> <p><input type="checkbox"/>disable : 表示を行わない enable : 表示を行う</p> <p>表示方法 文字上のタイマーまたはステータス表示行の下に表示されます。(ただしアナログテープ挿入時は、ビデオの再生レベルのみ表示されます。) (例) V — A — “V”に続く文字は、回転ヘッドのビデオチャンネルの状態を表示します。 “A”に続く文字は、回転ヘッドのオーディオチャンネルの状態を表示します。</p> <p>文字パターン - : 状態は良好です。 * : 状態がややよくありません。 : 状態が悪いです。</p>
013	525/625 SYSTEM SELECT	<p>525(NTSC)/625(PAL)の切り換えを可能にするかどうかを指定する。</p> <p><input type="checkbox"/>OFF : 切り換えを可能にしない。 ON : 切り換えを可能にする。</p> <p>本機は525 (NTSC)と625 (PAL)を使用状況に応じ最初に設定できますので、あらかじめ本機を525 (NTSC)に 設定している場合、本項目をONにして625 (PAL)に切り換えると、本機は625/50 モードで動作し、また625 (PAL)に設定している場合は525 (NTSC)に切り換えると、525/60 モードで動作します。</p> <p>切り換え手順、その他詳細については、「525/625システムの切り換え(基本メニュー項目013)」(7-4 (JP)ページ)をご覧ください。</p>
020	DROP-FRAME MODE SELECT (525ラインモード時のみ)	<p>CTLカウンターの歩進モードを設定する。</p> <p><input type="checkbox"/>DF : ドロップフレームモード NDF : ノンドロップフレームモード</p>
022	PF2 KEY SELECT	<p>PF2ボタンの機能を指定する。</p> <p><input type="checkbox"/>REM : テープ残量を分で表示する RUN : 現在までのテープ走行時間を分で表示する。</p>
024	MENU CHARACTER TYPE	<p>COMPOSITE (SUPER)出力端子、SDI (SUPER)出力端子(J-10SDI/30SDI)、iDV端子から出力される映像信号にスーパーインポーズ(重ねて表示)されるメニューの文字タイプを設定する。</p> <p><input type="checkbox"/>WHITE : 白文字で、背景は黒 BLACK : 黒文字で、背景は白 W/OUT : 白文字で、黒のふちどり B/OUT : 黒文字で、白のふちどり</p>
025	NOISELESS PB MODE	<p>ノイズレス再生機能を使用するかどうかを設定する(ベータカムSX、MPEG IMXフォーマット使用時)。</p> <p><input type="checkbox"/>Disable : ノイズレス再生機能を使用しない。 Enable : ノイズレス再生機能を使用する。</p>
026	AUDIO MONITOR MODE	<p>AUDIO MONITORの選択方法を設定する。</p> <p><input type="checkbox"/>STEREO : ステレオ+ミックス MONO : モノラル+ミックス</p>

項目番号	項目名	設定
027	SDI OUT CHARACTER (J-10SDI/30SDIのみ)	SDI(SUPER)出力端子から出力される映像信号に文字情報をスーパーインポーズ(重ねて表示)するかどうかを設定する。 OFF:スーパーインポーズしない。 ON:スーパーインポーズする。
030	i.LINK CHARACTER	DV端子から出力される映像信号に文字情報をスーパーインポーズ(重ねて表示)するかどうかを設定する。 OFF:スーパーインポーズしない。 ON:スーパーインポーズする。

項目番号	項目名	設定
099	MENU GRADE	設定変更可能なメニューを指定する。 BASIC:基本メニュー ENHAN:基本メニュー+拡張メニュー
B01	RECALL BANK 1	メニューバンク1をカレントメニューの設定として呼び出すときONにする。
B02	RECALL BANK 2	メニューバンク2をカレントメニューの設定として呼び出すときONにする。
B11	SAVE BANK 1	カレントメニューの設定をメニューバンク1に保存するときONにする。
B12	SAVE BANK 2	カレントメニューの設定をメニューバンク2に保存するときONにする。
B20	RESET SETUP	カレントメニューの設定を出荷時の設定にリセットするときONにする。

7-4 拡張メニュー

拡張メニューには以下の項目があります。

表の設定の欄で、工場出荷時の設定は **で囲んで**示してあります。

項目番号	項目名	設定
101	SELECTION FOR JOG/SHUTTLE DIAL ENABLE	本機をジョグ / シャトルモードにする方法を設定する。 DIAL : JOG/SHUTTLE ダイヤル を回すとジョグ / シャトルモードに入る。 KEY : JOG/SHUTTLE ボタンを押すとジョグ / シャトルモードに入る。
102	MAXIMUM TAPE SPEED	早送り、巻き戻し、ジョグ / シャトルモードのテープ速度を設定する。 MAX : 早送り、巻き戻し、ジョグ / シャトルモードのいずれも最高速度で行う。 MX/24 : 早送り、巻き戻しは最高速度で行う。ジョグ / シャトルモードは最高24倍速以内で行う。 ×24 : 早送り、巻き戻し、ジョグ / シャトルモードのいずれも最高24倍速以内で行う。 早送り、巻き戻しの最高速度 • アナログカセット : 24倍速 • デジタルカセット : 50倍速 ジョグ / シャトルモードの最高速度 • アナログカセット : 18 (525) / 20 (625)倍速 • デジタルカセット : ベータカムSX 35倍速 MPEG IMX 32 (525) / 38 (625)倍速 (J-30 / 30SDIのみ) デジタルベータカム 21倍速 (J-30 / 30SDIのみ)
104	AUDIO MUTING TIME	ストップモードまたはジョグ / シャトルモード時の静止画モードから再生モードに移るとき、オーディオ出力信号をミュートする時間を設定する。 LOCK : サーボロックするまでミュートする。 OFF : オーディオ信号のミュート時間を0秒に設定(ミュートしない)。 0.1S ~ 1.0S : 0.1秒から1.0秒の範囲内で、0.1秒単位で設定可能。
105	REFERENCE SYSTEM ALARM	ビデオ / オーディオ用基準信号が存在しないときに警告するかどうかを選択する。 OFF : 警告しない。 ON : STOP インジケータを点滅させて警告する。
114	AUDIO MONITOR OUTPUT LEVEL	コネクターパネルからのオーディオモニターアウトレベルを、ヘッドホンジャックと連動してコントロールパネルのボリュームで可変にするかを選択する。 FIXED : 可変にしない VAR : 可変にする
125	AUTO REWIND	テープの最後まで再生したときに、テープを自動的に巻き戻すかどうかを選択する。 DIS : 巻き戻さない。 ENA : 巻き戻す。
130	TIMER DISPLAY DIMMER CONTROL	タイムデータ / メニュー表示部の明るさを設定する。 0 ~ 3 : この範囲で設定可能。3が最も明るく、0が最も暗くなる。
137	TRACKING CONTROL VIA JOG/SHUTTLE DIAL	JOG/SHUTTLE ダイヤル でのトラッキングコントロール動作を行うかどうかを選択する。 OFF : トラッキングコントロールが機能しない。 ON : PLAY モード中に JOG/SHUTTLE ダイヤル を回すことにより、トラッキングコントロールが可能となる。(ONに設定すると、ディスプレイ表示部の「JOG」と「SHTL」インジケータが点滅します。)
142	REPEAT MODE	リピート再生するかどうかを選択する。 OFF : リピート再生しない。 PLAY : リピート再生する。
213	WIRELESS REMOTE CONTROL	赤外線リモートコンマダーからのコントロールモードを設定する。 OFF : 制御しない。 ON : 制御する。
501	STILL TIMER	ビデオヘッドおよびテープの保護のため、テープ停止モード (STOP モードまたはジョグ / シャトルモードの静止画モード) で一定の時間が経過すると、本機は自動的にテープ保護モードに移る。本項目では、テープ停止モードになってからテープ保護モードに移るまでの時間を設定する。 0.5S ~ 8M ~ 30M : 0.5秒から30分までの範囲内で設定可能。

項目番号	項目名	設定
651	UMID OUTPUT (J-30SDIのみ)	<p>デジタルベータカムまたはMPEG IMXフォーマット使用時に、テープに記録されているUMIDデータをSDI出力端子から出力するかどうか、また出力する場合はどのように出力するかを選択する。</p> <p><input type="checkbox"/>OFF: テープに記録されているUMIDデータを出力しない。</p> <p>BASIC: テープに記録されているUMIDデータのうちBasic UMIDのデータ(32byte)を出力する。</p> <p>EXTENDED: テープに記録されているUMIDデータをExtended UMIDのデータ(64byte)として出力する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> Basic UMIDのデータが記録されているテープを使用している場合は、「EXTENDED」に設定した場合でもBasic UMIDのデータが出力されます。 メニュー項目901のVIDEO OUTPUT DATAが8Bitに設定されている場合、UMIDは出力されません。
657	ESSENCE MARK TAPE OUTPUT (J-30SDIのみ)	<p>デジタルベータカムまたはMPEG IMXフォーマット使用時に、テープに記録されているエッセンスマークをSDI出力端子から出力するかどうかを選択する。</p> <p>ON: テープに記録されているエッセンスマークを出力する。</p> <p><input type="checkbox"/>OFF: テープに記録されているエッセンスマークを出力しない。</p> <p>ご注意</p> <p>メニュー項目901のVIDEO OUTPUT DATAが8Bitに設定されている場合、エッセンスマークは出力されません。</p>
658	SHOT MARK ESSENCE MARK CONVERT (J-10SDI/30SDIのみ)	<p>デジタルベータカム、MPEG IMX、ベータカムSXフォーマット使用時に、LTCトラックに記録されているショットマークをエッセンスマークに変換して、SDI出力端子から出力するかどうかを選択する。</p> <p>ON: ショットマークをエッセンスマークに変換して出力する。</p> <p><input type="checkbox"/>OFF: ショットマークをエッセンスマークに変換しない。</p> <p>出力するエッセンスマークは、検出したショットマークの種類に応じて「_RecStart」、 「_ShotMark1」、 「_ShotMark2」のいずれかになります。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ショットマークのうち、ポストマークはエッセンスマークに変換されません。 ショットマークの検出のタイミングは再生状態などにより変化します。 メニュー項目901のVIDEO OUTPUT DATAが8Bitに設定されている場合、エッセンスマークは出力されません。
660	ESSENCE MARK VANC LINE (J-10SDI/30SDIのみ)	<p>メニュー項目658をONに設定した場合、エッセンスマークに変換したショットマークを挿入するラインを指定する。</p> <p>12H, 13H, 15H, 16H, <input type="checkbox"/>17H, 18H, 19H (525モード) 09H, 10H, 12H, 13H, 14H, 15H, 16H, <input type="checkbox"/>17H, 18H (625モード)</p>
710	INTERNAL VIDEO SIGNAL GENERATOR	<p>内部テスト信号発生器から出力するテスト信号を選択する。</p> <p><input type="checkbox"/>OFF: テスト信号を出力しない。(VTRは通常の動作を行う。)</p> <p>CB75: 75%カラーバー信号</p>
713 ^{a)}	VIDEO SETUP REFERENCE LEVEL (525ラインモード時のみ)	<p>コンポジット出力信号に加えられるビデオセットアップ量の設定を行います。</p> <p><input type="checkbox"/>0.0% <input type="checkbox"/>7.5%</p>
715 ^{a)}	VIDEO GAIN CONTROL	<p>映像出力レベルを調節する。Y信号のみ可変できます。</p> <p>初期設定値: <input type="checkbox"/>20H</p>

a) メニュー項目713および715～718では、アナログビデオ信号のビデオ調整のみ実行できます。デジタルビデオ信号(SDI出力/DV出力)の調整には対応していません。

7-4 拡張メニュー

項目番号	項目名	設定
716 ^{a)}	CHROMA GAIN CONTROL	クロマ出力レベルを調節する。 初期設定値： <input type="text" value="20H"/>
717 ^{a)}	CHROMA PHASE CONTROL	クロマ位相を調節する。コンポジット信号のみ可変できます。 初期設定値： <input type="text" value="80H"/>
718 ^{a)}	SETUP LEVEL (525ラインモード) / BLACK LEVEL (625ラインモード)	セットアップレベル(ブラックレベル)を調節する。 初期設定値： <input type="text" value="0H"/>
719	SYSTEM PHASE SYNC	出力信号のシンク位相を調節する。 初期設定値： <input type="text" value="3FH"/>
721	Y/C DELAY	アナログベータカムカセット再生時のY/C遅延量を調節する。 初期設定値： <input type="text" value="800H"/>
802	DIGITAL AUDIO MUTING IN SHUTTLE MODE	シャトル再生時における、デジタルオーディオのミュート条件を設定する。 <input type="checkbox"/> OFF：ミュートしない。 CUEUP：キューアップまたはプリロール時にミュートする。 FULL：シャトルモード時はミュートする。 SLOW：±0.2倍速以下でミュートする。
808	INTERNAL AUDIO SIGNAL GENERATOR	内蔵のオーディオテスト信号発生器の動作を選択する。 <input type="checkbox"/> OFF：動作させない。 1KHZ：全オーディオ出力チャンネルに1kHzで-20dB FSの正弦波を出力する。
831 ^{b)}	I.LINK AUDIO OUTPUT SELECT	<input type="radio"/> DV端子から出力されるオーディオチャンネルを選択する。 <input type="checkbox"/> CH1/2：CH-1/2に記録されているオーディオ信号(16bit/48K)を出力する。 CH3/4：CH-3/4に記録されているオーディオ信号(16bit/48K)を出力する。 CH1/2/3/4：CH-1/2/3/4に記録されているオーディオ信号(12bit/32K)を出力する。 CH5/6：CH-5/6に記録されているオーディオ信号(16bit/48K)を出力する(J-30/30SDI)。 CH7/8：CH-7/8に記録されているオーディオ信号(16bit/48K)を出力する(J-30/30SDI)。 CH5/6/7/8：CH-5/6/7/8に記録されているオーディオ信号(12bit/32K)を出力する(J-30/30SDI)。
901 ^{c)}	VIDEO OUTPUT DATA (J-10SDI/30SDIのみ)	SDI出力端子から出力される信号のビット長を設定する。 <input type="checkbox"/> 10bit：10bitのシステムと接続する場合 <input type="checkbox"/> 8bit：8bitのシステムと接続する場合
922	IMX NOISELESS PB SELECT (J-30/30SDIのみ)	MPEG IMXフォーマットのノイズレス再生時の出力画を選択する。 <input type="checkbox"/> FRAME：フレーム画を出力する。 FIELD1：フィールド1画を出力する。 FIELD2：フィールド2画を出力する。

- a) メニュー項目713および715～718では、アナログビデオ信号のビデオ調整のみ実行できます。デジタルビデオ信号(SDI出力/DV出力)の調整には対応していません。
- b) テープフォーマット上にないチャンネルを選択した場合、オーディオ信号はミュートされます。
- c) ビット長は相手側システムに合わせてください。

保守・点検

8-1 テープスラック時のカセットの取り出しかた

本機内部でテープスラックが発生した場合は、天板と底板を取り外して作業する必要があります。この作業は必ずサービストレーニングを受けた技術者が行ってください。

詳しくはメンテナンスマニュアルをご覧ください。

8-2 ヘッドクリーニング

ビデオヘッドやオーディオヘッドをクリーニングするときは、必ず専用のクリーニングカセットテープBCT-HD12CLをお使いください。使用方法を誤るとヘッドを傷めることがありますので、クリーニングカセットの取扱説明書をよくお読みになってから、お使いください。

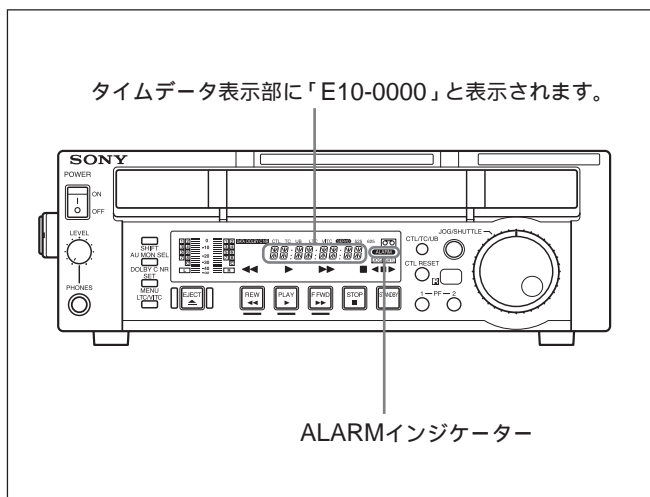
ヘッドをクリーニングするには
クリーニングカセットを挿入します。
ヘッドクリーニングが開始されます。
3秒間クリーニングが行われ、クリーニングカセットが自動的に排出されます。

8-3 結露

寒い場所から暖かい場所に本機を移動させたり、冬に暖房を入れた直後の部屋や温度の高い部屋に本機を置くと、VTR内部のヘッドドラムやテープガイドに水滴が生じることがあります。これを結露といいます。

結露の状態のときにテープを走行させると、水滴のついてい部分にテープが貼り付き、テープを傷めてしまう恐れがあります。これを防ぐために、本機は結露検出機構を備えています。

使用中に、本機のヘッドドラムに結露が生じて、本機の結露検出機構がこれを検出すると、ALARM インジケータが点滅し、タイムデータ表示部に「E10-0000」の表示が出ます。



この状態では、保護回路が働いて、ドラムとキャプスタンモーターが停止し、カセットが自動的に排出された後、ドラムが乾燥のために再び回転します。このときは、どの操作ボタンを押しても本機は動作しません。結露がなくなると、ALARM インジケータと「E10-0000」表示が消えます。

電源を入れた直後にALARMインジケータと

「E10-0000」表示が点灯したときは

電源を入れたまま、ALARMインジケータとエラー表示が消えるまでお待ちください。点灯している間はカセットを入れることはできません。

ALARM インジケータとエラー表示が消灯すれば、使用できます。

本機を寒いところから暖かいところへ急に移動させたときは本機内部の結露検出機構が働くまでに多少時間がかかりますので、すぐに電源を入れずに、10分間くらい放置してください。

8-4 エラーメッセージ

コード	メッセージ	内容
01	REEL TROUBLE	スレディング、またはアンスレディング時に、「テープたるみ」を検出
02	REEL TROUBLE	サーチ、早送り、または巻き戻し時に、「テープたるみ」または「テープ切れ」を検出
03	REEL TROUBLE	再生時に、「テープたるみ」、「テープ切れ」、あるいは「S側リール、またはT側リールのロック」を検出
04	REEL TROUBLE	早送り、または巻き戻し時に、テープ走行速度の異常を検出
05	REEL TROUBLE	カセット挿入時に、S側、またはT側リールの動作異常を検出
06	TAPE TENSION	再生時に、過大テンションを検出
07	CAPSTAN TROUBLE	キャプスタンモーターの動作異常を検出
08	DRUM TROUBLE	ドラムモーターの動作異常を検出
09	TH/UNTH MOTOR	スレディング、またはアンスレディング動作に異常を検出
0A	THREADING	スレッド時のテープトップ処理が終了しないことを検出
10	HUMID	結露を検出
11	TAPE T/E SENSOR	テープトップとテープエンドを同時に検出
12	TAPE TOP SENSOR	テープトップセンサの異常を検出
13	TAPE END SENSOR	テープエンドセンサの異常を検出
20	CASS COMP MOTOR	カセットコンパートメントのアップ、またはダウン動作に異常を検出
92	INTERNAL I/F ERROR	SYS CPUとその他のCPU/MPU間の通信異常を検出
96	SY NV-RAM ERROR	システムコントロール系のNV-RAMの動作異常を検出
97	SV NV-RAM ERROR	サーボ系のNV-RAMの動作異常を検出
98	RF NV-RAM ERROR	RF系のNV-RAMの動作異常を検出

8-5 デジタル時間計

デジタル時間計には9種類の表示モードがあり、それぞれのモードごとに、本機の動作の経過時間または回数を累積してタイムデータ表示部に表示します。この時間計を目安として、定期点検を行ってください。

デジタル時間計の表示モードについて

デジタル時間計には以下の9つの表示モードがあります。

H01: OPERATION(動作時間表示)モード

本機に電源が投入されている時間を累積して1時間単位で表示します。

H02: DRUM RUNNING(ヘッドドラム回転時間表示)モード

モード

スレディング完了状態でヘッドドラムが回転している時間を累積して1時間単位で表示します。

H03: TAPE RUNNING(テープ走行時間表示)モード

早送り、巻き戻し、再生、サーチの各モード時に、テープが走行している時間を累積して1時間単位で表示します。(ただし、静止画モードは除きます。)

H04: THREADING(スレディング回数表示)モード

スレディング/アンスレディングの回数を累積して回数で表示します。

H06: REEL SHIFT(リールシフト回数表示)モード

L/Sのリールシフトの回数を累積して、回数で表示します。

H12: DRUM RUNNING(ヘッドドラム回転時間表示)モード

(リセット可能)

H02モードと同様の機能です。リセットが可能です。回転ヘッドドラム交換後リセットすることにより、次回の定期交換時期の目安になります。

H13: TAPE RUNNING(テープ走行時間表示)モード(リセット可能)

H03モードと同様の機能です。リセットが可能です。固定ヘッドやピンチローラーなどの定期交換時期の目安になります。

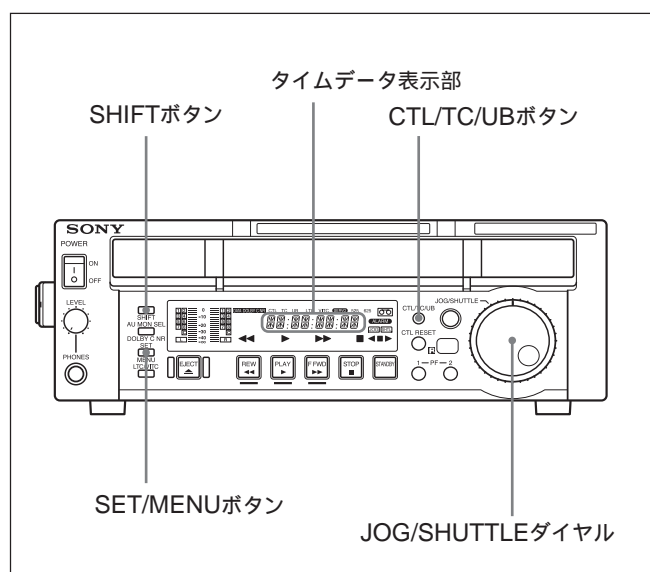
H14: THREADING(スレディング回数表示)モード(リセット可能)

H04モードと同様の機能です。リセットが可能です。スレディングモーターなどの交換時間の目安になります。

H16: REEL SHIFT(リールシフト回数表示)モード(リセット可能)

H06モードと同様の機能です。リセットが可能です。

デジタル時間計を表示させるには



デジタル時間計を表示させるには

SHIFTボタンを押したままSET/MENUボタンを押してから、JOG/SHUTTLEダイヤルを回してタイムデータ表示部に希望の項目を表示させます。

H01にジャンプするには

SHIFTボタンを押したままSET/MENUボタンを押してから、CTL/TC/UBボタンを押します。

押すたびに項目H01とB01が交互に表示されます。

デジタル時間計から抜けるには

SET/MENUボタンを押します。

付録

仕様

一般

電源電圧	AC 100V、50/60Hz
消費電力	55W
定格電流	0.55A
動作温度	5 ~ 40
保存温度	- 20 ~ + 60
湿度	25% ~ 80%
質量	J-10/10SDI : 8.1kg J-30/30SDI : 8.2kg
外形寸法	307 × 100 × 397mm(幅 / 高さ / 奥行き)

テープ走行系

テープスピード

デジタルベータカム(J-30/30SDI)	96.7mm/秒
MPEG IMX(J-30/30SDI)	NTSC : 64.5mm/秒 PAL : 53.8mm/秒
ベータカムSX	59.6mm/秒
アナログベータカム	NTSC : 118.6mm/秒 PAL : 101.5mm/秒

再生時間

デジタルベータカム(J-30/30SDI)	124分(BCT-D124L使用時)
MPEG IMX(J-30/30SDI)	NTSC : 184分(BCT-184MXL使用時) PAL : 220分(BCT-184MXL使用時)
ベータカムSX	194分(BCT-194SXLA使用時)
アナログベータカム	NTSC : 90分(BCT-90MLA使用時) PAL : 108分(BCT-90MLA使用時)

早送り・巻き戻し時間

約5分(BCT-194SXLA使用時)

サーチ速度

シャトルモード	ベータカム再生時 : 静止画 ~ ± 18倍速 (NTSC) / ± 20倍速(PAL) ベータカムSX再生時 : 静止画 ~ ± 35倍速 MPEG IMX再生時(J-30/30SDI) : 静止画 ~ ± 32倍速(NTSC) / ± 38倍速(PAL) デジタルベータカム再生時(J-30/ 30SDI) : 静止画 ~ ± 21倍速 ジョグモード 静止画 ~ ± 1倍速
---------	---

サーボロック時間(スタンバイ時からの立ち上がり)

1.5秒以下

ローディング・アンローディング時間

7秒以下

再生可能テープ **デジタルベータカムカセット(J-30/30SDI)**
 MPEG IMXカセット(J-30/30SDI)
 ベータカムSXカセット
 ベータカムSPカセット
 ベータカムカセット
 UVW用カセット

ベータカムSXフォーマット使用時(J-10/30)

Y : 0.5 ~ 4.5MHz + 0.5dB/ - 4.5dB

(NTSC)

Y : 0.5 ~ 5.5MHz + 0.5dB/ - 4.5dB

(PAL)

R - Y/B - Y : 0.5 ~ 2.0MHz + 0.5dB/
 - 4.5dB

S/N 56dB 以上

Kファクター(2T パルス)

1% 以下

デジタルビデオ系

デジタルビデオ信号形式

サンプリング周波数 Y : 13.5MHz

R - Y/B - Y : 6.75MHz

量子化特性 **デジタルベータカム(J-30/30SDI) : 10ビット/
 ト/ サンプル**

MPEG IMX(J-30/30SDI) : 8ビット/
 サンプル

ベータカムSX : 8ビット/ サンプル

コンプレッション **コエフィシエントレコーディングシステム/
 MPEG2 4 : 2 : 2 P@ML**

チャンネルコーディング

S-I-NRZI PR-IV

エラー訂正方式 **リードソロモンコード**

アナログコンポジット出力

周波数帯域幅 Y : 0.5 ~ 4.0MHz + 0.5dB/ - 3.0dB

(NTSC)

Y : 0.5 ~ 4.5MHz + 0.5dB/ - 3.0dB

(PAL)

S/N 53dB 以上

ディファレンシャルゲイン

2% 以下

ディファレンシャル位相

2 以下

Kファクター(2T パルス)

1% 以下

Y/C デイレイ 25ns 以下

アナログコンポーネント出力

周波数帯域幅

MPEG IMX/ **デジタルベータカムフォーマット使用時(J-30)**

Y : 0.5 ~ 5.75MHz + 0.5dB/ - 4.5dB

R - Y/B - Y : 0.5 ~ 2.0MHz + 0.5dB/
 - 4.5dB

デジタルオーディオ系

デジタルオーディオ信号形式

ベータカムSX、**デジタルベータカム(J-30/30SDI)**

CH-1 ~ CH-4

MPEG IMX(J-30/30SDI)

CH-1 ~ CH-8

サンプリング周波数 48kHz(映像同期)

量子化特性 16ビット/ サンプルまたは20ビット/ サンプル

ワウフラッター 測定限界以下

ヘッドルーム 20dB(または18dB、16dB 選択可能)

エンファシス T1 = 50 μ s、T2 = 15 μ s

アナログ出力

A/D、D/A量子化特性

16ビット/ サンプルまたは20ビット/ サンプル

周波数特性 20Hz ~ 20kHz + 1dB/ - 1.5dB(0dB、
 1kHz)

ダイナミックレンジ 85dB 以上(1kHz、エンファシスON)

ひずみ率 0.1% 以下(1kHz、エンファシスON、基準
 レベル(+ 4dBm))

クロストーク - 75dB 以下(1kHz、各チャンネル間)

J-10/30の入/出力端子

出力端子

COMPOSITE(SUPER)

BNC(1) ピンジャック(1) キャラクター
 スーパーインポーズあり

1.0Vp-p、75 Ω 、同期負

COMPONENT BNC(3) Y : 1.0 Vp-p、R - Y/B - Y :

0.7 Vp-p、75 Ω

S VIDEO	Mini DIN 4ピン(1) Y: 1.0 Vp-p、C: 0.286 Vp-p バースト 、75
iDV	IEEE1394(1) 6ピン
PHONES	JM-60 ステレオフォンジャック - ~ - 12dBu(8 負荷時) 不平衡
AUDIO MONITOR OUTPUT(L/R)	ピンジャック(2) 不平衡 XLR、3ピン、オス(2) + 4dBm(600 負荷時) ローインピーダンス 、 平衡
リモート端子	
RS232C	D-sub 9ピン、オス、ソニー9ピン リモートインターフェース
REMOTE IN(9P)	D-sub 9ピン、メス、ソニー9ピン リモートインターフェース
入力端子	
EXT SYNC	BNC(1) フレームロック

J-10SDI/30SDIの入/出力端子

出力端子	
COMPOSITE(SUPER)	BNC(1) ピンジャック(1) キャラクタースーパーインポーズあり 1.0Vp-p、75 同期負
SDI	BNC(1) SMPTE 259M、270 Mb/s、0.8 Vp-p、75
SDI(SUPER)	BNC(1) SMPTE 259M、270 Mb/s、0.8 Vp-p、75 、キャラクタースーパーインポーズあり
S VIDEO	Mini DIN 4ピン(1) Y: 1.0 Vp-p、C: 0.286 Vp-p バースト 、75
iDV	IEEE1394(1) 6ピン
TC OUTPUT	BNC(1) 1.0Vp-p、75
PHONES	JM-60 ステレオフォンジャック - ~ - 12dBu(8 負荷時) 不平衡
AUDIO MONITOR OUTPUT(L/R)	ピンジャック(2) 不平衡 XLR、3ピン、オス(2) + 4dBm(600 負荷時) ローインピーダンス 、 平衡

リモート端子	
RS232C	D-sub 9ピン、オス、ソニー9ピン リモートインターフェース
REMOTE IN(9P)	D-sub 9ピン、メス、ソニー9ピン リモートインターフェース
入力端子	
EXT SYNC	BNC(1) フレームロック

付属品

CD-ROM **オペレーションマニュアル(1)**
オペレーションマニュアル(1)
縦置き用スタンド(2)
リモートコマンダーRM-J1(リチウム電池CR2025含む)(1)

別売りアクセサリ

AC電源コードセットDK-2401(J)
9ピンリモートケーブルRCC-5G
i.LINKケーブルVMC-IL6635A(6P-6P、3.5m)
i.LINKケーブルVMC-IL4635A(6P-4P、3.5m)
クリーニングカセットテープBCT-HD12CL

本機は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

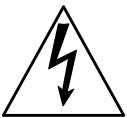
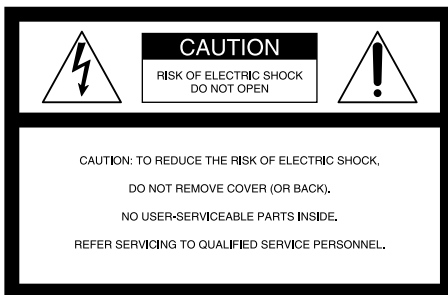
WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.




This symbol is intended to alert the user to the presence of uninsulated “dangerous voltage” within the product’s enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.



This symbol is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

Important Safety Instructions

- Read these instructions.
- Keep these instructions.
- Heed all warnings.
- Follow all instructions.
- Do not use this apparatus near water.
- Clean only with dry cloth.
- Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer’s instructions.
- Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.

- Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
- Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over. 
- Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.

If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.

DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT, three 16 or 18 AWG wires
Length	Minimum 1.5m
Rating	Minimum 10A, 125V

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both. To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

CAUTION

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced.
Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions.

CAUTION

The apparatus shall not be exposed to dripping or splashing and no objects filled with liquid, such as vases, shall be placed on the apparatus.

Do not install the appliance in a confined space, such as book case or built-in cabinet.

CAUTION

The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.

For the customers in the USA

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

The shielded interface cable recommended in this manual must be used with this equipment in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

For the customers in Europe

This product with the CE marking complies with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European standards:

- EN60065: Product Safety
- EN55103-1: Electromagnetic Interference (Emission)
- EN55103-2: Electromagnetic Susceptibility (Immunity)

This product is intended for use in the following Electromagnetic Environment(s):

E1 (residential), E2 (commercial and light industrial), E3 (urban outdoors) and E4 (controlled EMC environment, ex. TV studio).

AVERTISSEMENT

Afin d'éviter tout risque d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT

CET APPAREIL DOIT ETRE MIS A LA TERRE.

AVERTISSEMENT:

1. Utiliser le cordon d'alimentation approuvé (conducteur à trois noyaux)/connecteur pour appareils approuvé / fiche avec contacts de mise à la terre approuvée, qui est conforme aux règles de sécurité de chaque pays, si applicable.
2. Utiliser un cordon d'alimentation (conducteur à trois noyaux)/connecteur pour appareils/fiche avec contacts de mise à la terre conforme aux valeurs nominales correctes (tension, ampérage).

Pour toute question concernant l'emploi du cordon d'alimentation/connecteur pour appareils/fiche ci-dessus, consulter un agent de service compétent.

ATTENTION

Il y a un risque d'explosion si la pile est mal insérée. Remplacer la pile uniquement par une pile de même type ou de type équivalent recommandé par le fabricant. Jeter les piles usées conformément aux instructions du fabricant.

ATTENTION

Eviter d'exposer l'appareil à un égouttement ou à des éclaboussures et ne placer aucun objet rempli de liquide, comme un vase, sur l'appareil.

Ne pas installer l'appareil dans un endroit confiné, par exemple une bibliothèque ou un placard encastré.

ATTENTION

Cet appareil n'est pas déconnecté de la source d'alimentation secteur tant qu'il est raccordé à la prise murale, même si l'appareil lui-même a été mis hors tension.

Pour les clients européens

Ce produit portant la marque CE est conforme à la fois à la Directive sur la compatibilité électromagnétique (EMC) (89/336/CEE) et à la Directive sur les basses tensions (73/23/CEE) émises par la Commission de la Communauté européenne.

La conformité à ces directives implique la conformité aux normes européennes suivantes:

- EN60065: Sécurité des produits
- EN55103-1: Interférences électromagnétiques (émission)
- EN55103-2: Sensibilité électromagnétique (immunité)

Ce produit est prévu pour être utilisé dans les environnements électromagnétiques suivants:

E1 (résidentiel), E2 (commercial et industrie légère), E3 (urbain extérieur) et E4 (environnement EMC contrôlé ex. studio de télévision).

WARNING

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlages zu vermeiden, darf das Gerät weder Regen noch Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur einem Fachmann.

WARNING

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

WARNING:

1. Es ist ein (dreiadriges) Netzkabel/Netzstecker mit Erdungskontakt zu verwenden, der den Sicherheitsbestimmungen vor Ort entspricht.
2. Es ist ein (dreiadriges) Netzkabel/Netzstecker mit ausreichenden Anschlußwerten (Spannung/Strom) zu verwenden.

Bei Fragen zum Gebrauch des obigen Netzkabels/Netzsteckers wenden Sie sich bitte an den technischen Kundendienst.

VORSICHT

Es besteht Explosionsgefahr, wenn die Batterie inkorrekt eingelegt wird.

Es darf nur eine identische oder eine vom Hersteller empfohlene Batterie des gleichen Typs eingesetzt werden. Entladene Batterien sind nach den Anweisungen des Herstellers zu entsorgen.

ACHTUNG

Das Gerät ist nicht tropf- und spritzwassersicher, daher dürfen keine mit Flüssigkeiten gefüllten Gegenstände, z. B. Vasen, darauf abgestellt werden.

Das Gerät nicht an Orten aufstellen, z. B. in Bücherregalen oder Einbauschränken, wo keine ausreichende Belüftung gewährleistet ist.

ACHTUNG

Solange das Netzkabel an eine Netzsteckdose angeschlossen ist, bleibt das Gerät auch im ausgeschalteten Zustand mit dem Stromnetz verbunden.

Für Kunden in Europa

Dieses Produkt besitzt die CE-Kennzeichnung und erfüllt die EMV-Direktive (89/336/EMG) der EG-Kommission als auch die Direktive Niederspannung (73/23/EMG).

Angewandte Normen:

- EN60065: Produktsicherheit
- EN55103-1: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störaussendung)
- EN55103-2: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störfestigkeit)

für die folgenden elektromagnetischen Umgebungen:

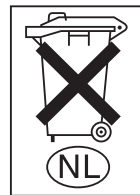
E1 (Wohnbereich), E2 (kommerzieller und in beschränktem Maße industrieller Bereich), E3 (Stadtgebiet im Freien) und E4 (kontrollierter EMV-Bereich, z.B. Fernsehstudio).

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen.

Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Voor de klanten in Nederland



Gooi de batterij niet weg, maar lever hem in als KCA

Table of Contents

Chapter 1 Overview	1-1 Before Using 1-1 (GB) 1-2 Features 1-2 (GB) 1-3 Sample System Configuration 1-4 (GB) 1-4 Using the CD-ROM Manual 1-6 (GB) 1-4-1 CD-ROM System Requirements 1-6 (GB) 1-4-2 Preparations 1-6 (GB) 1-4-3 Reading the CD-ROM Manual 1-6 (GB)
Chapter 2 Location and Function of Parts	2-1 Control Panel 2-1 (GB) 2-1-1 Display Section 2-2 (GB) 2-1-2 Search Control Section 2-6 (GB) 2-1-3 Tape Transport Control Section 2-7 (GB) 2-2 Connector Panel 2-8 (GB) 2-2-1 Connector Panel of the J-10/30 2-8 (GB) 2-2-2 Connector Panel of the J-10SDI/30SDI 2-10 (GB)
Chapter 3 Preparations	3-1 Installation 3-1 (GB) 3-2 Cassettes 3-2 (GB)
Chapter 4 Playback	4-1 Playback Procedures 4-1 (GB) 4-1-1 Normal Playback 4-1 (GB) 4-1-2 Playback in Jog Mode 4-2 (GB) 4-1-3 Playback in Shuttle Mode 4-2 (GB) 4-1-4 Noiseless Playback Function and Frame Step Playback Function 4-3 (GB) 4-1-5 Repeat Playback Function 4-4 (GB) 4-2 Superimposed Character Information 4-6 (GB) 4-3 Using the Remote Commander 4-7 (GB) 4-3-1 How to Change the Lithium Battery 4-7 (GB) 4-3-2 Setting Menu 4-7 (GB) 4-3-3 Operating the Remote Commander 4-8 (GB)
Chapter 5 UMID Functions	5-1 Overview of UMID Functions 5-1 (GB) 5-2 UMID Output and Display 5-2 (GB) 5-2-1 UMID Output Settings 5-2 (GB) 5-2-2 UMID Display 5-2 (GB)
Chapter 6 Essence Marks	6-1 Overview of Essence Mark Functions 6-1 (GB) 6-2 Essence Mark Output 6-2 (GB)
Chapter 7 Setup Menu	7-1 Menu System Configuration 7-1 (GB) 7-2 Menu Operations 7-2 (GB) 7-3 Basic Menu 7-7 (GB) 7-4 Extended Menu 7-10 (GB)

Table of Contents

Chapter 8 Maintenance and Inspection

- 8-1 Removing a Cassette When Tape Slack Occurs 8-1 (GB)
- 8-2 Head Cleaning 8-1 (GB)
- 8-3 Moisture Condensation 8-2 (GB)
- 8-4 Error Messages 8-3 (GB)
- 8-5 Digital Hours Meter 8-4 (GB)

Appendix

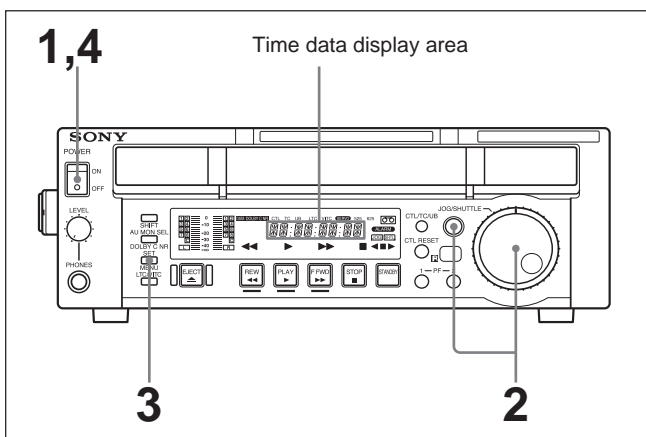
- Specifications A-1 (GB)

Overview

1-1 Before Using

When using this unit for the first time, set the number of scan lines to the NTSC (525 scan lines, field frequency 60 Hz) system setting or to the PAL (625 scan lines, field frequency 50 Hz) system setting according to the operating environment in which the unit will be used. Otherwise, it will be impossible to use this unit.

To set this unit for the NTSC (525/60) or PAL (625/50) system

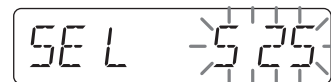


- 1 Turn the POWER switch on.

When you turn on this unit for the first time, indication, “SEL -----” appears in the time data display area.



- 2 Holding down the JOG/SHUTTLE button, turn the JOG/SHUTTLE dial to display “525” or “625” next to “SEL”.



- 3 Press the SET/MENU button.

Indication “PUSH SET” appears in the time data display area.



- 4 Turn the POWER switch off, and then on again.

The indication in the time data display area changes as shown in the figure below.



You can see “POWER OFF/ON” by scrolling the indication.

This unit is set for the 525/60 or 625/50 system and indicator 525 or 625 lights above the time data display area to show the selected system.

1-2 Features

The J-10/10SDI/30/30SDI (also referred to simply as the unit(s) in this manual) are compact players based on the 1/2-inch tape format.

They play tapes recorded in conventional Betacam/Betacam SP format.

Notes

- Since the unit does not have a dynamic tracking function, the tape may not replay correctly if the recording pattern on the tape are disturbed.
- If you use a mobile radio machine with 5 W or larger output within 50 cm (19 3/4 inches) of this unit, the playback image may be disturbed.

The following are some of the features of these units.

Compatible format for playback

The unit can play tapes in the following formats:

- Digital Betacam format (J-30/30SDI only)
- MPEG IMX format (J-30/30SDI only)
- Betacam SX format
- Betacam/Betacam SP format

Head configuration

In addition to digital playback heads for the Digital Betacam (J-30/30SDI only), MPEG IMX (J-30/30SDI only) and Betacam SX, the unit also has analog playback heads for the analog Betacam SP.

Digital signal processing

This unit processes digital signals conforming to the 4:2:2 component digital D-1 format.

The unit is compatible with the Digital Betacam (J-30/30SDI only), the Betacam SX for the MPEG2 4:2:2 P@ML interframe format, and the MPEG IMX (J-30/30SDI only) for the MPEG2 4:2:2 P@ML intraframe format.

High image quality, high audio quality, high reliability

Complying with the data rates for the Digital Betacam (J-30/30SDI only), MPEG IMX (J-30/30SDI only) and Betacam SX, this unit achieves playback with both high image and high audio quality.

Playback compatibility with Betacam/Betacam SP

The unit plays tapes recorded in the Betacam/Betacam SP format. This makes for efficient use of existing material in the Betacam/Betacam SP format.

Feeder function

This unit can be used not only as a Player but also as a Feeder. Connected to a PC, the unit controls images and feeds images to the PC via a remote connector (RS-422A) on the control panel.

Compact design

Since the unit is as compact as a standard desktop personal computer in size, it is ideal for personal use on your desktop. In addition, front loading of both S and L cassettes is standard.

Menu-based setup

Initial settings for the unit's operation, interfaces with connected equipment, and so on, can be made by means of menu operations on the front panel of the unit.

A wide range of status indicators

A large-sized fluorescent display is provided to show numerical values including audio level, time code, user bits, error messages, and setup menu information in addition to the current settings and operating status of this unit.

Minimal maintenance

The unit is designed to need minimal maintenance, and requires no daily maintenance or checks. A drum and other components have reduced maintenance costs.

Vertical installation

This unit can be installed vertically using the supplied vertical installation stands. The unit can be installed either vertically or horizontally, saving space on your desktop.

Various output signals

The following interfaces installed on standard allow connection to various external devices.

- Analog composite video output
- Analog component video output (J-10/30 only)
- S-video output
- **i**¹⁾ (DV) output
- SDI SMPTE 259M (Component digital video/audio 8 channels) output (J-10SDI/30SDI only)
- Analog audio output
- Time code output (J-10SDI/30SDI only)

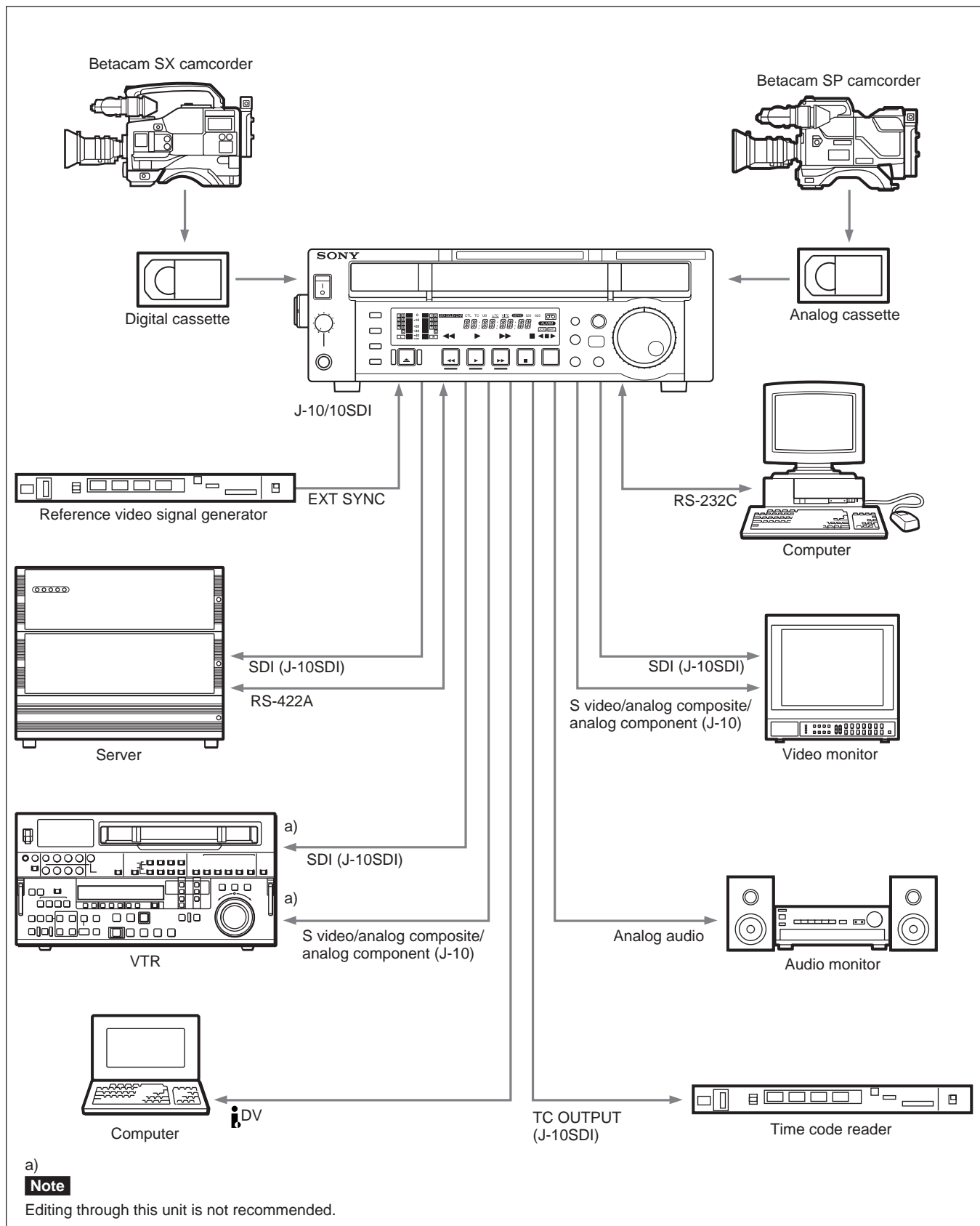
i (DV) output

This unit can output digital video/audio signals in DV format compatible with i.LINK¹⁾ from the DV output connector.

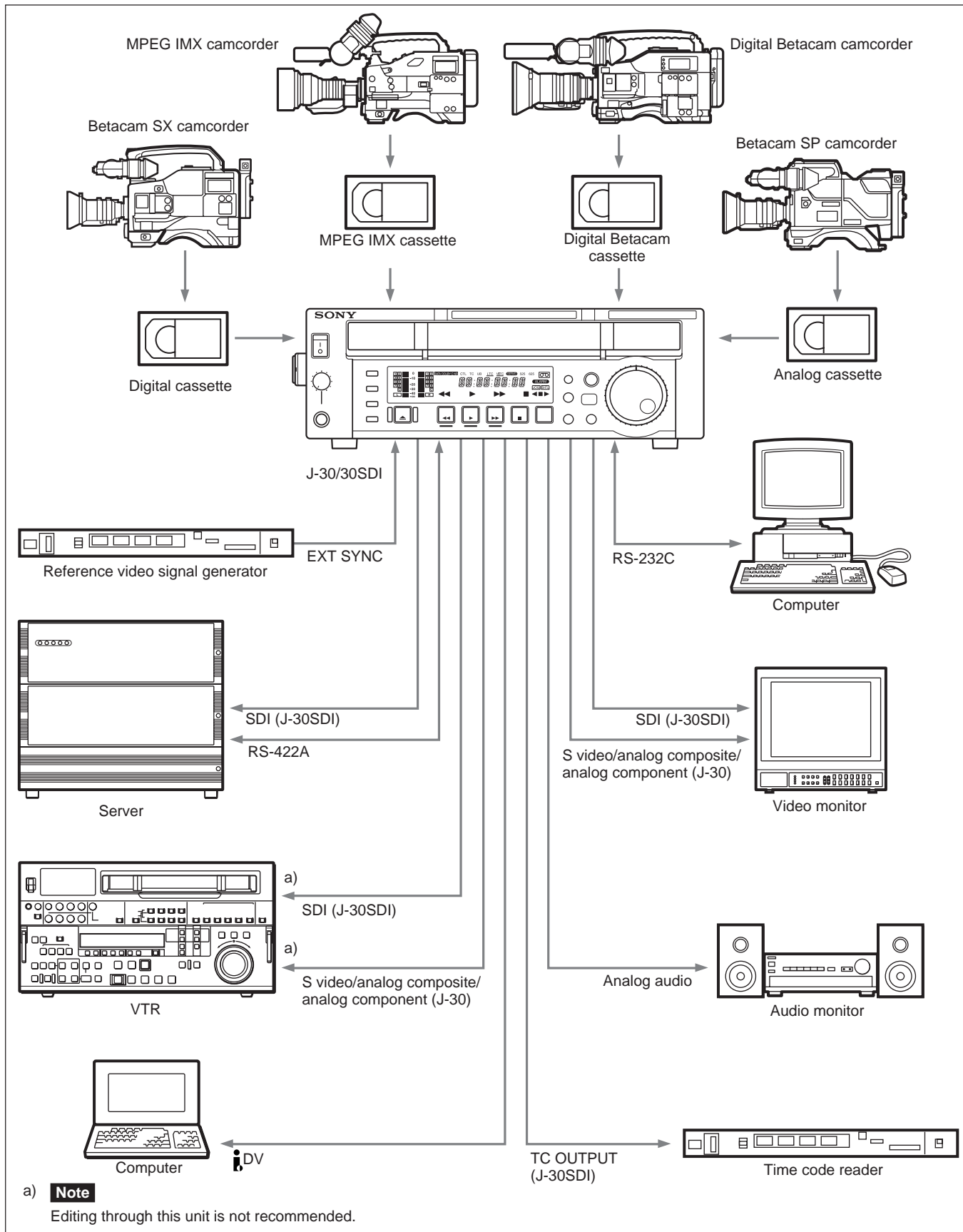
1) **i** is a trademark of Sony Corporation and indicates that this product is in agreement with IEEE 1394-1995 specifications and their revisions.

1-3 Sample System Configuration

Example for the J-10/10SDI



Example for the J-30/30SDI



1-4 Using the CD-ROM Manual

The supplied CD-ROM includes operation manuals for the J series of compact players (English, Japanese, French, and German versions).

1-4-1 CD-ROM System Requirements

The following are required to access the supplied CD-ROM disc.

- Computer: PC with Intel Pentium CPU
 - Installed memory: 64 MB or more
 - CD-ROM drive: × 8 or faster
- Monitor: Monitor supporting resolution of 800 × 600 or higher
- Operating system: Microsoft Windows Millennium Edition, Windows 2000 Service Pack 2, Windows XP Professional or Windows XP Home Edition

When these requirements are not met, access to the CD-ROM disc may be slow, or not possible at all.

1-4-2 Preparations

One of the following programs must be installed on your computer in order to use the operation manuals contained on the CD-ROM disc.

- Adobe Acrobat Reader Version 4.0 or higher
- Adobe Reader Version 6.0 or higher

Note

If Adobe Reader is not installed, you can download it from the following URL:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

1-4-3 Reading the CD-ROM Manual

To read the operation manual contained on the CD-ROM disc, do the following.

- 1 Insert the CD-ROM disc in your CD-ROM drive.

A cover page appears automatically in your browser. If it does not appear automatically in the browser, double-click the index.htm file on the CD-ROM disc.

- 2 Select and click the operation manual that you want to read.

This opens the PDF file of the operation manual.

Note

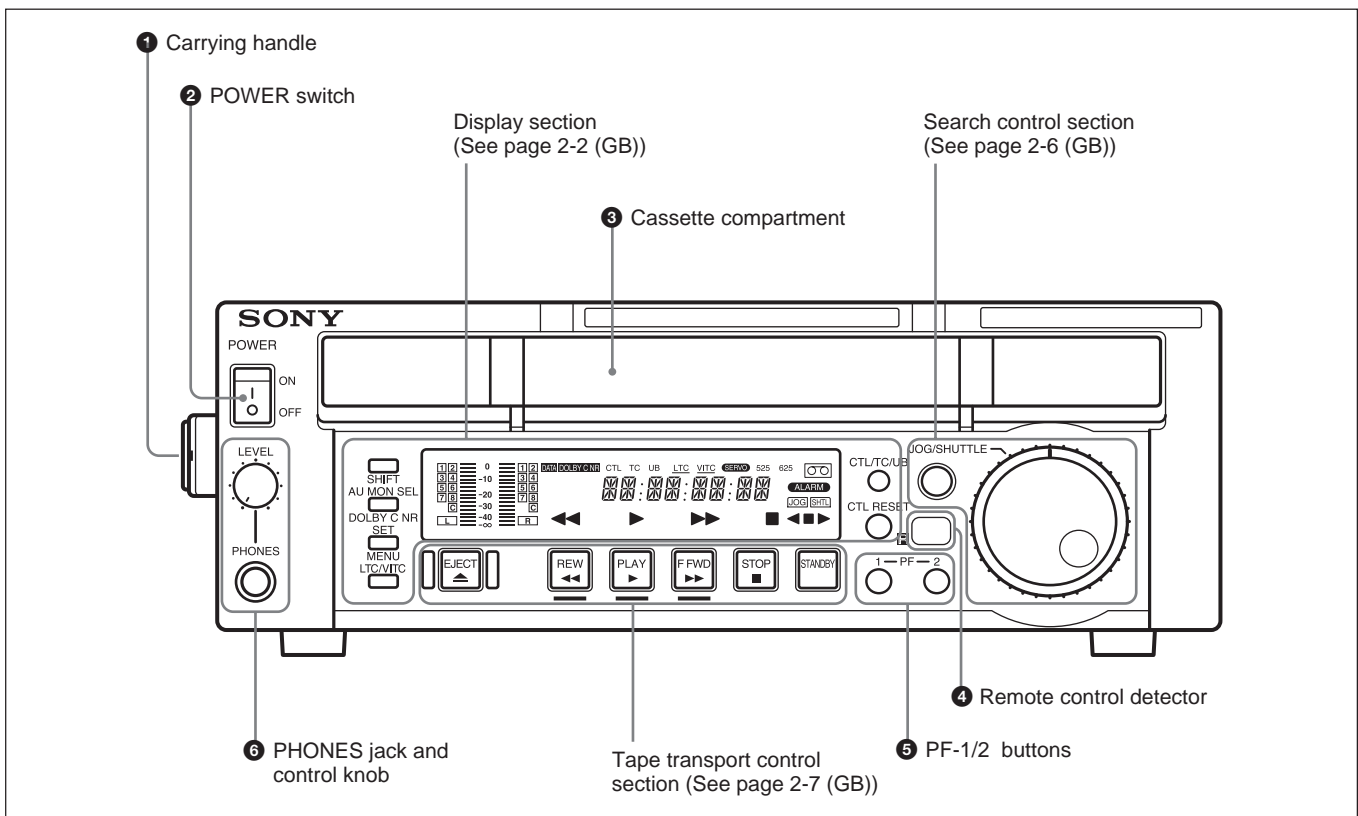
If you lose the CD-ROM disc or become unable to read its content, for example because of a hardware failure, you can do one of the following.

You can purchase a new CD-ROM disc to replace one that has been lost or damaged. Contact your Sony service representative.

-
- Intel and Pentium are registered trademarks of Intel Corporation or its subsidiaries in the United States and other countries.
 - Microsoft and Windows are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
 - Adobe, Acrobat, and Adobe Reader are trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

Location and Function of Parts

2-1 Control Panel



1 Carrying handle

Use this handle to carry the unit or to stand the unit vertically.

2 POWER switch

Press the side of the POWER switch marked "ON" to turn the unit on. The fluorescent display and indicators in the display section light.

Press the side of the POWER switch marked "OFF" to turn the unit off.

2-1 Control Panel

3 Cassette compartment

Insert an S or L cassette.

4 Remote control detector

Receives the infrared signal from the supplied Remote Commander.

For details on the Remote Commander, see section 4-3 “Using the Remote Commander” on page 4-7 (GB).

5 PF (programmable function)-1/2 buttons

When using the Betacam SX or MPEG IMX format and setting this unit into noiseless mode, use these buttons to perform frame step playback (see page 4-4 (GB)).

To the PF-2 button, you can assign functions that are set in basic menu item 022, PF2 KEYSELECT.

Function “tape remain time” is assigned to the PF-2 button as the factory default settings. While you are pressing the button, the remaining tape time are displayed in the display section.

For details on function assignment, see the section “Menu bank operations (basic menu items B01 to B12)” on page 7-5 (GB).

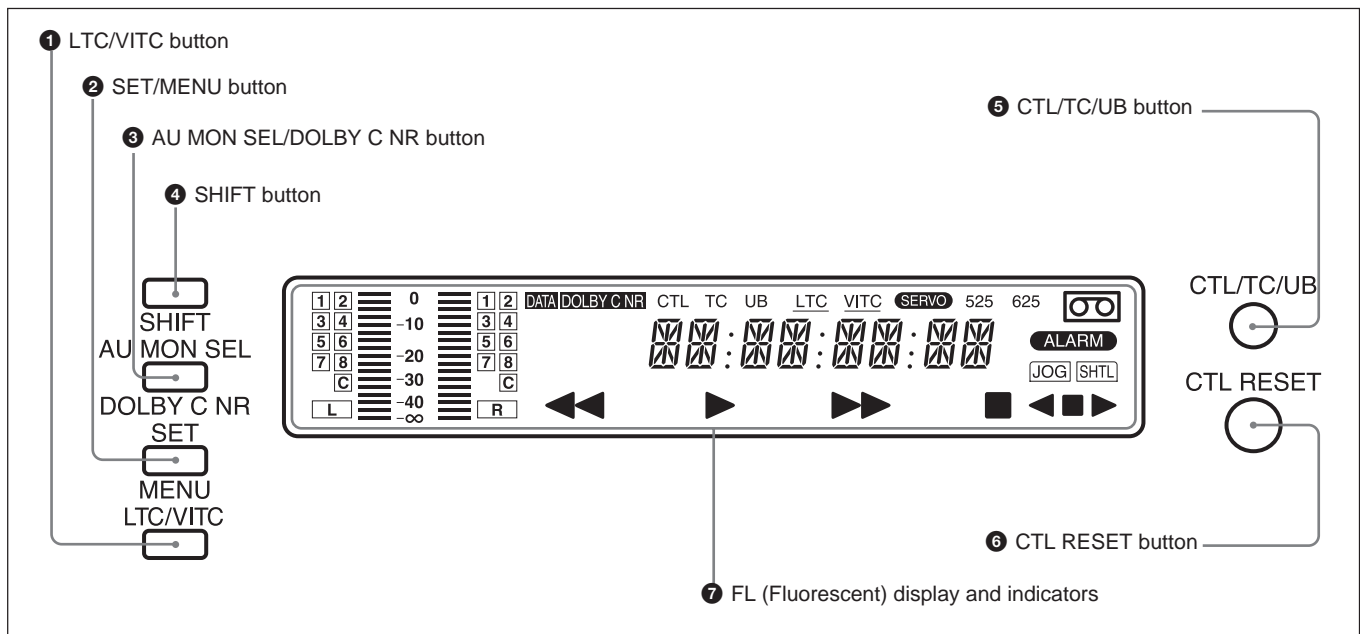
6 PHONES (headphones) jack and control knob

Connect stereo headphones with an impedance of 8 ohms to monitor the sound during playback. The control knob adjusts the volume.

It is possible to make a setting so that the output volume from the AUDIO MONITOR connectors is controlled simultaneously.

Set AUDIO MONITOR OUTPUT LEVEL, extended menu item 114, to VAR to enable the above feature.

2-1-1 Display Section



1 LTC/VITC button

This selects the time code displayed in the FL display in the following sequence: LTC¹⁾, VITC²⁾. The underline for the LTC or VITC time code setting indicators lights corresponding to the selection.

Note

In this unit, VITC may not be displayed correctly except during normal playback.

1) LTC: abbreviation of Longitudinal Time code. This time code is recorded on a longitudinal track on the tape. Reading is unreliable at low speeds, and not possible at all during still playback.

2) VITC: abbreviation of Vertical Interval Time code. This time code is inserted in the vertical blanking interval and recorded on the video tracks.

② SET/MENU button

Use this button for setup menu operations and settings. Press the SET/MENU button while holding down the SHIFT button to display the contents of the setup menu items on the FL display. When the setting is finished, press only the SET/MENU button to fix the settings and return to the normal display.

For details of setup menu settings and operations, see Chapter 7.

③ AU MON SEL (audio monitor output select)/ DOLBY C NR¹⁾ (noise reduction) button

Press this button to function the AU MON SEL button. Each press of this button switches the audio channel as listed below. The selected channels are displayed in the display section.

For the Betacam/Betacam SP format

Output mode ^{a)}	STEREO		MONO	
	L	R	L	R
Press once	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
Press twice	CH-1,2	CH-1,2	CH-2	CH-2
Press 3 times	Each press of this button switches the mode as in the above sequence.		CH-1,2	CH-1,2
Press 4 times			Each press of this button switches the mode as in the above sequence.	

a) Set in basic menu item 026 of the setup menu

For the Betacam SX format

Output mode ^{a)}	STEREO		MONO	
	L	R	L	R
Press once	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
Press twice	CH-3	CH-4	CH-2	CH-2
Press 3 times	CH-1,2	CH-1,2	CH-3	CH-3
Press 4 times	CH-3,4	CH-3,4	CH-4	CH-4
Press 5 times	Each press of this button switches the mode as in the above sequence.		CH-1,2	CH-1,2
Press 6 times			CH-3,4	CH-3,4
Press 7 times			Each press of this button switches the mode as in the above sequence.	

a) Set in basic menu item 026 of the setup menu

For the MPEG IMX format (J-30/30SDI)

Output mode ^{a)}	STEREO		MONO	
	L	R	L	R
Press once	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
Press twice	CH-3	CH-4	CH-2	CH-2
Press 3 times	CH-5	CH-6	CH-3	CH-3
Press 4 times	CH-7	CH-8	CH-4	CH-4
Press 5 times	CH-1,2	CH-1,2	CH-5	CH-5
Press 6 times	CH-3,4	CH-3,4	CH-6	CH-6
Press 7 times	CH-5,6	CH-5,6	CH-7	CH-7
Press 8 times	CH-7,8	CH-7,8	CH-8	CH-8
Press 9 times	Each press of this button switches the mode as in the above sequence.		CH-1,2	CH-1,2
Press 10 times			CH-3,4	CH-3,4
Press 11 times			CH-5,6	CH-5,6
Press 12 times			CH-7,8	CH-7,8
Press 13 times			Each press of this button switches the mode as in the above sequence.	


a) Set in basic menu item 026 of the setup menu

For the Digital Betacam format (J-30/30SDI)

Output mode ^{a)}	STEREO		MONO	
	L	R	L	R
Press once	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
Press twice	CH-3	CH-4	CH-2	CH-2
Press 3 times	CH-1,2	CH-1,2	CH-3	CH-3
Press 4 times	CH-3,4	CH-3,4	CH-4	CH-4
Press 5 times	CUE	CUE	CUE	CUE
Press 6 times	Each press of this button switches the mode as in the above sequence.		CH-1,2	CH-1,2
Press 7 times			CH-3,4	CH-3,4
Press 8 times			Each press of this button switches the mode as in the above sequence.	

a) Set in basic menu item 026 of the setup menu

The latest setting for each format is saved in the memory regardless of whether the power has been turned on/off. Therefore, when you play any cassette next time, it will be played back in the format last saved. If there is no cassette in the unit, you can change the audio channel in the format used the last time you ejected the cassette.

1) DOLBY C NR: Dolby C noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation. "DOLBY" and the double-D symbol  are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

2-1 Control Panel

Press this button while holding down the SHIFT button to function the DOLBY C NR button. The DOLBY C NR indicator lights in the display section. When you are using an oxide tape, it switches the Dolby NR C-type system for analog audio on or off. When you are using a metal tape, the Dolby C NR system is automatically switched on, regardless of the setting of this switch.

ON: Enables the Dolby C NR system for playback of an analog Betacam oxide tape.

OFF: Disables the Dolby C NR system for playback of an analog Betacam oxide tape.

The factory default setting is OFF.

4 SHIFT button

Hold down this button and press the AU MON SEL/DOLBY C NR button to enable the DOLBY C NR function. To enable the menu function, press the SET/MENU button while holding down the SHIFT button. Press the F FWD or REW button while holding down the SHIFT button to do the forward or reverse cue-up of the shot marks¹⁾. These marks are located before and after of the current tape position. In addition, press the PLAY button while holding down the SHIFT button to superimpose the shot data²⁾ (when using the Betacam/Betacam SP/Betacam SX format) or UMID (when using the Digital Betacam/ MPEG IMX format) over the playback image. To clear the shot data or UMID, again press the PLAY button while holding down the SHIFT button.

For details on UMID, see Chapter 5.

5 CTL/TC/UB (display switching) button

This selects the time data displayed in the fluorescent display in the following sequence: CTL, TC, UB. As the display changes, the corresponding indicators over the fluorescent display also light/go off.

Time data display selection and display contents

Display selection	Value displayed	Indicator status
CTL	Tape running time (hours, minutes, seconds, frames) computed from the CTL (control) signal recorded on the tape during playback.	CTL indicator lights.
TC	Playback time code read by the internal time code reader. ^{a)}	The TC indicator lights.
UB	User bit value inserted in the playback time code. ^{a)}	The UB indicator lights.

a) The LTC/VITC button switches between LTC and VITC.

6 CTL RESET button

Press this button to reset a CTL value displayed in the FL display area.

7 FL (Fluorescent) display and indicators

These comprise a time data display, an audio monitor display and of indicators. (See the figure on next page.)

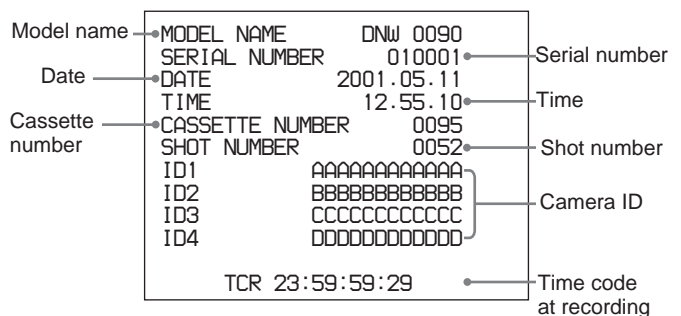
1) Shot marks

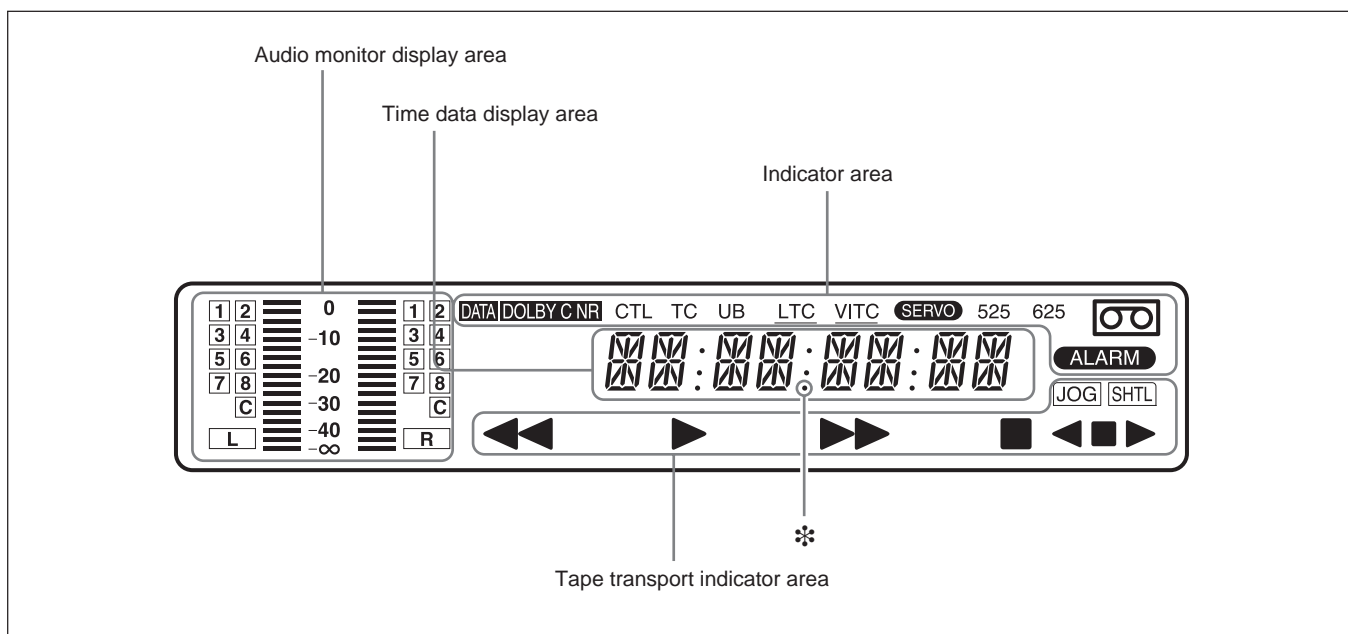
If you use a camcorder which allows you to use shot marks, you can insert REC START marks or shot marks in the user bits area in advance for easy editing. This is called inserting shot marks.

2) Shot data

The information recorded continuously during the process of shooting is called shot data.

The contents of the display vary corresponding to the change of shooting conditions (e.g. changing camcorders, shooting on different dates, etc.). If there are any parts that contain no shot data by changing a shooting camcorder, the unit displays blank data.





Audio monitor display area

- **L/R audio level meter**
Indicates the audio levels of the 2 optionally selected channels making up L/R (Left/Right).
- **L/R audio channel display**
Indicates the optionally selected channel numbers.


Time data display area

Normally this displays a CTL count, time code value, or user bit value according to the selection of the CTL/TC/UB button or LTC/VITC button. When a cassette recorded in the DF mode is played back, the dot by the * mark in the illustration above lights. At this time, the two dots (:) located above the dot disappear. It is also used to display error messages and the setup menus.

For details of the display of the CTL count, time code value, or user bit value, see the explanation given in “5 CTL/TC/UB button” on page 2-4 (GB).

Indicator area

This includes the following indicators.

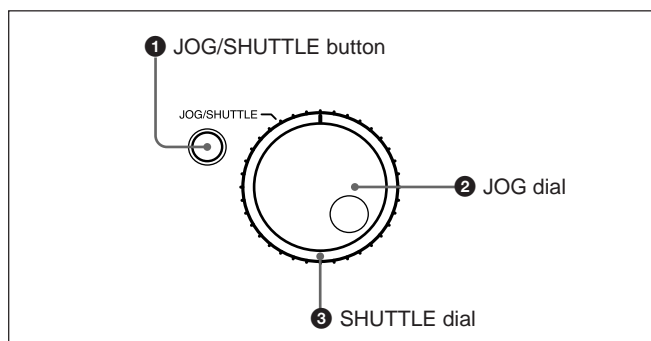
- **DOLBY C NR (Dolby C noise reduction) indicator:** This lights when the Dolby noise reduction circuit is functioning.
- **CTL (control) indicator:** This lights when a tape running time (hours, minutes, seconds, frames) computed from the CTL signal is displayed in the time data display area.
- **TC (time code) indicator:** This lights when a time code is displayed in the time data display area.
- **UB (user bits) indicator:** This lights when a user bit value is displayed in the time data display area.
- **LTC, VITC indicators:** Regardless of the display in the time data display area, these indicators light when the corresponding time code values are being read. When LTC has been selected using the LTC/VITC button, the LTC indicator is displayed and underlined. On the other hand, when VITC is selected, the VITC indicator is displayed and underlined.
- **SERVO indicator:** This lights when the servo lock is functioning.
- **ALARM indicator:** This lights when a hardware error is detected on the unit, and goes off when the error is resolved. When this indicator is lit, an error message appears in the time data display area.
- **Cassette-in indicator** : This lights when a cassette is loaded in the unit.
- **DATA indicator:** This lights when a tape, containing audio data such as Dolby-E and AC-3 on its DIGITAL AUDIO track, is played back.
- **525, 625 (scan lines for the television standard) indicators:** Either of these indicators lights to show the system for which this unit is set in basic menu item 013 (NTSC: 525 scan lines, field frequency 60 Hz; PAL: 625 scan lines, field frequency 50 Hz).

2-1 Control Panel

Tape transport indicator area

- Tape transport indicator
When you press each button in the tape transport control section, the corresponding indicators light.
 - ◀◀: REW (rewind) indicator
 - ▶: PLAY indicator
When AUTO TRACKING (the automatic tape loading function) is in operation, this indicator flashes.
 - ▶▶: F FWD (fast forward) indicator
 - : STOP indicator
- JOG/SHTL (jog/shuttle) indicator
The “JOG” indicator lights when playback is carried out in jog mode, and the “SHTL” indicator lights when playback is carried out in shuttle mode.
- JOG/SHTL (jog/shuttle) transport indicator
 - ◀: Jog/shuttle reverse indicator (green)
 - ▶: Jog/shuttle forward indicator (green)
 - : Jog/shuttle still indicator (red)

2-1-2 Search Control Section



1 JOG/SHUTTLE button

Use this button to toggle between jog mode and shuttle mode when using the JOG dial or SHUTTLE dial. Press this button once for playback in jog mode, or press this button twice for playback in shuttle mode during playback or F FWD/REW. The corresponding “JOG” indicator or “SHTL” indicator lights in the display section.

2 JOG dial

Turn this to carry out playback in the modes shown in the table in the right column. Turn the dial clockwise for forward playback and counterclockwise for reverse playback.

3 SHUTTLE dial

Turn this to carry out playback in the modes shown in the following table. Turn the dial clockwise for forward playback and counterclockwise for reverse playback.

After pressing the JOG/SHUTTLE button, turn the JOG dial for playback in jog mode and the SHUTTLE dial for playback in shuttle mode.

Playback modes using the JOG/SHUTTLE dial

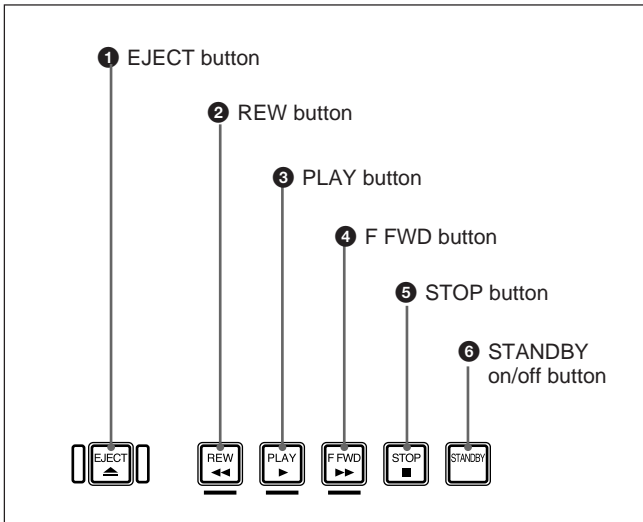
Playback mode	Operations and functions
Jog	Press the JOG/SHUTTLE button once to light “JOG,” then turn the JOG dial, or simply turn the JOG dial without lighting “JOG.” Playback is carried out at a speed corresponding to the rotating speed of the JOG dial. The playback speed range is from -1 to $+1$ times normal speed. The JOG dial has no detents.
Shuttle	Press the JOG/SHUTTLE button twice to light “SHTL,” then turn the SHUTTLE dial, or simply turn the SHUTTLE dial without lighting “SHTL.” Playback is carried out at a speed corresponding to the angular position of the SHUTTLE dial. The playback speed range is as follows. <ul style="list-style-type: none"> When using a Digital Betacam tape (J-30/30SDI): -21 to $+21$ times normal speed When using an MPEG IMX tape (J-30/30SDI): $-32/-38$ to $+32/+38$ times normal speed (NTSC/PAL) When using a Betacam SX tape: -35 to $+35$ times normal speed When using an analog Betacam tape: $-18/-20$ to $+18/+20$ times normal speed (NTSC/PAL) The SHUTTLE dial has detents at the center position, and at that point a still picture is displayed.

Notes

- Normally, you turn the SHUTTLE dial after setting the jog/shuttle mode by pressing the JOG/SHUTTLE button. However, you can also set the jog/shuttle mode simply by turning the dial. (This feature is available when SELECTION FOR JOG/SHUTTLE DIAL ENABLE, extended menu item 101 of the setup menu, is set to DIAL.) In this case, you must reset the SHUTTLE dial to the center position after turning it, otherwise the dial may be moved by vibration and the tape may start running in the shuttle mode during playback.

- If the unit carries out reverse playback in the shuttle mode at -0.5 times or less normal speed for 20 consecutive minutes, the reel motor heat protection circuit automatically functions and the unit enters still mode.

2-1-3 Tape Transport Control Section



1 EJECT button

Press this button to eject the cassette.

2 REW (rewind) button

To rewind the tape, press this button. The REW indicator in the display section lights. When you are using a tape containing shot marks, press this button while holding down the SHIFT button to cue-up a shot mark position in the reverse direction.

3 PLAY button

To start playback, press this button. The PLAY indicator in the display section lights.

When you are using a Betacam/Betacam SP/Betacam SX tape containing shot data, press this button while holding the SHIFT button to display shot data (*see page 2-4 (GB)*).

When you are using a Digital Betacam/MPEG IMX tape containing UMID, press this button while holding the SHIFT button to display UMID (*see page 5-2 (GB)*).

To clear the shot data or UMID, again press this button while holding down the SHIFT button.

4 F FWD (fast forward) button

To start fast forwarding the tape, press this button. The F FWD indicator in the display section lights. When you are using a tape containing shot marks, press this button while holding down the SHIFT button to cue-up a shot mark position in the forward direction.

5 STOP button

To stop playback, press this button. The STOP indicator in the display section lights.

If REFERENCE SYSTEM ALARM, extended menu item 105 of the setup menu, has been set to ON, this button flashes when the external reference video signal is not supplied.

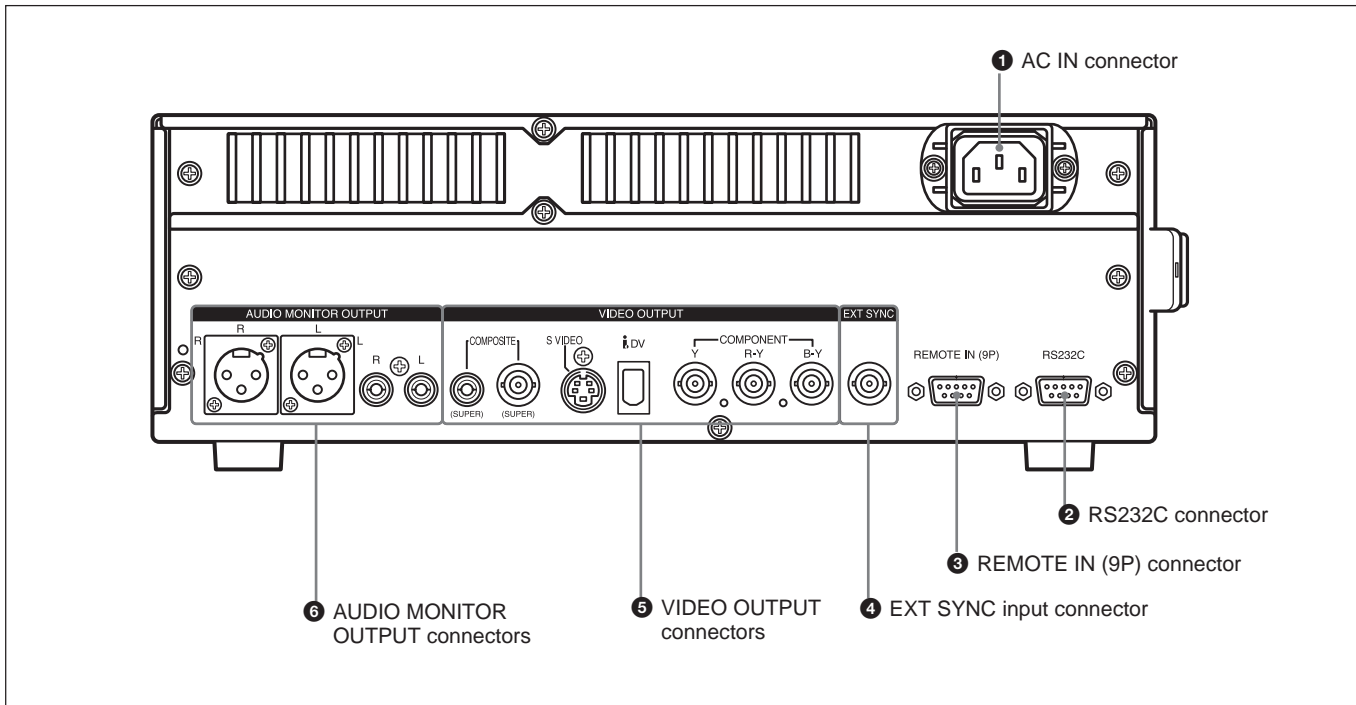
6 STANDBY on/off button

When a cassette is inserted in the unit and the unit is in the Stop mode, you can toggle the VTR standby mode on and off by pressing this button.

In standby mode, the drum rotates and the tape sticks to the drum. As a result, playback starts immediately. If the unit is set to 8 minutes elapse (this value can be varied using STILL TIMER extended menu item 501 of the setup menu) in standby mode, it automatically switches out of standby mode to protect the tape.

2-2 Connector Panel

2-2-1 Connector Panel of the J-10/30



1 AC IN connector

Connects to an AC outlet using the power cord (not supplied).

2 RS232C (RS-232C serial interface) connector (D-sub 9-pin)

Used to remote-control this unit from an external device provided with a Sony 9-pin remote control interface.

3 REMOTE IN (9P) connector (RS-422A serial interface, 9-pin)

Used to remote-control this unit from an external device provided with a Sony 9-pin remote control interface.

4 EXT SYNC (external synchronization) input connector

Inputs the reference video signal. However, on this unit, use this for frame synchronization only, not for color subcarrier synchronization.

5 VIDEO OUTPUT connectors

COMPOSITE (analog composite video) (SUPER) output connector (phono jack): Outputs an analog composite video signal. When basic menu item 005, DISPLAY INFORMATION SELECT, of the setup menu is set as anything other than OFF, the output from this connector outputs superimposed character information such as time code, menu settings, or alarm messages.

COMPOSITE (analog composite video) (SUPER) output connector (BNC): Outputs an analog composite video signal. When basic menu item 005, DISPLAY INFORMATION SELECT, of the setup menu is set as anything other than OFF, the output from this connector outputs superimposed character information such as time code, menu settings, or alarm messages.

S VIDEO output connector (Mini-DIN 4-pin): Outputs an S VIDEO signal.

i DV (i.LINK DV) output connector (IEEE1394, 6-pin): Outputs video/audio signals in DV format.

When basic menu item 030, i.LINK CHARACTER, of the setup menu is set to ON and basic menu item 005, DISPLAY INFORMATION SELECT is set as anything other than OFF, the output from this connector outputs superimposed character information such as time code, menu settings, or alarm messages.

Notes

- Through the **i** DV connector, only one DV device can be connected to this unit. If you intend to connect multiple DV devices, refer to the manuals of them.
- The i.LINK (DV) output of this unit is used to provide materials to a computer on which non-linear editing software is installed. You can use a Sony VTR equipped with an i.LINK (DV) connector (DVCAM series of VTRs for example) with this unit, though, the auto dubbing function and editing function will not be available.
- If the unit is connected to a device equipped with a 6-pin DV jack, when you intend to disconnect or reconnect the DV cable, turn off the device and pull out the plug of its power cord from the AC outlet beforehand. If you connect or disconnect the DV cable while the device is connected to the AC outlet, high-voltage current (8 to 40 V) is output from the DV jack of the device to this unit, which may cause a malfunction.
- When connecting a device that has a 6-pin DV jack to this unit, first connect the plug of the cable to the 6-pin DV jack of the device.

COMPONENT (Y/R-Y/B-Y) output connectors

(BNC): Output analog component video signals (Y/R-Y/B-Y).

6 AUDIO MONITOR OUTPUT connectors

Audio monitor (L/R) output connectors (XLR

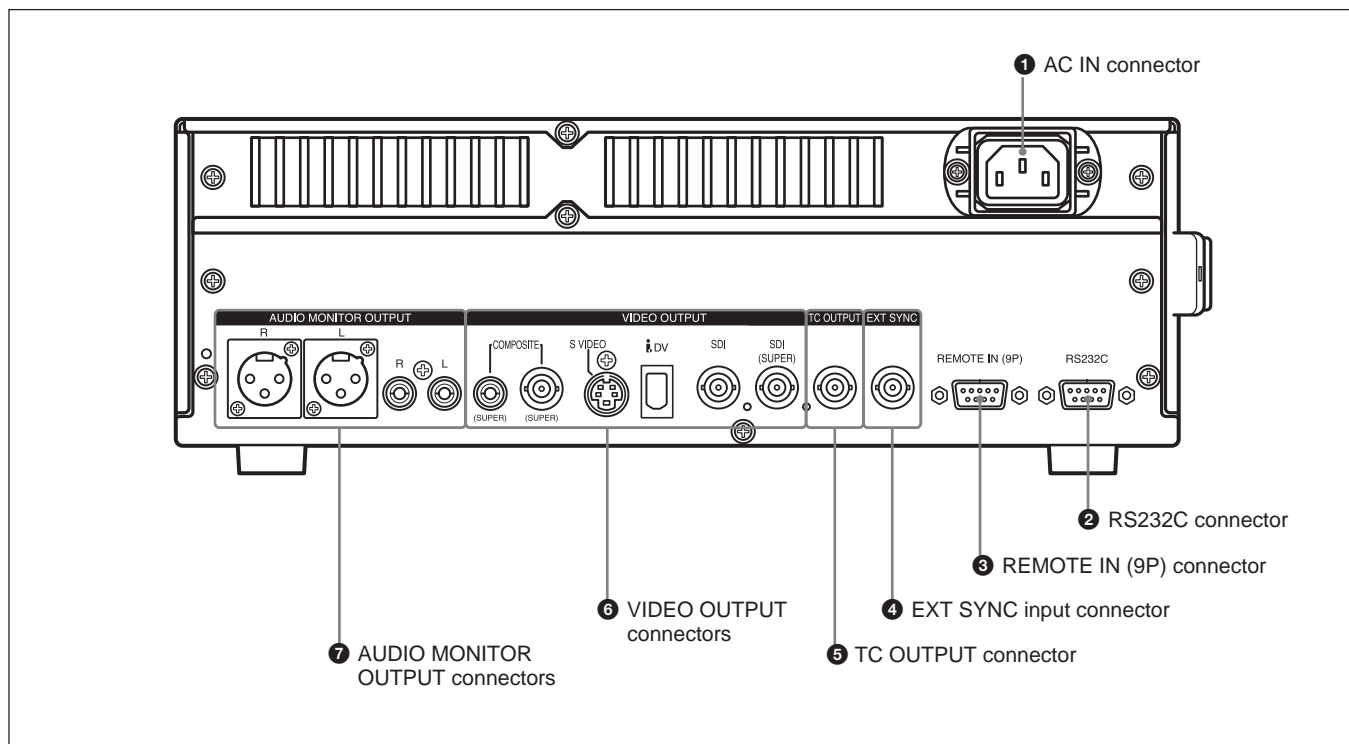
3-pin, male): Output two (L and R) audio monitor signals according to the setting of the AU MON SEL/DOLBY C NR button on the control panel.

Audio monitor (L/R) output connectors (Phono

jack): Output two (L and R) audio monitor signals according to the setting of the AU MON SEL/DOLBY C NR button on the control panel.

2-2 Connector Panel

2-2-2 Connector Panel of the J-10SDI/30SDI



❶ AC IN connector

Connects to an AC outlet using the power cord (not supplied).

❷ RS232C (RS-232C serial interface) connector (D-sub 9-pin)

Used to remote-control this unit from an external device provided with a Sony 9-pin remote control interface.

❸ REMOTE IN (9P) connector (RS-422A serial interface, 9-pin)

Used to remote-control this unit from an external device provided with a Sony 9-pin remote control interface.

❹ EXT SYNC (external synchronization) input connector

Inputs the reference video signal. However, on this unit, use this for frame synchronization only, not for color subcarrier synchronization.

❺ TC OUTPUT (time code output) connector (BNC)

Outputs the playback time code.

❻ VIDEO OUTPUT connectors

COMPOSITE (analog composite video) (SUPER) output connector (phono jack): Outputs an analog composite video signal. When the basic menu item 005, DISPLAY INFORMATION SELECT, of the setup menu is set as anything other than OFF, the output from this connector outputs superimposed character information such as time code, menu settings, or alarm messages.

COMPOSITE (analog composite video) (SUPER) output connector (BNC): Outputs an analog composite video signal. When the basic menu item 005, DISPLAY INFORMATION SELECT, of the setup menu is set as anything other than OFF, the output from this connector outputs superimposed character information such as time code, menu settings, or alarm messages.

S VIDEO output connector (Mini-DIN 4-pin): Outputs an S VIDEO signal.

i DV (i.LINK DV) output connector (IEEE1394, 6-pin): Outputs video/audio signals in DV format.

When basic menu item 030, i.LINK CHARACTER, of the setup menu is set to ON and basic menu item 005, DISPLAY INFORMATION SELECT is set as anything other than OFF, the output from this connector outputs superimposed character information such as time code, menu settings, or alarm messages.

Notes

- Through the **i** DV connector, only one DV device can be connected to this unit. If you intend to connect multiple DV devices, refer to the manuals of them.
- The i.LINK (DV) output of this unit is used to provide materials to a computer on which non-linear editing software is installed. You can use a Sony VTR equipped with an i.LINK (DV) connector (DVCAM series of VTRs for example) with this unit, though, the auto dubbing function and editing function will not be available.
- If the unit is connected to a device equipped with a 6-pin DV jack, when you intend to disconnect or reconnect the DV cable, turn off the device and pull out the plug of its power cord from the AC outlet beforehand. If you connect or disconnect the DV cable while the device is connected to the AC outlet, high-voltage current (8 to 40 V) is output from the DV jack of the device to this unit, which may cause a malfunction.
- When connecting a device that has a 6-pin DV jack to this unit, first connect the plug of the cable to the 6-pin DV jack of the device.

SDI (serial digital interface) output connector:

Outputs a video/audio signal in D1 format without superimposed character information.

SDI (serial digital interface) (SUPER) output connector:

Outputs a video/audio signal in D1 format. When basic menu item 005, DISPLAY INFORMATION SELECT, of the setup menu is set as anything other than OFF, the connector outputs the superimposed character information such as time code, menu settings, or alarm messages.

7 AUDIO MONITOR OUTPUT connectors

Audio monitor (L/R) output connectors (XLR

3-pin, male): Output two (L and R) audio monitor signals according to the setting of the AU MON SEL/DOLBY C NR button on the control panel.

Audio monitor (L/R) output connectors (Phono

jack): Output two (L and R) audio monitor signals according to the setting of the AU MON SEL/DOLBY C NR button on the control panel.

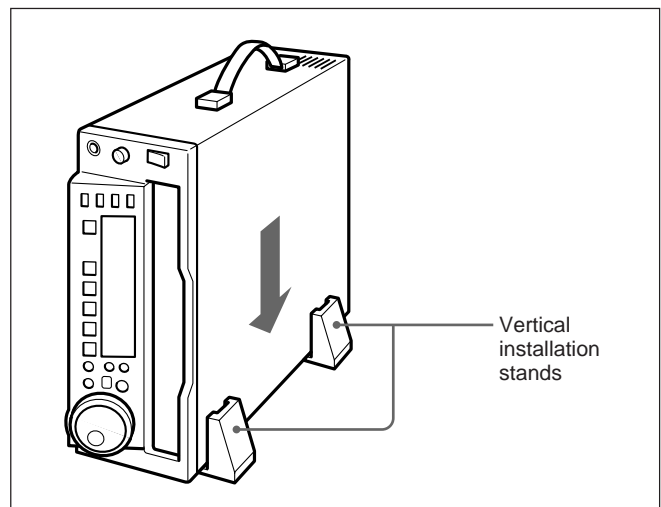
Preparations

3-1 Installation

You can install this unit horizontally as well as vertically. However, it is necessary to use the supplied vertical installation stands to prepare the unit for vertical installation as shown in the figure.

Notes

- When you install this unit vertically, be sure that the handle faces up.
- Regardless of whether you install the unit horizontally or vertically, make sure there is a space of 5 cm (2 inches) or more around the unit.



3-2 Cassettes

Cassette types

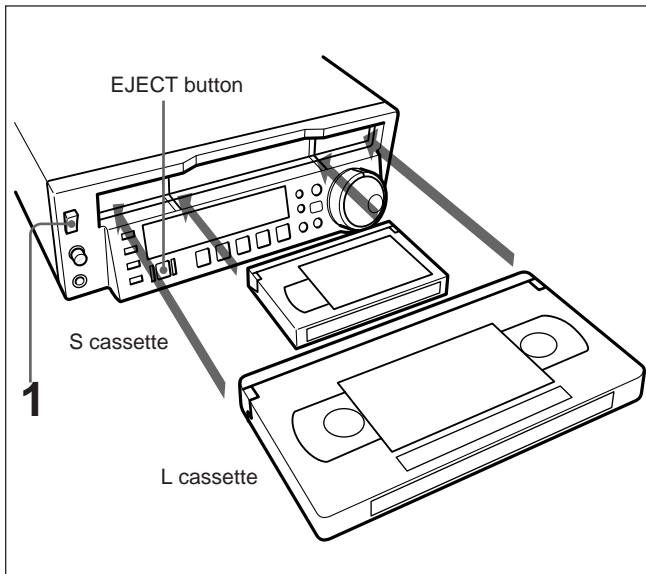
This unit uses the following 1/2-inch tape width cassettes:

- Digital Betacam cassette (J-30/30SDI only)
- MPEG IMX cassette (J-30/30SDI only)
- Betacam SX cassette
- Betacam SP cassette
- Betacam cassette
- UVW cassette

Inserting and ejecting cassettes

Insert or eject a cassette while the unit is powered on.

Inserting a cassette



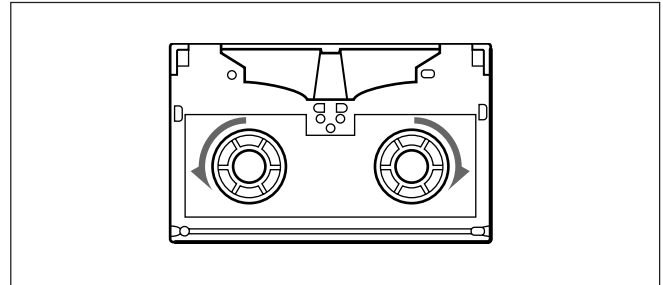
- 1 Turn the POWER switch on.
- 2 Check the following points before inserting the cassette with the orientation shown in the figure.
 - Check that there is no slack in the tape.
 - Check that the message “E10-0000” is not shown in the time data display area.

The cassette is drawn into the unit.

If the message “E10-0000” appears in the time data display area, there is moisture condensation in the unit. For steps to take when “E10-0000” is displayed, see section 8-3 “Moisture Condensation” on page 8-2 (GB).

Removing slack from the tape

Press one of the reels in with a finger, and turn gently in the direction shown by the arrows until there is no slack in the tape.



Ejecting a cassette

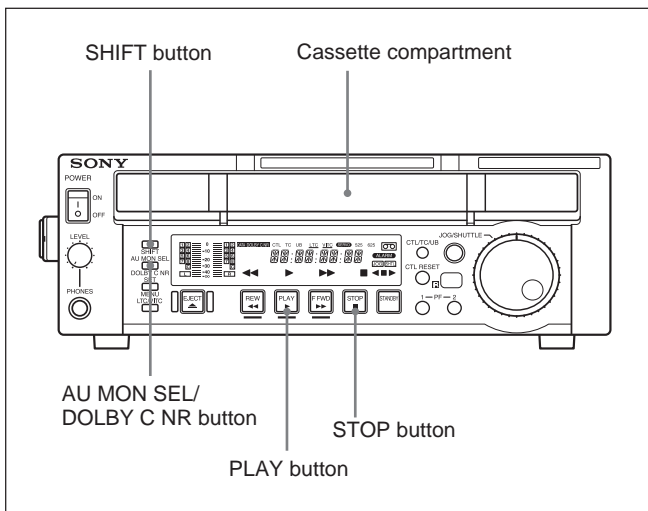
Press the EJECT button.
The cassette is ejected.

If the tape slacks inside the unit, pressing the EJECT button may not eject the cassette. For information about how to remove the cassette in such a case, refer to the Maintenance Manual.

Playback

4-1 Playback Procedures

4-1-1 Normal Playback



Insert a cassette beforehand.

For details of how to insert a cassette, see the section "Inserting and ejecting cassettes" on page 3-2 (GB).

To start playback

Press the PLAY button.

To stop playback

Press the STOP button.

If you play back to the end of the tape

The tape is automatically rewound, and stops (when AUTO REWIND, extended menu item 125, is set to ENA).

Notes

- If you playback a Betacam/Betacam SP cassette immediately after playing back a Betacam SX cassette or Digital Betacam cassette, it may take several seconds for playback to start.
- This unit uses an auto-tracking function (when using the Digital Betacam or MPEG IMX format). The factory setting for the auto-tracking is on (AUTO TRACKING ON). You can turn auto-tracking off. For details on how to change the setting, contact your nearest Sony dealer. While this unit is pulling the tape in, the PLAY button indicator ► flashes.

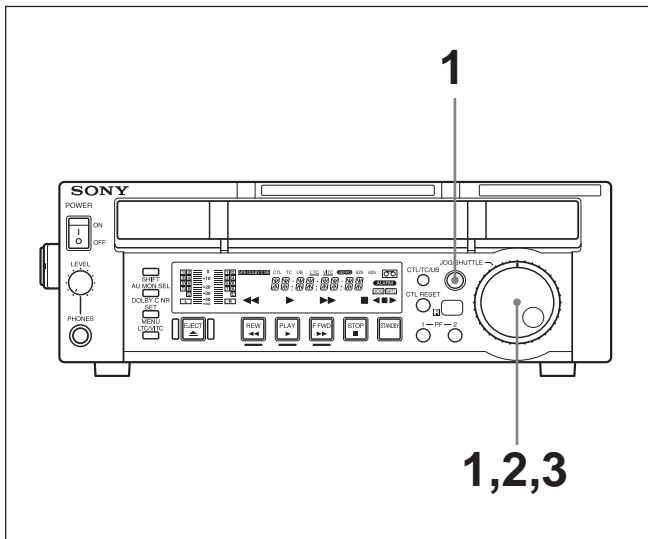
When using the Dolby C NR system

When using an analog Betacam cassette, you can use Dolby C NR for audio playback.

To activate the Dolby NR system, press the AU MON SEL/DOLBY C NR button while holding down the SHIFT button on the control panel.

4-1 Playback Procedures

4-1-2 Playback in Jog Mode



In jog mode, the JOG dial controls the playback speed based on the speed at which the dial is turned. The playback speed range is ± 1 times normal speed. Use the following procedure to carry out playback in jog mode.

- 1 Turn the JOG dial directly or press the JOG/SHUTTLE button to light the JOG indicator.

Pressing the JOG/SHUTTLE button toggles between jog mode and shuttle mode.

- 2 Turn the JOG dial in the desired direction, at a speed corresponding to the desired playback speed.

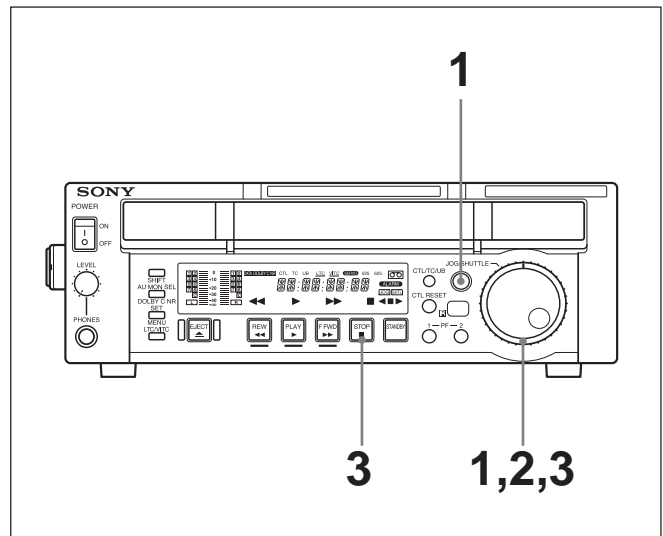
Playback in jog mode starts.

- 3 To stop playback in jog mode, stop turning the JOG dial.

It is possible to make pressing the JOG/SHUTTLE button to switch between JOG and SHUTTLE mode.

Select “KEY” in SELECTION FOR JOG/SHUTTLE DIAL ENABLE, extended menu item 101, to enable the above feature. (This is the default setting.)

4-1-3 Playback in Shuttle Mode



In shuttle mode, the SHUTTLE dial controls the playback speed based on the angular position of the dial.

- When using a Digital Betacam tape: ± 21 times
- When using an MPEG IMX tape: ± 32 times/ ± 38 times (NTSC/PAL)
- When using a Betacam SX tape: ± 35 times
- When using an analog Betacam tape: $\pm 18/\pm 20$ times (NTSC/PAL)

+ indicates forward direction speed, – indicates reverse direction speed.

The SHUTTLE dial has detents at the center position, move the SHUTTLE dial to the center indent to display a still picture.

Use the following procedure to carry out playback in shuttle mode.

- 1 Turn the SHUTTLE dial directly or press the JOG/SHUTTLE button twice to light the SHTL indicator.

If the SHUTTLE dial points to a position other than the center, playback in shuttle mode starts at a speed corresponding to the angular position of the dial.

Pressing the JOG/SHUTTLE button toggles between jog mode and shuttle mode.

- 2** Turn the SHUTTLE dial to the angle corresponding to the desired playback speed.

Playback in shuttle mode starts.

- 3** Return the SHUTTLE dial to the center indent position or press the STOP button to cancel shuttle mode playback.

It is possible to make pressing the JOG/SHUTTLE button to switch between JOG and SHUTTLE mode.

Select “KEY” in SELECTION FOR JOG/SHUTTLE DIAL ENABLE, extended menu item 101, to enable the above feature. (This is the default setting.)

To return to normal-speed playback

Press the PLAY button.

To alternate between normal-speed playback and shuttle mode playback

Set the SHUTTLE dial to the position corresponding to the desired shuttle playback speed first. Press the PLAY button, and then press the JOG/SHUTTLE button twice.

For intermittent shuttle mode playback, press the STOP button first and then press the JOG/SHUTTLE button twice.

Normally, you turn the SHUTTLE dial after setting the jog/shuttle mode by pressing the JOG/SHUTTLE button. You can also set the jog/shuttle mode, however, by directly turning the dial. (This is available when SELECTION FOR JOG/SHUTTLE DIAL ENABLE, extended menu item 101, is set to DIAL.) In this case, you must reset the SHUTTLE dial to the center position after turning it, otherwise the dial is moved by vibration and the tape may start running in the shuttle mode during playback.

4-1-4 Noiseless Playback Function and Frame Step Playback Function

When you are using the Betacam SX or MPEG IMX format, you can put this unit into noiseless mode for noiseless jog and shuttle playback at up to ± 0.5 times normal speed. During noiseless playback, audio is muted for the MPEG IMX format. For the Betacam SX format, discontinuous audio in frame units is heard. In noiseless mode, you can use the PF-1/2 buttons to step through frames. The step for the MPEG IMX format is 1 frame. The step for the Betacam SX format is 2 frames.

To select noiseless mode

In the setup menu, set basic menu item 025, NOISELESS to Enable. (The factory default setting is Disable.) JOG or SHTL flashes in the display section.

To perform noiseless playback

Put the unit into noiseless mode, press the JOG or SHUTTLE button, and rotate the JOG/SHUTTLE dial. This allows you to perform noiseless playback at up to ± 0.5 times normal speed.

In noiseless mode, the emphasis is on slow-speeds. Therefore the SHUTTLE dial speed settings change from the Normal (0), ± 0.03 , ± 0.12 , ± 0.5 , ± 1 , ± 2 , ± 10 , ± 35 (Betacam SX format) (15 steps) to 0, ± 0.03 , ± 0.06 , ± 0.12 , ± 0.25 , ± 0.5 , ± 1 , ± 10 (15 steps). For the MPEG IMX format, extended menu item 922 of the setup menu IMX NOISELESS PB SELECT allows you to set the playback picture to FRAME, FIELD 1, or FIELD 2 (the factory default setting is FRAME).

4-1 Playback Procedures

To perform frame step playback

Put the unit into noiseless mode and press the PF-1 or PF-2 button.

When you are using the Betacam SX format, each press of the PF-1 button steps 2 frames back, and each press of the PF-2 button steps 2 frames forward. When you are using the MPEG IMX format, the buttons step 1 frame in the same directions.

Notes

- To perform frame step playback, always press the PLAY button once before pressing the PF-1 or PF-2 button. When you switch between FWD and REV, the picture may not be updated until you press the PF-1 or PF-2 button twice.
- During frame step playback, the picture and the LTC may be up to 5 frames out of sync. We recommend that you use VITC.
- Block noise may remain visible during frame step playback. If this occurs, step in the reverse direction, or press the PLAY button again.

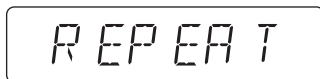
4-1-5 Repeat Playback Function

You can use the repeat playback function to repeatedly play back a section of the tape defined by setting the start point and end point.

To put the unit into repeat playback mode

In the setup menu, set extended menu item 142 REPEAT MODE to PLAY. (The factory default setting of this menu item is OFF.)

When a cassette is loaded in the unit, the REPEAT indication is displayed in the time data display area for one second at intervals of four seconds. When no cassette is loaded, this indication keeps displayed.



Note

When the unit is in jog or shuttle mode, the REPEAT indication will not be displayed in the time data display area.

To set the start point and end point of repeat playback

When a cassette is loaded in the unit, you can specify the current tape position as the start or end point of repeat playback.

To set the start point

Holding down the STOP button, press the REW button. The time code (LTC) value of the tape position when the REW button was pressed is stored in memory as the start point time data. When the start point has been set, an asterisk (*) appears to the left of the REPEAT indication in the time data display area.

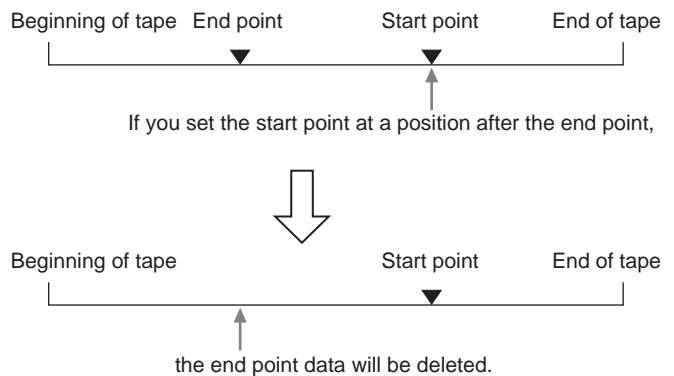


Indicates that the start point is set.

If no start point is set, the beginning of tape is automatically specified as the repeat playback start point.

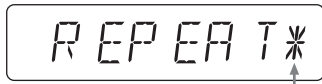
Notes

- Only LTC data can be stored in memory as start point time data. Neither VITC nor CTL can be used as start point data.
- If the end point has already been set, setting the start point at a position after the end point results in deletion of the end point data. (The time code value of the start point cannot be greater than that of the end point.)



To set the end point

Holding down the STOP button, press the F FWD button. The time code (LTC) value of the tape position when the F FWD button was pressed is stored in memory as the end point time data. When the end point has been set, an asterisk (*) appears to the right of the REPEAT indication in the time data display area.

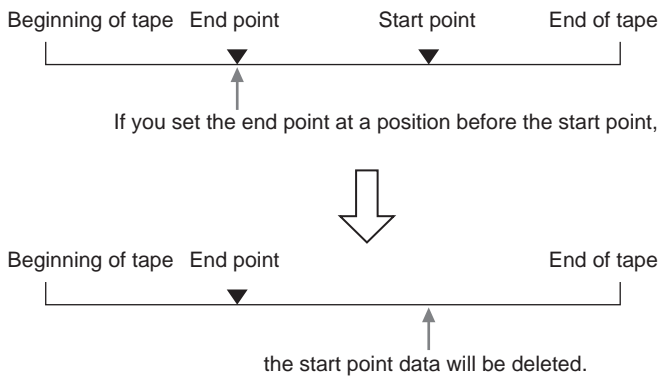


Indicates that the end point is set.

If no end point is set, the end of tape is automatically specified as the repeat playback end point.

Notes

- Only LTC data can be stored in memory as end point time data. Neither VITC nor CTL can be used as end point data.
- If the start point has already been set, setting the end point at a position before the start point results in deletion of the start point data. (The time code value of the end point cannot be smaller than that of the start point.)



To execute a repeat playback

Press the PLAY button.

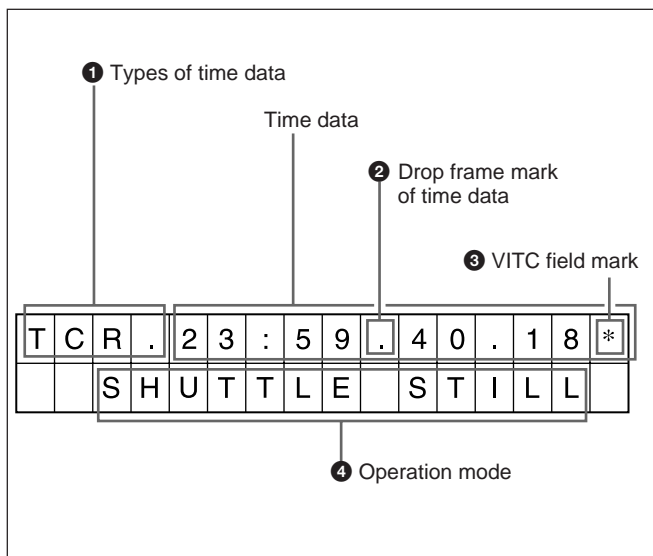
To check the time code of the set start point and end point

Hold down the STOP button and PLAY button simultaneously. As long as you hold down both buttons, the START indication, the start point time code value, the END indication, and the end point time code value are cyclically displayed in this order in the time data display area.

To delete the set start point and end point

Press the EJECT button to eject the cassette. This deletes both the start point and end point.

4-2 Superimposed Character Information



When basic menu item 005 of the setup menu DISPLAY INFORMATION SELECT is set as anything other than OFF, the video signal output from the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (for J-10SDI/30SDI only) or iDV connector contains superimposed character information (overlaid display), including time code, menu settings, or alarm messages.

For details on the settings for superimposed display, see DISPLAY INFORMATION SELECT, basic menu item 005 on page 7-7 (GB), SDI OUT CHARACTER, basic menu item 027 on page 7-9 (GB), and i.LINK CHARACTER, basic menu item 030 on page 7-9 (GB).

Adjusting the character display

The basic menu adjusts the position, size and type of the superimposed characters.

For details of the basic menu, see section 7-3 “Basic Menu” on page 7-7 (GB).

Note

As the factory default setting, basic menu item 005, DISPLAY INFORMATION SELECT is set to OFF. Changing the setting of basic menu item 005, DISPLAY INFORMATION SELECT allows different time data to be displayed in the bottom line of the display.

For details, see section 7-3 “Basic Menu” on page 7-7 (GB).

Displayed items

1 Types of time data

Display	Meaning
CTL	CTL counter data
TCR	LTC reader time code
UBR	LTC reader user bit
TCR.	VITC reader time code
UBR.	VITC reader user bit

Note

If the time data or user bit cannot be read correctly, they will be displayed with an asterisk. For example, “T*R”, “U*R”, “T*R.” or “U*R.”.

2 Drop frame mark of time data

- “.”: Drop frame mode
- “:”: Non-drop frame mode

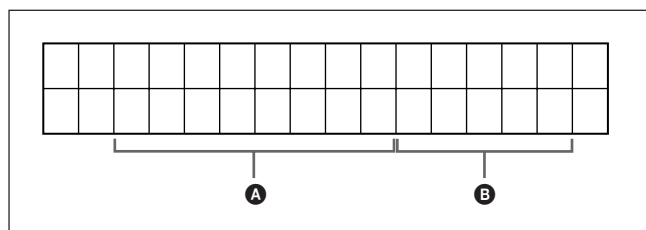
3 VITC field mark

- “ ” blank: When displaying Field 1 and 3
- “*”: When displaying Field 2 and 4

4 Operation mode

The field is divided into two blocks, A and B.

- **Block A:** displays the operation mode.
- **Block B:** displays the servo lock status or tape speed.



Display		Operation mode
Block A	Block B	
TAPE UNTHREAD		Cassette is not loaded.
STANDBY OFF		Standby off mode
STOP		Stop mode
F.FWD		Fast forward mode
REW		Rewind mode
PLAY		Playback mode (servo unlocked)
PLAY	LOCK	Playback mode (servo locked)
JOG	STILL	A still picture in jog mode
JOG	FWD	Jog mode in forward direction
JOG	REV	Jog mode in reverse direction
SHUTTLE	STILL	A still picture in shuttle mode
SHUTTLE	(Speed)	Shuttle mode

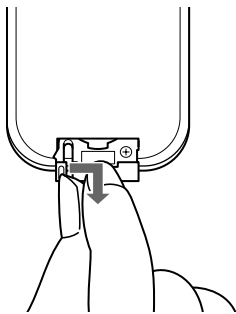
4-3 Using the Remote Commander

Pull off the transparent film covering the battery parts.

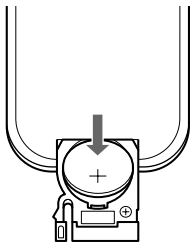
4-3-1 How to Change the Lithium Battery

- 1 Pull out the lithium battery case.

Pull the battery case toward you while releasing the lock by plucking it with your fingernail.



- 2 Set lithium battery in the case so that the + symbol on the battery is facing you.



- 3 Push the lithium battery case back into its original position.

Notes on the Remote Commander

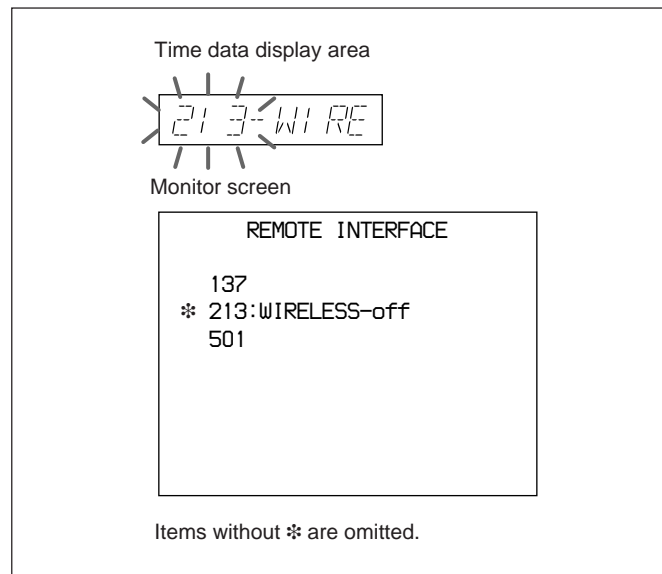
- If there is an obstacle between the Remote Commander and the remote control detector, the Remote Commander sometimes does not work properly. Point the Remote Commander at the remote control detector on the front side of the unit.
- The effective remote control area is limited. It becomes easier to control the unit the closer you get and if you point the Remote Commander directly at the front of the unit.
- Change the battery when the Remote Commander does not work properly.

4-3-2 Setting Menu

When a Remote Commander is used, WIRELESS REMOTE CONTROL, extended menu item 213, must to be set to ON. (It is set to OFF at the factory.) (The following operation is an example of how WIRELESS REMOTE CONTROL is switched from OFF to ON.)

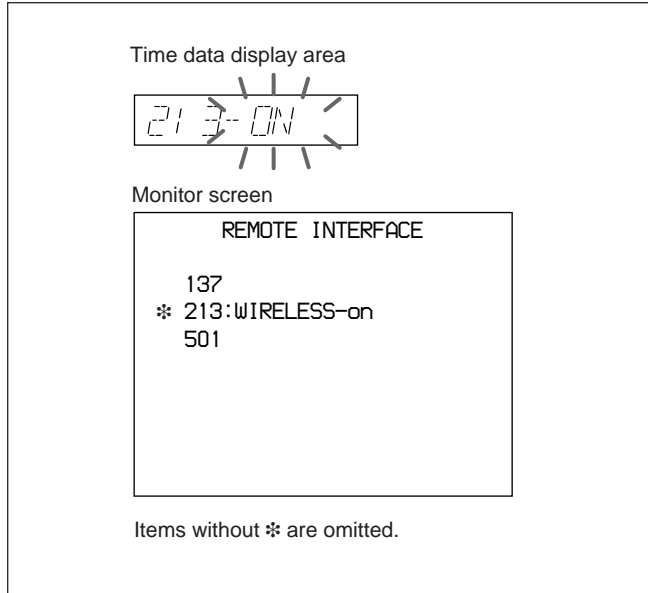
- 1 Select WIRELESS REMOTE CONTROL, extended menu item 213, to display it.

The illustration shows the information displayed in the time data display area and on the monitor connected to the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (for J-10SDI/30SDI only) or iDV connector.



4-3 Using the Remote Commander

- Turn the JOG/SHUTTLE dial to change the setting from “OFF” to “ON” while holding down the JOG/SHUTTLE button, and then release the JOG/SHUTTLE button.



(ON flashes while the JOG/SHUTTLE button is being pressed.)

- Press the SET/MENU button.

Time data display area and monitor go back to the original views.

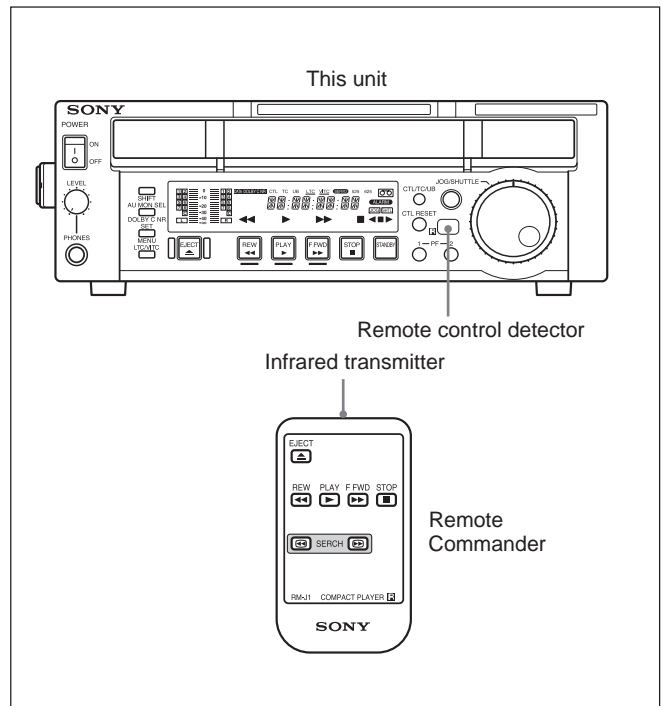
4-3-3 Operating the Remote Commander

Press the function keys while pointing the infrared transmitter of the Remote Commander at the remote control detector.

Each key functions same as the corresponding key on the control panel attached to the unit.

Note

For the SEARCH key, is 10 times forward speed, is 10 times reverse speed.



Note

When two or more units of J-10/10SDI/30/30SDI or J-H1/H3 (J-H series of compact players) are placed close to each other, the Remote Commander may affect more than one unit. In this case, select OFF in WIRELESS REMOTE CONTROL, extended menu item 213, of the other units you do not want to operate.

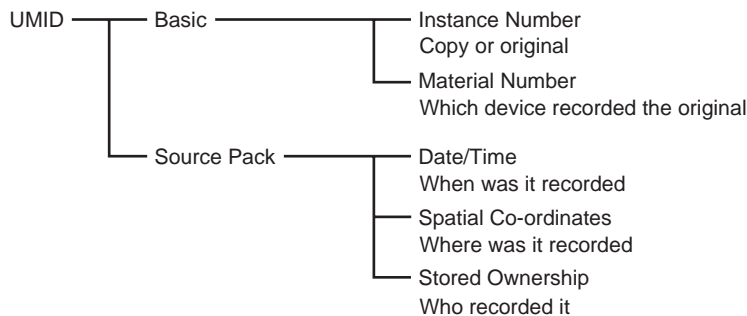
UMID Functions

5-1 Overview of UMID Functions

The UMID (Unique Material Identifier) is a type of meta-data in video and audio materials. It has been internationally standardized in SMPTE Standard 330M. This unit supports generation of UMIDs recorded in the Digital Betacam or MPEG IMX format.

The UMID is made up of a section called the “Basic” section and a section called the “Source Pack” section. The Basic section contains information such as the device that recorded the material and whether the material is the original or a copy. The Source Pack section contains information about when/where/who recorded the material.

A UMID with a Basic section only is called a Basic UMID. A UMID with both Basic and Source Pack sections is called an Extended UMID. The following figure shows a general overview of the information contained in a UMID.



5-2 UMID Output and Display

This section explains how to output and display UMIDs.

5-2-1 UMID Output Settings

You can choose to output UMIDs or not from the SDI or SDI (SUPER) output connector, and select either Basic UMID or Extended UMID when you choose to output UMIDs. Make these settings using extended menu item 651, UMID OUTPUT.

See page 7-11 (GB) for more information about extended menu item 651.

5-2-2 UMID Display

During playback, UMID data appears on the video monitor by superimposition.

To display the UMID

Press the PLAY button while holding down the SHIFT button.

To exit from UMID display

Press again the PLAY button while holding down the SHIFT button.

UMID display on the video monitor

During playback in the Digital Betacam format (J-30SDI) or in the MPEG IMX format (J-30/30SDI), the video monitor connected to the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (for J-30SDI only) or iDV connector displays all UMID items at once as shown in the following figure.

UMID	INFORMATION	
INSTANCE	①	②
MATERIAL	③	④, ⑤
	⑥	
DATE/TIME	⑦	⑧
ALTITUDE	⑨	⑩ ⑪ ⑫
LONGITUDE		⑬
LATITUDE		⑭
ORGANIZATION		⑮
USER	⑯	COUNTRY ⑰

- ① Instance Number Generation Method
- ② Instance Number
- ③ Material Number Generation Method
- ④, ⑤ Material Number
- ⑥ Year/Month/Date
- ⑦ Hour:Minute:Second
- ⑧ Time Zone
- ⑨ GPS Altitude
- ⑩ Number of Satellites
- ⑪ Auxiliary Device
(“ ”: not equipped, “+”: equipped)
- ⑫ PDOP (Position Dilution Of Precision value)
- ⑬ Longitude (E: east/W: west)
- ⑭ Latitude (S: south/N: north)
- ⑮ Organization Code
- ⑯ User Code
- ⑰ Country Code

Essence Marks

6-1 Overview of Essence Mark Functions

An essence mark uses a term value dictionary item as defined in the SMPTE RP210A Metadata Dictionary to express and transfer points such as recording start points and edit point candidates in up to 32 bytes of data.

The basic format of the SMPTE RP210A Metadata Dictionary is defined in SMPTE 336M Data Encoding Protocol using Key-Length-Value (KLV coding specifications).

6-2 Essence Mark Output

When playing back a tape, essence marks recorder on the tape can be output to SDI signals. Information such as shot marks recorded on the tape can also be converted into essence marks and output.

Selecting whether to output essence marks

You can select whether or not to output essence marks when you play back a tape. Make this selection using extended menu item 657, ESSENCE MARK TAPE OUTPUT.

See page 7-11 (GB) for more information about extended menu item 657.

Outputting shot marks converted into essence marks

You can select whether or not to convert shot marks recorded on a tape into essence marks for output when you play back the tape. Make this selection using extended menu item 658, SHOT MARK ESSENCE MARK CONVERT.

When extended menu item 658 is set to ON, you can specify the VANC¹⁾ line into which to insert essence marks in extended menu item 660, ESSENCE MARK VANC LINE.

See page 7-11 (GB) for more information about extended menu items 658 and 660.

1) VANC: Vertical ancillary (data).

Setup Menu

7-1 Menu System Configuration

The principal setup operations required before operating this unit can be carried out using setup menus.

The menu system of this unit is comprised of a basic menu and an extended menu.

- Basic menu

This menu is used to make the following settings:

- the digital hours meter
- the character information superimposed on the output to the monitor
- settings for switching between the 525 (NTSC) and 625 (PAL) systems
- settings for the menu banks for retaining menu settings

- Extended menu

This menu is used to make the following wide range of settings on this unit:

- the control panel functions
- tape protection
- video and audio control
- digital data processing

This unit allows up to two menu settings to be stored in menu banks 1 and 2.

The stored menu settings can be called up to use as required.

For more information, see “Menu bank operations (basic menu items B01 to B12)” on page 7-5 (GB).

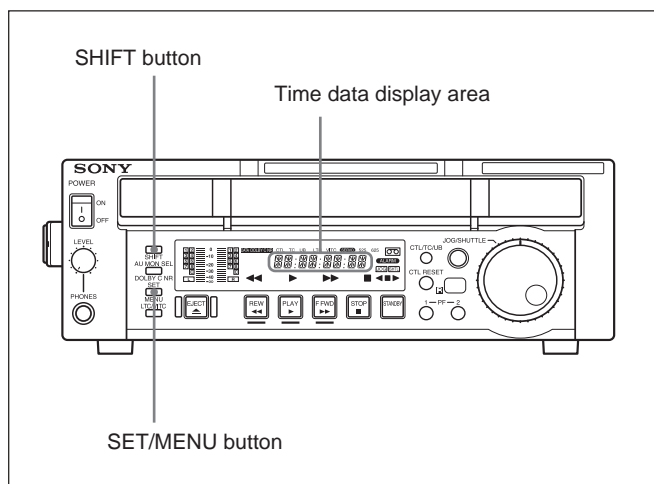
7-2 Menu Operations

This section describes the basic menu displays and how to change the settings.

For information about how to use basic menu item 013, see “Switching between 525/625 line systems (basic menu item 013)” on page 7-4 (GB), and for information about how to operate items B01 to B12, see “Menu bank operations (basic menu items B01 to B12)” on page 7-5 (GB).

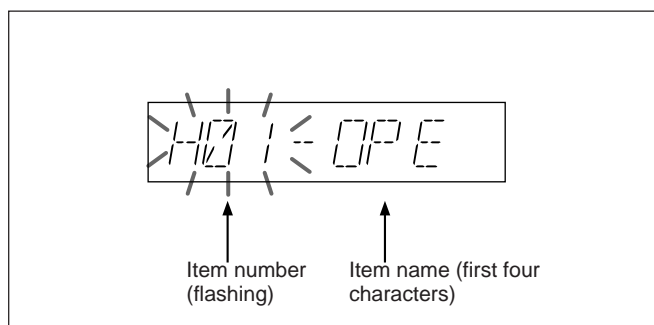
For information about how to use the extended menu, see the section “Extended menu operations” on page 7-6 (GB).

Displaying the menus



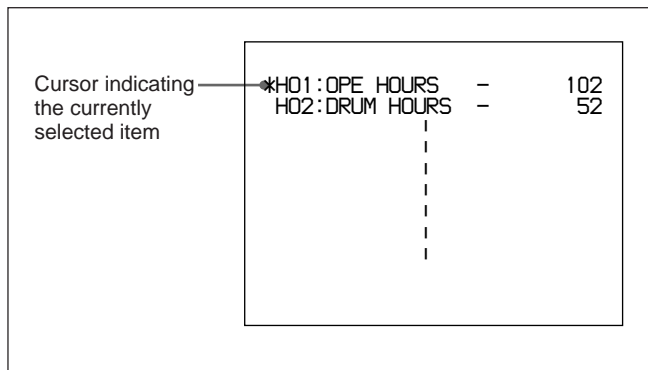
Press the SET/MENU button while holding down the SHIFT button.

The setting of the currently selected menu item appears in the time data display area.



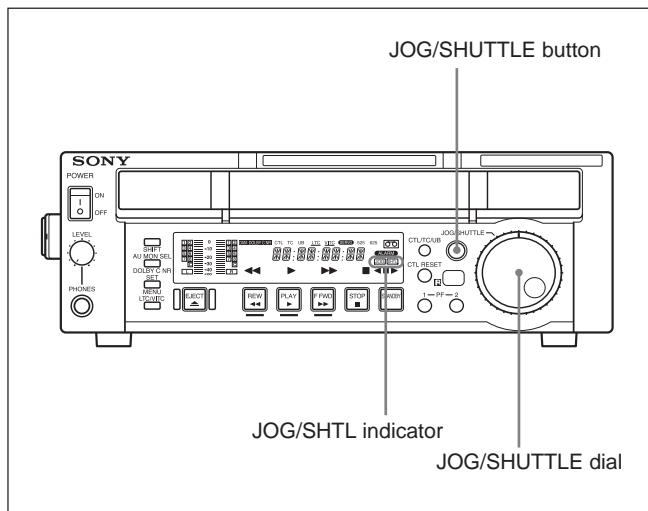
Displaying the menus on the monitor

Menu setting can be done on the monitor while superimposing is set to ON.



If the SET/MENU button is pressed while holding down the SHIFT button to display the menu settings in the time data display area, a full-screen version also appears on a monitor connected to the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (J-10SDI/30SDI only), or iDV connector as shown in the above figure.

Changing the currently displayed menu item



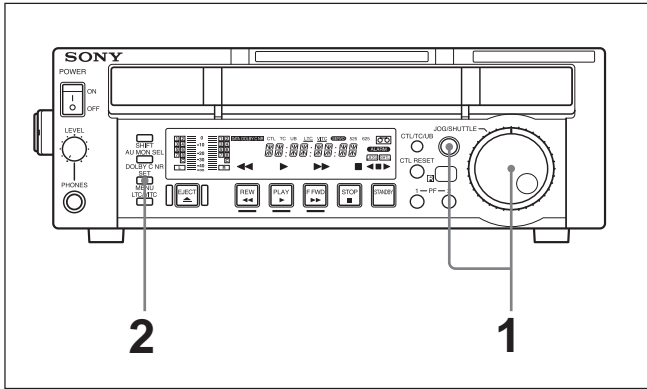
Turn the JOG/SHUTTLE dial.

Turning the JOG/SHUTTLE dial to the right increments the item number and turning it to the left decrements the item number.

The item number changes at a rate depending on the JOG/SHUTTLE dial position (when the SHTL indicator is lit) or on the JOG/SHUTTLE dial rotation rate (when the JOG indicator is lit).

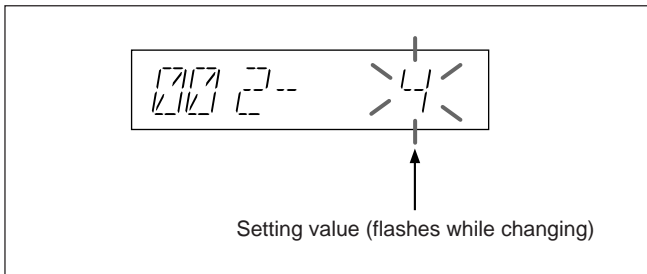
Changing a menu item setting value

To change the setting value of the currently displayed menu item, use the following procedure.



- 1 Holding down the JOG/SHUTTLE button, turn the JOG/SHUTTLE dial.

The setting value changes at a rate based on the SHUTTLE dial position or on the JOG dial rotation rate.



- 2 When the desired setting value is displayed, press the SET/MENU button.

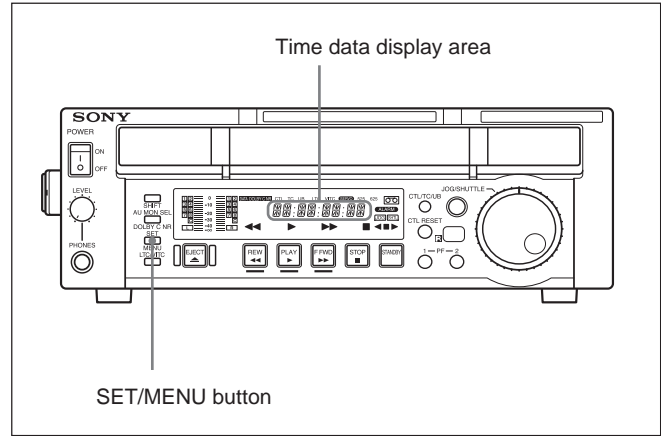
This saves the new setting value, and the menu display disappears from the time data display area.

To cancel the change

Press the SET/MENU button while holding down the SHIFT button before pressing the SET/MENU button only.

The menu display disappears from the time data display area without saving the new setting value.

Resetting the menu settings to their factory default values (basic menu item B20)



- 1 Set RESET SETUP, basic menu item B20, to ON.

“PUSH SET” appears in the time data display area, and “Push SET button” appears on the monitor screen.

- 2 Press the SET/MENU button.

The current active menu settings (see “Menu bank operations (basic menu items B01 to B12)”) are reset to their factory default settings.

- 3 Press the SET/MENU button again.

The settings are saved and the menu display disappears from the time data display area.

7-2 Menu Operations

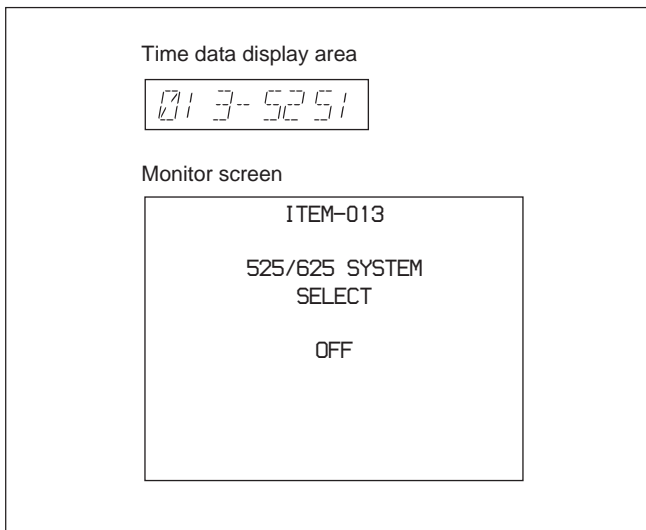
Switching between 525/625 line systems (basic menu item 013)

Using the following procedure, you can set basic menu item 013, 525/625 SYSTEM SELECT, to ON, and then switch between 525 (NTSC) and 625 (PAL).

(The following is the procedure example of switching from a 525 (NTSC) system to a 625 (PAL) system.)

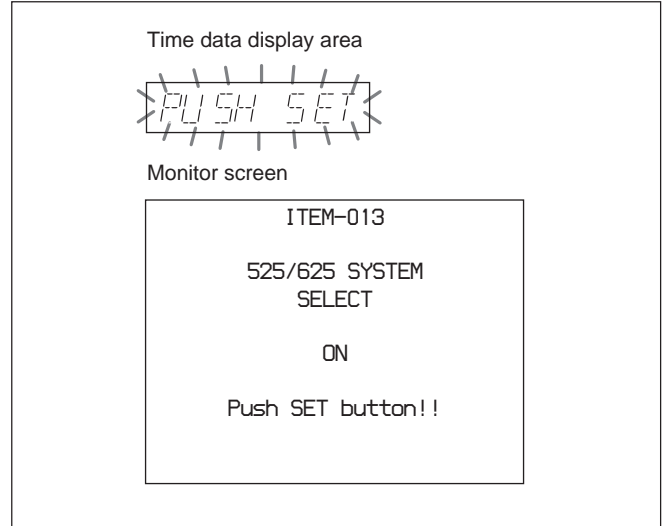
1 Select basic menu item 013 and display it.

The time data display area and the monitor screen connected the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (for J-10SDI/30SDI only) or iDV connector show the following displays.



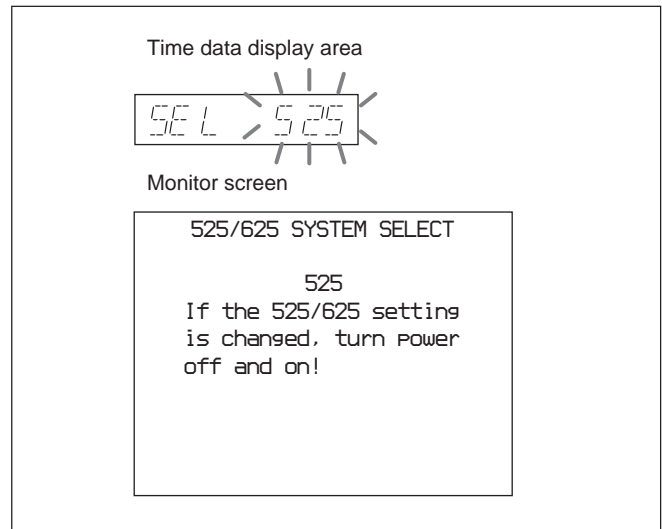
2 Holding down the JOG/SHUTTLE button, turn the JOG/SHUTTLE dial to change the setting from OFF to ON.

The displays change as follows.



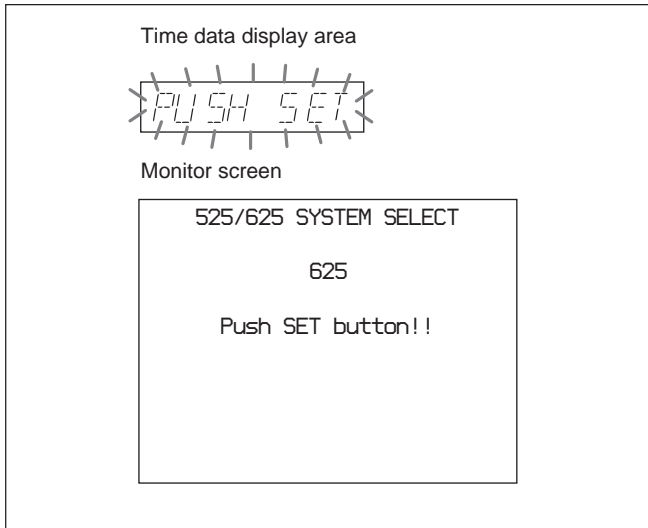
3 Press the SET/MENU button.

The displays change as follows.



- 4** Holding down the JOG/SHUTTLE button, turn the JOG/SHUTTLE dial to change the setting from 525 to 625.

The displays change as follows.

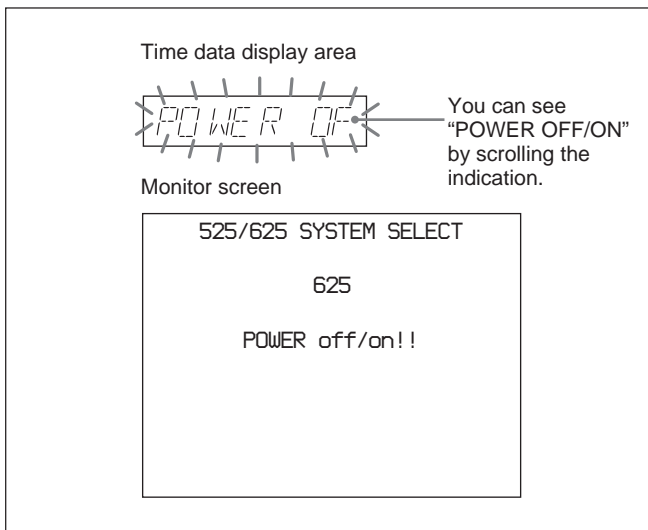


To cancel the 525/625 setting operation

Holding down the SHIFT button, press the SET/MENU button the required number of times to exit from the menu.

- 5** Press the SET/MENU button.

The displays change as follows.



- 6** Turn the POWER switch off momentarily, then turn it on again.

This switches from the 525 (NTSC) to the 625 (PAL) system; the 525 indicator goes off, and the 625 indicator lights.

The menu settings disappear from the time data display area, and returns to the normal indications.

Menu bank operations (basic menu items B01 to B12)

This unit allows two different complete sets of menu settings to be saved in what are termed "menu banks," numbered 1 and 2. Saved sets of menu settings are recalled for use as required.

To jump to menu item B01 or H01

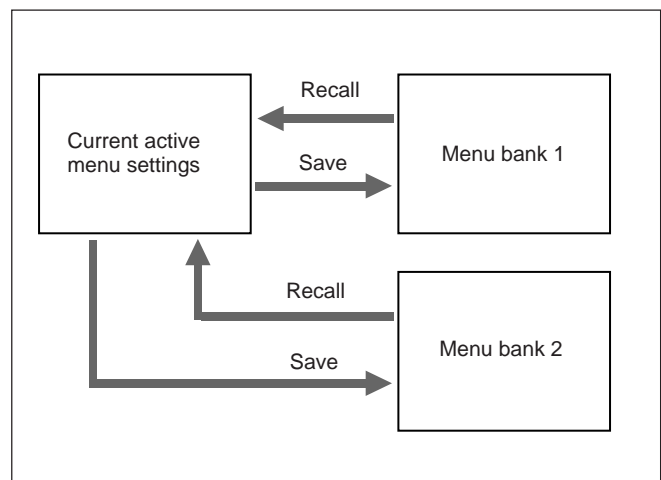
The unit recalls any required menu items when you turn the JOG/SHUTTLE dial after pressing the SET/MENU button while holding down the SHIFT button. Press the SET/MENU button while holding down the SHIFT button, then press the CTL/TC/UB button. Every time you press the CTL/TC/UB button, menu item H01 or B01 is recalled alternately.

Saving the current active menu settings

Set menu item SAVE BANK 1, basic menu item B11, or SAVE BANK 2, basic menu item B12, to ON, depending on which of the menu banks you wish to use to save the setting, then press the SET/MENU button.

Recalling settings from a menu bank

Set menu item RECALL BANK 1, basic menu item B01, or RECALL BANK 2, basic menu item B02, to ON, depending on which of the menu banks you wish to recall settings from, then press the SET/MENU button.



7-2 Menu Operations

Extended menu operations

You can operate the extended menu in the same way as you operate the basic menu.

For details of basic menu operations, see page 7-2 (GB).

Note

To access the extended menu, it is required to set MENU GRADE, basic menu item 099, to ENHAN.



7-3 Basic Menu

The basic menu contains the following items.
In the “Settings” column of the table, the factory

default settings are indicated by an enclosing box.

Item number	Item name	Settings
002 ^{a)}	CHARACTER H-POSITION	Adjust the horizontal screen position of the character information output from the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (J-10SDI/30SDI), or DV connector for superimposed display on the monitor. 00 ... 04 ... 08 : The value 00 is for the far left of the screen and 08 for the far right. Increasing the value moves the position of the characters to the right.
003 ^{a), b)}	CHARACTER V-POSITION	Adjust the vertical screen position of the first line of the character information output from the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (J-10SDI/30SDI), or DV connector for superimposed display on the monitor. 00 ... 11 ... 14 (525 mode)/00 ... 14 ... 17 (625 mode) : The hexadecimal value 00 is for the top of the screen and increasing the value lowers the position of the characters.
005	DISPLAY INFORMATION SELECT	Determines the kind of character information to be output from the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (J-10SDI/30SDI), or DV connector for superimposed display on the monitor. OFF : Displays no character information. T&STA : Time data display information and the unit's status. T&UB : Time data display information and the user bits. T&CTL : Time data display information and CTL. T&T : Time data display information and time code (LTC or VITC). TIME : Time data display information only If there is an overlap between the setting of this item and the setting of the control panel, it is automatically avoided. For example, if CTL is selected on the control panel and this menu item setting is T&CTL, CTL and LTC will be output.
007	TAPE TIMER DISPLAY	Determines whether to display the CTL counter in 12-hour mode or 24-hour mode. + -12H : 12-hour mode 24H : 24-hour mode
009 ^{a)}	CHARACTER TYPE	Determines the type of characters such as time code output from the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (J-10SDI/30SDI), or DV connector for superimposed display on the monitor. WHITE : White letters on a black background. BLACK : Black letters on a white background. W/OUT : White letters with black outlines. B/OUT : Black letters with white outlines.
011 ^{a)}	CHARACTER V-SIZE	Determines the vertical size of characters such as time code output from the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (J-10SDI/30SDI), or DV connector for superimposed display on the monitor. 1 : Standard size 2 : 2 times standard size

a) When setting items 002, 003, 009 and 011 watch the monitor screen, and adjust to the required state.

b) When displaying time code values, there is a slight time delay. Therefore, when creating a tape for off-line editing, the information inserted in the upper half of the screen may be delayed by one frame.

7-3 Basic Menu

Item number	Item name	Settings
012	CONDITION DISPLAY ON VIDEO MONITOR (The channel status can be displayed only when the CHARACTER V-SIZE is set to ×1.)	Determines whether or not to display the channel status in addition to the characters being superimposed. disable : Disables display enable : Enables display Displayed channel status The channel statuses are displayed under the timer or status display line. (When an analog tape is inserted, only the playback level of the video is displayed.) e.g. V — A — The letters that follow “V” indicate the status of the video channels of the rotation head. The letters that follow “A” indicate the status of the audio channels of the rotation head. Character patterns —: Good condition *: Acceptable condition ■: Bad condition
013	525/625 SYSTEM SELECT	Specify whether to enable switching between the 525 (NTSC) and 625 (PAL) systems. OFF : Do not enable system switching. ON : Enable system switching. You can choose and set 525 (NTSC) or 625 (PAL) as this unit's initial operation mode. If the unit is set as 525 (NTSC) mode beforehand, setting this item to ON and switching the system to 625 (PAL) mode enables the unit to operate in 625/50 mode. On the other hand, if the unit is set as 625 (PAL) mode beforehand, setting this item to ON and switching the system to 525 (NTSC) mode enables the unit to operate in 525/60 mode. <i>For information on how to switch the system or other details, see “Switching between 525/625 line systems (basic menu item 013)” on page 7-4 (GB).</i>
020	DROP-FRAME MODE SELECT (When operating in 525 mode)	Determines the drop-frame mode of the CTL counter. DF : Drop-frame mode NDF : Non-drop-frame mode
022	PF2 KEY SELECT	Determines the function assigned to PF2 button. REM : Displays the remaining tape time by minute. RUN : Displays the total number of times that the tape has been running until then.
024	MENU CHARACTER TYPE	Selects the type of characters to superimpose on the video signal (overlaid display) output from the COMPOSITE (SUPER) output connector, SDI (SUPER) output connector (J-10SDI/30SDI), or iDV connector. WHITE : White letters on a black background BLACK : Black letters on a white background W/OUT : White letters with black outlines B/OUT : Black letters with white outlines
025	NOISELESS PB MODE	Select whether or not to use the noiseless playback function (when using Betacam SX or MPEG IMX format). Disable : Do not use the noiseless playback function. Enable : Use the noiseless playback function.
026	AUDIO MONITOR MODE	Select a mode of AUDIO MONITOR. MONO : Monaural + mix STEREO : Stereo + mix

Item number	Item name	Settings
027	SDI OUT CHARACTER (J-10SDI/30SDI only)	Select whether or not to superimpose the type of characters over the video signal (overlap display) output from the SDI (SUPER) connectors. OFF : Does not superimpose. ON : Superimposes.
030	i.LINK CHARACTER	Selects whether or not to superimpose characters on the video signal (overlap display) output from the i.DV connector. OFF : Does not superimpose. ON : Superimposes.

Item number	Item name	Settings
099	MENU GRADE	Determines the menus that can be changed. BASIC : Basic menu ENHAN : Basic menu + Extended menu
B01	RECALL BANK 1	Set to ON to recall current menu settings from menu bank 1.
B02	RECALL BANK 2	Set to ON to recall current menu settings from menu bank 2.
B11	SAVE BANK 1	Set to ON to save current menu settings to menu bank 1.
B12	SAVE BANK 2	Set to ON to save current menu settings to menu bank 2.
B20	RESET SETUP	Set to ON to reset current menu settings to factory default values.

7-4 Extended Menu

The extended menu contains the following items.
In the “Settings” column of the table, the factory default settings are indicated by an enclosing box.

Item number	Item name	Settings
101	SELECTION FOR JOG/SHUTTLE DIAL ENABLE	Select how the unit enters the jog/shuttle mode. DIAL : Turning the JOG/SHUTTLE dial enters the jog/shuttle mode. KEY : Press the JOG/SHUTTLE button to enter jog/shuttle mode.
102	MAXIMUM TAPE SPEED	Set the tape speed for fast-forward, rewind and jog/shuttle mode operations. MAX : Fast forward, rewind and jog/shuttle mode operations are carried out at maximum speed. MX/24 : Fast forward and rewind operations are carried out at maximum speed, and jog/shuttle mode operations are carried out at up to 24 times normal speed. ×24 : Fast forward, rewind and jog/shuttle mode operations are carried out at up to 24 times normal speed. Maximum speed for fast forward and rewind <ul style="list-style-type: none"> • Analog cassettes: 24 times normal playback speed • Digital cassettes: 50 times normal playback speed Maximum speed for jog/shuttle mode <ul style="list-style-type: none"> • Analog cassettes: 18 (525)/20 (625) times normal playback speed (NTSC/PAL) • Digital cassettes: Betacam SX 35 times normal playback speed MPEG IMX 32 (525)/38 (625) times normal playback speed (J-30/30SDI only) Digital Betacam 21 times normal playback speed (J-30/30SDI only)
104	AUDIO MUTING TIME	Select the length of time for which audio muting occurs when the unit switches to playback either from stopped or from still playback in the jog/shuttle mode. LOCK : Make the audio output signal muted until the servo lock functions. OFF : Set the audio muting time to zero (i.e. no muting). 0.1S ... 1.0S : Set the audio muting time from 0.1 seconds to 1.0 second, in 0.1-second increments.
105	REFERENCE SYSTEM ALARM	Select whether or not to display a warning when the video/audio reference signal is not supplied. OFF : No warning. ON : Flash the STOP indicator as a warning.
114	AUDIO MONITOR OUTPUT LEVEL	Choose whether or not to permit changes in the audio monitor output level from the control panel (which can simultaneously be monitored via the headphone jack) using the volume control knob on the control panel. FIXED : Output level changes not permitted. VAR : Output level changes permitted.
125	AUTO REWIND	Determine whether or not to rewind the tape automatically when playback reaches the end of a tape. DIS : Do not rewind automatically. ENA : Rewind automatically.
130	TIMER DISPLAY DIMMER CONTROL	Set the brightness of the time data/menu display. 0 to [3] : The brightness can be set within this range. 3 is the brightest and 0 is the darkest.
137	TRACKING CONTROL VIA JOG/SHUTTLE DIAL	Select the tracking control in the JOG/SHUTTLE dial. OFF : Disables tracking control. ON : Enables tracking control by turning the JOG/SHUTTLE dial in the PLAY mode. (When this item is set to ON, the JOG and SHTL indicators in the display section flash.)
142	REPEAT MODE	Select whether or not to put the unit into repeat playback mode. OFF : Do not put the unit into repeat playback mode. PLAY : Put the unit into repeat playback mode.
213	WIRELESS REMOTE CONTROL	Select control mode with the infrared Remote Commander. OFF : Do not operate. ON : Operate.

Item number	Item name	Settings
501	STILL TIMER	Sets the time interval from the tape stop mode to the tape protection mode. In order to protect the video heads and the tape, this unit enters the tape protection mode automatically after a certain amount of time has elapsed since the unit entered the tape stop mode (STOP mode or a still picture in jog/shuttle mode). 0.5S ... [8M] ... 30M : Set the value in the range 0.5 seconds to 30 minutes.
651	UMID OUTPUT (J-30SDI only)	When using the Digital Betacam or MPEG IMX format, select whether or not to output the UMID data recorded on the tape from the SDI output connector and the type of the UMID data if it is output. OFF : Do not output the UMID data. BASIC : Output as the Basic UMID data (32 byte). EXTENDED : Output as the Extended UMID data (64 byte). Notes <ul style="list-style-type: none"> • Even if EXTENDED is selected, Basic UMID is output if Basic UMID is recorded on the tape being played back. • When menu item 901, VIDEO OUTPUT DATA is set to 8bit, nothing of UMID is output.
657	ESSENCE MARK TAPE OUTPUT (J-30SDI only)	When using the Digital Betacam or MPEG IMX format, select whether or not to output essence marks recorded on the tape from the SDI output connector. ON : Output essence marks recorded on the tape. OFF : Do not output essence marks recorded on the tape. Note When menu item 901, VIDEO OUTPUT DATA is set to 8bit, nothing of essence marks is output.
658	SHOT MARK ESSENCE MARK CONVERT (J-10SDI/30SDI only)	When using the Digital Betacam, MPEG IMX or Betacam SX format, select whether or not to convert shot marks recorded in the LTC track into essence marks and output them from the SDI output connector. ON : Convert shot marks into essence marks and output. OFF : Do not convert shot marks into essence marks. Depending on the type of the detected shot marks, the output essence marks are “_RecStart”, “_ShotMark1”, or “_ShotMark2”. Notes <ul style="list-style-type: none"> • Of the shot marks, post marks are not converted to essence marks. • Shot mark detection timing depends on playback conditions. • When menu item 901, VIDEO OUTPUT DATA is set to 8bit, nothing of essence marks is output.
660	ESSENCE MARK VANC LINE (J-10SDI/30SDI only)	When menu item 658 is set to ON, specify the line into which to insert shot marks converted into essence marks. 12H, 13H, 15H, 16H, [17H] , 18H, 19H (525-line mode) 09H, 10H, 12H, 13H, 14H, 15H, 16H, [17H] , 18H (625-line mode)
710	INTERNAL VIDEO SIGNAL GENERATOR	Select the test signal to be output from the VTR's internal test signal generator. OFF : No test signal is generated. (The VTR operates normally.) CB75 : 75% color bar signal
713 ^{a)}	VIDEO SETUP REFERENCE LEVEL (When operating in 525 mode)	Set the setup amount to be added to the composite output signal. Default value: [0.0%] 7.5%
715 ^{a)}	VIDEO GAIN CONTROL	Adjust the video output level. Only Y signal adjustment is permitted. Default value: [20H]
716 ^{a)}	CHROMA GAIN CONTROL	Adjust the chroma output level. Default value: [20H]
717 ^{a)}	CHROMA PHASE CONTROL	Adjust the chroma phase. Only composite output signal adjustment is permitted. Default value: [80H]
718 ^{a)}	SETUP LEVEL (525 mode)/ BLACK LEVEL (625 mode)	Adjust the setup level (black level). Default value: [0H]

a) Menu items 713 and 715 to 718 can be used only for video processing of the analog video signal. They cannot be used for video processing of the digital video signal (SDI/DV output).

7-4 Extended Menu

Item number	Item name	Settings
719	SYSTEM PHASE SYNC	Adjust the SYNC phase of the output signal. Default value: 3FH
721	Y/C DELAY	Adjust the Y/C delay for playback from an analog Betacam cassette. Default value: 800H
802	DIGITAL AUDIO MUTING IN SHUTTLE MODE	Set the digital audio muting conditions during shuttle playback. OFF : Not muted. CUEUP : Muted during cue-up or preroll operations. FULL : Muted in shuttle mode. SLOW : Muted in ± 0.2 times or slower.
808	INTERNAL AUDIO SIGNAL GENERATOR	Select the operation of the internal audio test signal generator. OFF : No operation. 1KHZ : At 1 kHz, -20 dB FS sine wave is output on all audio output channels.
831 ^{a)}	i.LINK AUDIO OUTPUT SELECT	Selects audio channels output from the i.LINK DV connector. CH1/2 : Outputs audio signals (16 bits/48K) recorded in CH-1/2. CH3/4 : Outputs audio signals (16 bits/48K) recorded in CH-3/4. CH1/2/3/4 : Outputs audio signals (12 bits/32K) recorded in CH-1/2/3/4. CH5/6 : Outputs audio signals (16 bits/48K) in CH-5/6 (J-30/30SDI). CH7/8 : Outputs audio signals (16 bits/48K) in CH-7/8 (J-30/30SDI). CH5/6/7/8 : Outputs audio signals (12 bits/32K) in CH-5/6/7/8 (J-30/30SDI).
901 ^{b)}	VIDEO OUTPUT DATA (J-10SDI/30SDI only)	Set the bit length of the signal output from the SDI output connector. 10bit : When connecting to a 10-bit system 8bit : When connecting to a 8-bit system
922	IMX NOISELESS PB SELECT (J-30/30SDI only)	Select the noiseless playback picture output when using the MPEG IMX format. FRAME : Frame picture FIELD1 : Field 1 picture FIELD2 : Field 2 picture

- a) Audio signals are muted if you select the channel unavailable for the format you are using.
- b) Select the bit length used in the system to which this unit is connected.

Maintenance and Inspection

8-1 Removing a Cassette When Tape Slack Occurs

If tape slack occurs in the unit, it is necessary to remove the top and bottom plates. This job should always be entrusted to a technician who has undergone service training.

See the maintenance manual for details.

8-2 Head Cleaning

To clean the video heads and audio heads, always use the special-purpose Sony BCT-HD12CL cleaning cassette.

Follow the instructions with the cleaning cassette carefully, as inappropriate use of the cleaning cassette can damage the heads.

To carry out head cleaning

Insert the cleaning cassette.

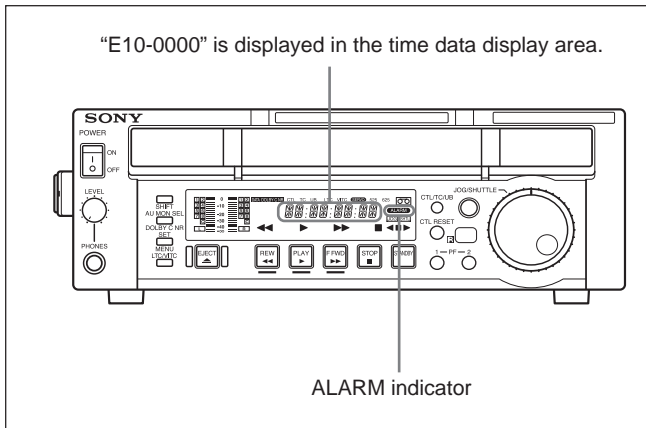
Head cleaning starts.

After an automatic head cleaning operation which lasts for about 3 seconds, the cleaning cassette is automatically ejected.

8-3 Moisture Condensation

When the unit is suddenly moved from a cold to a warm location, or used in a very humid place, moisture from the air can condense on the head-drum. This is called moisture condensation. If the tape is run in this state, it can adhere to the drum. To prevent such a condition from occurring, the unit is provided with a moisture condensation detecting function.

If moisture condenses on the head-drum while the unit is in use, the ALARM indicator flashes and “E10-0000” is displayed in the time data display area.



If this happens, the drum and capstan motors stop and the cassette is automatically ejected. Then, the drum starts to rotate again to dry its surface. In this state, the unit is not operable. When the moisture has evaporated, the ALARM indicator goes off and the “E10-0000” message disappears.

If the ALARM indicator lights and “E10-0000” appears immediately after powering the unit on

Leave the unit powered on and wait until the ALARM indicator goes off and the error message disappears. Do not insert a cassette while the indicator is lit. Use the unit when the indicator goes off and the error message disappears.

If you move the unit from a cold to a warm location

Leave the unit powered off for about 10 minutes, in order to give the unit time to detect moisture condensation.

8-4 Error Messages

CODE	MESSAGE	ERRORS
01	REEL TROUBLE	Detected "tape slack" during threading or unthreading.
02	REEL TROUBLE	Detected "tape slack" or "tape break" during search, fast-forward, or rewind.
03	REEL TROUBLE	Detected "tape slack," "tape break," or "reel rock in the S-side or T-side" during playback.
04	REEL TROUBLE	Detected abnormal tape speed during fast-forward or rewind.
05	REEL TROUBLE	Detected abnormal operation on the S-side or T-side reel during cassette compartment operation.
06	TAPE TENSION	Detected excessive tape tension during playback.
07	CAPSTAN TROUBLE	Detected abnormal operation of capstan motor.
08	DRUM TROUBLE	Detected abnormal operation of drum motor.
09	TH/UNTH MOTOR	Detected abnormal operation during threading or unthreading.
0A	THREADING	Detected incorrect ending of process for tape top when threading.
10	HUMID	Detected moisture condensation.
11	TAPE T/E SENSOR	Detected tape top and tape end simultaneously.
12	TAPE TOP SENSOR	Detected abnormal condition in tape top sensor.
13	TAPE END SENSOR	Detected abnormal condition in tape end sensor.
20	CASS COMP MOTOR	Detected abnormal condition during cassette compartment operation.
92	INTERNAL I/F ERROR	Detected abnormal condition in communication between SYS CPU and other CPU/MPUs.
96	SY NV-RAM ERROR	Detected abnormal operation in a system control device, NV-RAM.
97	SV NV-RAM ERROR	Detected abnormal operation in a servo system device, NV-RAM.
98	RF NV-RAM ERROR	Detected abnormal operation in an RF system device, NV-RAM.

8-5 Digital Hours Meter

The digital hours meter can display nine items of information, in corresponding display modes, about the operational history of the unit. Use it as a guide in scheduling periodic maintenance.

Display modes of the digital hours meter

The digital hours meter has the following nine modes.

H01:OPERATION mode

Displays the total number of hours the unit has been powered on in units of 1 hour.

H02: DRUM RUNNING mode

Displays the total number of hours the drum has run with tape threaded in units of 1 hour.

H03:TAPE RUNNING mode

Displays the total number of hours the unit has been in fast forward, rewind, playback, or search (except for stop and still) mode in units of 1 hour.

H04:THREADING mode

Displays the total number of times the tape has been threaded/unthreaded.

H06:REEL SHIFT mode

Displays the total number of times that the reel has been shifted according to the size of the cassette (L cassette or S cassette) in use.

H12:DRUM RUNNING mode (resettable)

Same as H02 except that the count is resettable. By resetting the cumulative drum running time after changing the rotating head drum, this count can be used as a guide in determining when to replace the drum.

H13:TAPE RUNNING mode (resettable)

Same as H03 except that the count is resettable. This count can be used as a guide in determining when to replace such components as fixed heads and pinch rollers.

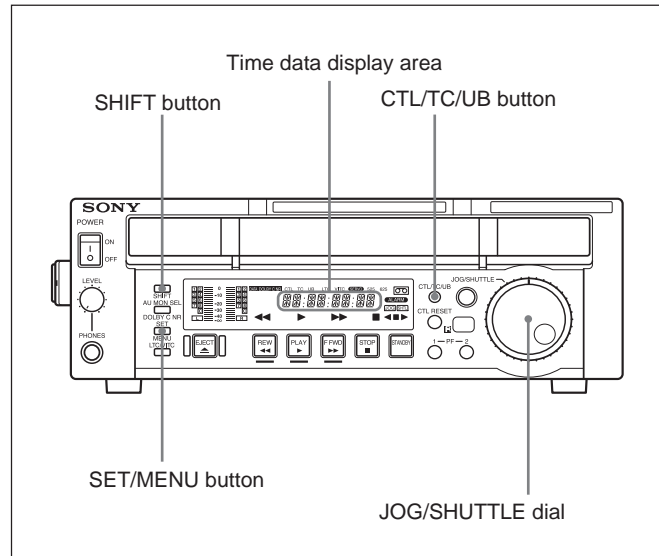
H14:THREADING mode (resettable)

Same as H04 except that the count is resettable. This can be used as a guide in determining when to replace, for example, the threading motor.

H16:REEL SHIFT mode (resettable)

Same as H06 except that the count is resettable.

Displaying the digital hours meter



To display the digital hours meter

Press the SET/MENU button while holding down the SHIFT button, then turn the JOG/SHUTTLE dial to display the required item in the time data display area.

To jump to H01

Press the SET/MENU button while holding down the SHIFT button, then press the CTL/TC/UB button. Every time you press the CTL/TC/UB button, menu item H01 or B01 is recalled alternately.

To exit from the digital hours meter

Press the SET/MENU button.

Appendix

Specifications

General

Power requirements	100 to 240 VAC, 50/60 Hz
Power consumption	55 W
Rated current	0.55 A
Peak inrush current	(1) Power ON, current probe method: 40 A (240 V), 10 A (100 V) (2) Hot switching inrush current, measured in accordance with European standard EN55103-1: 15 A (230 V)
Operating temperature	5 °C to 40 °C (41 °F to 104 °F)
Storage temperature	-20 °C to +60 °C (-4 °F to +140 °F)
Humidity	25% to 80%
Mass	J-10/10SDI: 8.1 kg (17 lb 13 oz) J-30/30SDI: 8.2 kg (18 lb 1 oz)
Dimensions (w/h/d)	307 × 100 × 397 mm (12 1/8 × 4 × 15 3/4 inches)

Tape transport system

Tape speed

Digital Betacam (J-30/30SDI)	96.7 mm/s
MPEG IMX (J-30/30SDI)	NTSC: 64.5 mm/s PAL: 53.8 mm/s
Betacam SX	59.6mm/s

Analog Betacam

NTSC: 118.6 mm/s
PAL: 101.5 mm/s

Playback time

Digital Betacam (J-30/30SDI)	124 minutes (BCT-D124L cassette)
MPEG IMX (J-30/30SDI)	NTSC: 184 minutes (BCT-184MXL cassette) PAL: 220 minutes (BCT-184MXL cassette)
Betacam SX	194 minutes (BCT-194SXLA cassette)

Analog Betacam

NTSC: 90 minutes (BCT-90MLA cassette)
PAL: 108 minutes (BCT-90MLA cassette)

Fast forward/rewind time

Approx. 5 minutes with
BCT-194SXLA cassette

Search speed

Shuttle mode	Betacam playback: Still to ±18 times (NTSC)/±20 times (PAL) normal speed playback Betacam SX playback: Still to ±35 times normal speed playback MPEG IMX playback (J-30/ 30SDI): Still to ±32 times (NTSC)/ ±38 times (PAL) normal speed playback Digital Betacam playback (J-30/ 30SDI): Still to ±21 times normal speed playback
Jog mode	Still to ±1 times normal playback speed

Specifications

Servo lock time (from standby)	1.5 second or less
Load/unload time	7 seconds or less
Cassette types	Digital Betacam cassette (J-30/ 30SDI) MPEG IMX cassette (J-30/30SDI) Betacam SX cassette Betacam SP cassette Betacam cassette UVW cassette

Digital video system

Digital video signal system

Sampling frequency	Y: 13.5 MHz R–Y/B–Y: 6.75 MHz
Quantization	Digital Betacam (J-30/30SDI): 10 bits/sample MPEG IMX (J-30/30SDI): 8 bits/ sample Betacam SX: 8 bits/sample
Compression	Coefficient recording system/ MPEG2 4:2:2 P@ML
Channel coding	S-I-NRZI PR-IV
Error correction	Reed-Solomon code

Analog composite output

Bandwidth	Y: 0.5 to 4.0 MHz +0.5 dB/ –3.0 dB (NTSC) Y: 0.5 to 4.5 MHz +0.5 dB/ –3.0 dB (PAL)
-----------	---

S/N 53 dB or more

Differential gain 2% or less

Differential phase 2° or less

K factor (2T pulse)

1% or less

Y/C delay 25ns or less

Analog component output

Bandwidth	MPEG IMX/Digital Betacam format (J-30) Y: 0.5 to 5.75 MHz +0.5 dB/ –4.5 dB R–Y/B–Y: 0.5 to 2.0 MHz +0.5 dB/ –4.5 dB Betacam SX format (J-10/30) Y: 0.5 to 4.5 MHz +0.5 dB/–4.5 dB (NTSC) Y: 0.5 to 5.5 MHz +0.5 dB/–4.5 dB (PAL) R–Y/B–Y: 0.5 to 2.0 MHz +0.5 dB/ –4.5 dB
-----------	--

S/N	56 dB or more
K factor (2T pulse)	1% or less

Digital audio system

Digital audio signal format

Betacam SX, Digital Betacam (J-30/30SDI):	CH-1 - CH-4
MPEG IMX (J-30/30SDI):	CH-1 - CH-8
Sampling frequency	48 kHz (synchronized with video)
Quantization	16 bits/ sample or 20 bits/sample
Wow and flutter	Below measurable level
Headroom	20 dB (or 18 dB, 16 dB selectable)
Emphasis	T1= 50 µs, T2=15 µs

Analog output

A/D, D/A quantization	16 bits/sample or 20 bits/sample
Frequency response	20 Hz to 20 kHz +1 dB/ –1.5 dB (0 dB, 1 kHz)
Dynamic range	85 dB or more (at 1 kHz, emphasis on)
Distortion	0.1% or less (at 1 kHz, emphasis on, reference level (+4 dBm))
Crosstalk	–75 dB or less (at 1 kHz, between any two channels)

Input/output connectors of J-10/30

Output connectors

COMPOSITE (SUPER)	BNC (1), Phono jack (1), including character superimposition 1.0 Vp-p, 75 Ω, Sync negative
COMPONENT	BNC (3), Y: 1.0 Vp-p, R–Y/B–Y: 0.7 Vp-p, 75 Ω
S VIDEO	Mini-Din 4 pin (1), Y: 1.0 Vp-p, C: 0.286 Vp-p burst, 75 Ω
iDV	IEEE1394 (1), 6-pin
PHONES	JM-60 stereo phone jack –∞ to –12 dBu at 8 Ω load, unbalanced
AUDIO MONITOR OUTPUT (L/R)	Phono jack (2), unbalanced XLR 3-pin, male (2) +4 dBm at 600 Ω load, low impedance, balanced

Remote connectors

RS232C	D-sub 9-pin, male, Sony 9-pin Remote Interface
REMOTE IN (9P)	D-sub 9-pin, female, Sony 9-pin Remote Interface

Input connector

EXT SYNC	BNC (1), Frame lock
----------	---------------------

Input/output connectors of J-10SDI/30SDI

Output connectors

COMPOSITE (SUPER)	BNC (1), Phono jack (1), including character superimposition 1.0 Vp-p, 75 Ω , Sync negative
SDI	BNC (1), SMPTE 259M, 270 Mb/s, 0.8 Vp-p, 75 Ω
SDI (SUPER)	BNC (1), SMPTE 259M, 270 Mb/s, 0.8 Vp-p, 75 Ω , including character superimposition
S VIDEO	Mini-Din 4 pin (1), Y: 1.0 Vp-p, C: 0.286 Vp-p burst, 75 Ω
iDV	IEEE1394 (1), 6-pin
TC OUTPUT	BNC (1), 1.0 Vp-p, 75 Ω
PHONES	JM-60 stereo phone jack $-\infty$ to -12 dBu at 8 Ω load, unbalanced
AUDIO MONITOR OUTPUT (L/R)	Phono jack (2), unbalanced XLR 3-pin, male (2) +4 dBm at 600 Ω load, low impedance, balanced

Remote connectors

RS232C	D-sub 9-pin, male, Sony 9-pin Remote Interface
REMOTE IN (9P)	D-sub 9-pin, female, Sony 9-pin Remote Interface

Input connector

EXT SYNC	BNC (1), Frame lock
----------	---------------------

Accessories supplied

Operation Manual (CD-ROM) (1)
Operation Manual (1)
Vertical installation stands (2)
RM-J1 Remote Commander (with CR2025 Lithium Battery) (1)

Optional accessories

AC power cord:

- For customers in the U.S.A. and Canada
Part No. 1-557-377-11
Plug holder 3-613-640-01
 - For customers in the United Kingdom
Part No. 1-782-165-11
Plug holder 3-613-640-01
 - For customers in European countries other than the United Kingdom
Part No. 1-551-631-22
Plug holder 3-613-640-01
- RCC-5G 9-pin Remote Control Cable
VMC-IL6635A i.LINK cable (6P-6P, 3.5 m (11 feet))
VMC-IL4635A i.LINK cable (6P-4P, 3.5 m (11 feet))
BCT-HD12CL Cleaning Cassette Tape

Design and specifications are subject to change without notice.

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。
従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

The material contained in this manual consists of information that is the property of Sony Corporation and is intended solely for use by the purchasers of the equipment described in this manual.

Sony Corporation expressly prohibits the duplication of any portion of this manual or the use thereof for any purpose other than the operation or maintenance of the equipment described in this manual without the express written permission of Sony Corporation.

J-10/10SDI/
30/30SDI (SY)
3-826-995-03(1)

Sony Corporation
B & P Company
<http://www.sony.net/>

Printed in Japan
2004.09.13
© 2004